田村、よくやった。お前はプロレスラーだ!

平成15年1月21日第三種郵便物認可　平成15年8月28日発行（毎月第2・第4木曜日発行）　第5巻・17号・通巻100号

SRS DX

Special Ring Side

8・28
臨時増刊号
2003
定価680YEN

PRIDE GP 2003 FIRST ROUND MIDDLEWEIGHT
8・10プライドGP速報号

俺たちは見た……

負けた、泣けた、
非情過ぎる。
PRIDEの神、
お前は悪魔か？

SAKUを救え救うんだ!

SRS DX 8・28 臨時増刊号 No.100

8・10プライドGP開幕戦速報号

本体648円

PRIDE GRANDPRIX 2003
PRIDE GP
8・10☆さいたまスーパーアリーナ

撮影◎佐久間立秋（望遠）

試合直後のこの吉田の表情を見れば、田村戦の厳しさが分かるだろう。吉田にとってプロ４戦目にして初の「試練」と言えるような試合展開となった

11・9決勝大会進出
日本人は吉田ただ一人！

田村の一発で、
感情むき出し！

吉田の“死角”発覚!!

▲開始早々、牽制の右ローキックに左フックを合わせられて仰向けに倒れる大ピンチを迎えた吉田。しかし、これで「意識が飛んだ」という吉田だが、田村の追い打ち攻撃を許さず

▲柔道の内股のような投げで田村を転がすとすぐさま上半身を極めにかかる

やっぱり組んだら強い！投げからの袖車絞めで大逆転勝利!!

一旦寝かせてしまったら速い。まさに“間髪入れず”という感じで昨年の『Dynamite!』のホイス・グレイシー戦と同じ袖車絞めに。いつも一緒に練習している選手でもかかってしまうという吉田の袖車だけに、田村は気付かぬうちに完璧に極められタップ

★第6試合/ミドル級GP1回戦（1R10分、2・3R5分）

○吉田秀彦×田村潔司●

〈日本/吉田道場〉 〈日本/U-FILE CAMP.com〉

（1R5分06秒、袖車絞め）

左フックに腰から崩れ落ちる吉田！プロ4戦目にして初の大ピンチ!!

▲1R早々、吉田の牽制気味の右ローキックに対して田村がカウンターの左フックを合わせる。これが見事に顔面にヒットし、吉田はダウン気味に腰から落ちる。吉田、絶体絶命の大ピンチ

ガードポジションの吉田に鉄槌を打ち下ろす田村。吉田の表情が険しい！

▲ここぞとばかりに攻め込む田村。ジャンプで吉田を乗り越えながら顔面パンチを狙うなど、アグレッシブな攻めを見せる

▶田村のローキックは確実に吉田を浸食した。この時点では高田戦と同じような展開になることも十分に予想できた

打撃勝負なら当然、田村に分がある。田村はガードを下げ、吉田を挑発するような表情を見せた

プロ15年の意地とプライド 田村から放たれる強烈な色気!

それにしても本当によく入った。さいたまスーパーアリーナの観客動員最高記録となる4万316人。台風一過の青空のもと、この夏最大のイベント『プライドGP』に若く熱い格闘技ファンが集結した。

今大会ミドル級GPの、ファンの注目は、メインイベントの桜庭VSシウバとセミの吉田VS田村に集中。桜庭戦に関して言えば、当然、3度目の正直でなんとか桜庭にリベンジしてほしいというところであり、吉田VS田村戦に関しては、決勝大会に駒を進めることができる日本人はどちらか、というより、吉田は田村にどんな勝ち方をして決勝に進むのか、だった。

いくら総合格闘技のキャリアが浅いとはいえ、吉田はホイス・グレイシー、ドン・フライ、そして佐竹雅昭に、完璧な内容で圧勝しているし、日頃の練習を見たり、一緒に練習している選手たちに聞いても、吉田の評価は非常に高い。まして体格的にも勝る吉田の勝利はほぼ間違いないと思われた。

吉田はこの大会に向け、約10キロの減量をした。この程度の減量は、柔道時代によくやっていたことだし、年をとって体重が落ちづらくなっていることはあるにしても、調整期間が十分にあったため、気にかかるほどではない。しかし、減量のほかに、吉田はこの大会に向けて、より打撃を強化し、総合格闘家としてのスキルを高める練習を積んだ。実は、このことが吉田に苦戦をもたらせたように思えるのだ。

今までの吉田の闘い方は、あくまで柔道にこだわり、相手を自分の土俵に引っ張り込んで勝利を収めてきた。しかし、今回の田村戦。吉田は練習の成果を確かめようとしたのか、過去の3試合で言われてきた「プロらしい、見せる試合をしてほしい」という声に応えようとしたのか、柔道家としてではなく、総合格闘家として試合に臨もうとしていたように思えた。

それが原因だったのか、吉田のピンチは1R早々、突然に訪れた。牽制気味に右ローキックを放ったところに、田村のカウンターの左フックをまともに食らってしまったのだ。ガクッと腰から落ちる吉田。あわやKOという、予想もしない展開。しかし、ここからが吉田の非凡なところで、慌てることなくすぐにリカバー。田村の追い打ちを許さず、このピンチを切り抜けてみせたのだ。

そして、ひとしきり真っ向から打撃戦を展開して場内を沸かせ、最後は、きっちり必殺の絞め技、袖車絞めで勝利。しかし、内容に関しては〝圧勝〟とか〝快勝〟と

吉田、半月板損傷か!? 11・9決勝大会に暗雲

▼不慣れな打撃でも応戦する吉田。最初に左フックを当てられたのが相当悔しかったらしく「絶対に殴り返す」とガムシャラに攻めた。この吉田の負けず嫌いっぷりが試合を面白くした

◀まるで後輩イジメのように、吉田はヘッドロックで田村を攻める。プロレスではこれでギブアップということはないが、これはマジでキツい。しかし、田村としてもこんな技でタップするわけにはいかないので必死に耐えていた

▼試合直後、左ヒザに引っかかっているような違和感と痛みを訴えて倒れ込んだ吉田。半月板損傷の可能性が高そうだが、11・9は大丈夫か？

▲吉田も実は非常に負けず嫌い。試合の合間にはこんな表情で、田村を挑発した

▲悔しさにうずくまる田村と、セコンドの髙阪剛と安堵の表情で抱き合う吉田。ちなみに田村のセコンドには宮戸優光がついた

©Essei Hara

▲試合後、厳しい表情でマイクを持った吉田は「初めて本格的な打撃を受けて、いつ倒れてもおかしくないような状態でしたけど、よく持ちこたえることができたなと思います。まだ1回戦勝ったところなんで、優勝目指して頑張りたい」と11・9決勝大会への決意を語った

言えるようなものではなかった。たしかに、あの追い詰められた状況から、形勢を逆転する気持ちの強さと地力は生半可なモノではないが、シウバ、ランペイジ、リデルら決勝進出選手との試合を想像すると、不安を感じざるを得ない。

しかし、吉田もバカじゃない。シウバらと闘う際に同じ戦法をとるわけはない。今回、あえてタックルや組み技にいかず、打撃で勝負したのも、決勝を見据えての作戦であったとも考えられる。ただ、田村の左フックをもらったことにより「頭にきていた」ことは確かで、「とにかく、やり返してやる！」と、感情を露わにしたのも確かだ。

しかし、今回の試合の流れ、ムードを作ったのは、吉田ではなく田村であったことは間違いない。田村の動き、表情、そして最後の負けっぷりまで、色気に満ちあふれていた。それは、自分が何を見せるべきなのか、そして、プロとしてどう闘うべきかを、本能的、経験的に実践していたからにほかならない。

吉田は、試合後に自らのピンチを分析し「でも、見ているほうは、けっこう面白かったでしょ？」と無邪気に笑った。田村戦で吉田がどこまで感情的になっていたのかは分からないが、少なくとも、どんな状況においても冷静さを失わない男であることは間違いない。そうでなければ、柔道で頂点に立つことなど絶対にできないからだ。

吉田は田村戦でヒザを負傷した。どの程度のケガかは不明だが、一日も早く治し、万全の体調で11・9を迎え、みんなの夢をかなえてほしい。吉田ならできる！　（林）

PRIDE GRANDPRIX 2003
PRIDE GP
8·10☆さいたまスーパーアリーナ

ショックショックショック

大ショック！

©Essei Hara

やっぱり主役はキミしかいない

桜庭、勝て、勝ってくれ！

なんと自ら打撃戦を仕掛けていった桜庭。これをフェイントにタックルというのが作戦だったのだろう。が、シウバはテイクダウンを許さず、打ち合いでも優勢。桜庭のガードの低さ（というよりほとんどしていない）が見ていて恐かった……

今回はロード・ウォリアーズ風コスチュームで入場の桜庭。テーマ曲が鳴り始めると、会場をとてつもない歓声が包んだ

見合いながらフェイントをかけて、仕掛けるタイミングをうかがう桜庭。シウバは基本的に"待ち"の姿勢だった

崖っぷちで打ち合う
桜庭の美しさよ……

シウバのパンチでか、かなり早い段階から出血していた桜庭

▲首相撲を狙うシウバを思いっ切り突き飛ばした桜庭。ウェイトトレーニングによる体重増とパワーアップの効果だろう。体重は両者とも91・2キロだった

▼シウバのお株を奪うヒザ攻撃も見せた桜庭。調子は良さそうだったのだが

超満員4万人のトラウマ！

シウバの右フック一発、桜庭失神!!

無情のフィニッシュシーン。ローキックを放った桜庭に、シウバはカウンターで大きな踏み込みから左ストレート、そして右フックのコンビネーション。これがモロに桜庭のアゴを捕らえた……

PRIDE GRANDPRIX 2003
PRIDE GP
8・10☆さいたまスーパーアリーナ

まさか？ その瞬間、みんな言葉がなかった。シーン。もっとも見たくない現実を、我々は見てしまうことになってしまったからだ。

ショックだ。ショック以外の何物でもない。シウバの左ストレートから右フックが桜庭のあごにヒットした。そのまま後ろ向きにマットに倒れ込む桜庭。万事休すだ。

全ては終わった。この日、さいたまスーパーアリーナには、4万人を越えるファンが入った。それ自体が真夏の大異変だ。

他のジャンルを含めても最高の入場者数。記録的数字である。その8割以上の人が桜庭の試合を見るため、応援するためやって来ていた。今度こそ桜庭はシウバに勝つ。それをただただ信じて……。

いうなればこれはSAKUちゃんのための興行、大会だった。それは会場に足を運んで初めて分かったことだ。なにしろどこに行っても、SAKUのTシャツを来ている人がいっぱいいたからだ。

あれは異常と言うしかない。『プライド』の功労者のナンバー1は桜庭だったことが、これを見てはっきりした。もし、桜庭がいなかったら『プライド』は、ここまで人気格闘技になっていなかった。

その意味でも今日は絶対に桜庭に勝ってほしい。いや、勝たせてあげたい。それはファンの願望であり希望であり祈りでもあった。

そういう意味では非常にやばい興行だったのだ。仮にまた桜庭が負けてしまうと、一転して全てはアンハッピーストーリーになってしまうからだ。

私の中には冷静な自分がいて『プライド』においては、一度負けた相手には二度と勝てない。2回やって1勝1敗にはならないのだ。勝ったり負けたりすることはないという考えを持っていた。

まあ、それぐらい勝負に関してレベルとテンションが高いということである。ヒクソンVS高田戦しかり。フライVSコールマン戦もそうだったし、谷津VSグッドリッジの試合も同じ結果だった。

『プライド』にリベンジという概念なし。つまり1回の試合が決定的になってしまうのだ。しかしそうは言っても人間は感情的生きもの。当日のパンフレットにミドル級トーナメントの4試合を予想するページがあり、私を含めてほとんどの人が「桜庭の勝ち」にしていた。シウバの勝ちにはしたくても、できないのが本音なのだ。

マスコミ18人の予想者のうちシウバを勝ちにしていたのは、わずか2人だけ。それに対して外国人予想者、フライ、ルッテンなどは5人中、4人がシウバの勝ちにしてい

▲別角度からのKOシーン。桜庭は失神し、体を棒のように硬直させたままマットに沈んでいった

ああ、今日だけはハッピーエンドが欲しかった……

非情すぎるこの拳！ GP本命はやはりシウバか

桜庭が倒れた瞬間にKOを確信したシウバは、コーナーに昇って渾身の咆哮！

▶試合の2日前に娘が生まれた、とマイクで観客に伝えたシウバ。「今日の勝利は全ての母親たちに捧げたい」

意識が戻ると、桜庭はシウバと挨拶、そして抱擁をかわす

足早にリングを降りた桜庭。そのままノーコメントで会場を後にした

★第7試合/ミドル級GP1回戦（1R10分、2・3R5分）
○ヴァンダレイ・シウバ ✕ 桜庭和志●
〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉〈日本/髙田道場〉
（1R5分01秒、KO勝ち）
※右フック

After the fight

シウバのコメント 勝

「今回のサクラバは準備万端で、打撃で攻めてきたのが凄く良かった。今回の試合に限ってはフィジカル面のトレーニングに専念した。サクラバは何をやるのか分からない選手だから、長い試合になると思ったんだ。王者としてのプレッシャーは感じるけど、逆にお客さんからエネルギーをもらって、それを良いほうに使うのが大事だね。11月も必ず勝つよ。サクラバには引退のことなんか考えてほしくない。どの選手にも良くない時期はあるけど、障害を乗り越えるのが大事なんだ。サクラバのことは尊敬してるから、まだ続けてほしいね。彼のようなレベルの高い選手と闘うのはいつだって光栄だ。4度目の試合も組まれれば間違いなくやるよ」

た。これは当然だろう。

つまりファンもマスコミも日本人は、心情的に桜庭の味方だったのだ。この部分においてプロレス的な共同幻想は、明らかに生きていたと私は確信した。

だが、しかしである。格闘技においては見る側の感情移入に対しては、それを寄せ付けない非情さがある。強い者は強い。どこまでいっても強くなければいけない。

それはファンの思い入れや思い込みを破壊して初めて、格闘技のリアル性を維持できるのだ。

ミルコがいい例ではないか？　この男こそ格闘技の基本的理念を実証している権化。別の見方をすると強過ぎて味も素っ気もないというか、身も蓋もないほど強い選手と言うことができるのだ。

シウバもそれに近い存在。時代はまさしくミルコ、シウバ的な世界へと移行しつつあるのだ。

そう考えるとファンの期待を一身に背負ってリングに上がっていた桜庭は、典型的なプロレスラーの代表選手だったのだ。

今まで桜庭の敵、すなわちプロレスラーの敵はグレイシー柔術など格闘家だったが、現在においては格闘技そのものが敵になった。

『プライド』は純粋格闘技の領域に近付いたということである。もしかすると桜庭は『プライド』においては、最後のプロレスラーということになるかもしれない。

ここにおいて一つの時代は終わったと言える。桜庭は偉大だったと言える。逆に桜庭的な人を失った喪失感のほうが私はもっと怖い。この日の桜庭の敗北はプロレスの終焉でもある。

（ターザン山本）

わずか1R1分29秒、一発の左ハイキックでボブチャンチンをKOしたミルコの雄叫び

わずか89秒!
ボブチャンチンを失神KO!!

ミルコの前では全てのファイターが草食動物である

試合前からボブは負けていた

▶冷たい目だ。この表情を見るだけで対戦相手は萎縮するだろう

▶久しぶりに見るボブは厳しい練習を積んできたため か顔がシャープになっていた

▶試合前、片手を差し出すミルコに両手で握手するボブ。まるで格下が稽古をお願いするような態度で、彼はこの時すでにミルコに飲まれていたのか

首筋にめり込む

数々の強敵を倒してきた左ハイキックが首筋に決まる。分かっているのに避けられない戦慄の技だ

ⒸEssei Hara

ミルコ対ボブチャンチンと聞いた時、誰もが簡単に試合は終わるなと思ったはずだし、実際試合も秒殺という結末。だが、試合自体は決して簡単ではなかったと思う。

なにしろ、これまで108キロの体重で闘ってきたボブが、この日は98キロまで減量し、打撃ファイターとしての身体を完璧に作ってきたのが驚きであった。

少なくともボブは完全に勝つ気でこのリングに上がってきていたのだ。

ところが、見ているこちら側はあまりにも痩せていて「もしかして病気なのかな?」と思ってしまったし、試合前にはミルコが片手で差し出す握手の手を両手で握ってしまい、非常に格下感が出てしまう。せっかくの減量も病気感が漂い、人の良さが滲み出るはずの両手握手にしても弱そうに見えてしまったところがなんだかボブらしい。

そう言ったわけで観客的にはゴングが鳴る前からミルコの勝利を確信することになってしまったのだが、試合が開始されるとボブの頑張りはただごとでなく素晴らしいものであった。

ロシアンフックをブンブン振り回し、ハイキックも早い。結構やるじゃねえかと思わされたのであった。

対するミルコはロシアンフックをあっさりダッキングでかわし、蹴りもキチンとガードする。そして左ストレートで相手をのけぞらせ、そこでさらに小さくしごくような動きを見せてボブの左まぶたをカット。

ボブはたまらず距離を取って構

PRIDE GRANDPRIX 2003
PRIDE GP
8・10☆さいたまスーパーアリーナ

見えないハイキック!!

◀この一発でボブは失神KO。全身の力が抜けて朽ち木倒し。だが、この後さらに観客は背筋の凍る場面を目撃する

ボブはたまらず距離を取って構え直したのだが、ミルコはここで左のハイキックを一閃し、これが見事にアゴを捕らえた。

「まったく見えなかった」（ボブ談）左のハイキック。ボブチャンチンの身体はゆっくりとマットに沈んでいったのであった。

そしてさらに惨劇は続く。白目を剥いて失神しているボブの顔面を片ヒザついて殴り始めるミルコ。1発目はアゴに入り、もう1発ブチ込もうとした時レフェリーが割って入ったからいいようなものの、放っといたらあと2、3発は入れていたのは確実だ。

狂ってる。

観客が総立ちになったのはKOシーンの鮮やかさだけでなく、ミルコの狂気がまがまがしく見えたからだろう。

ただ、戦前、あっさり終わると思われたこの試合は事実わずか89秒で終わってしまったのだが、ボブがこれまで以上に打撃勝負にこだわった結果、この戦慄の幕切れをより一層際立たせたのだとハッキリ断言しておきたい。

それにしてもミルコはほかのどのジャンルのファイターと比べても異質だ。

強いことは強いのだが、その前に怖いという感情が沸き上がってくるのが特別だ。

ノゲイラに勝った時のヒョードルも怖かった。ところが、いまやミルコはそれ以上の怖さがある。この人には近寄らないほうがいいと、原始的な本能が教えてくれる感じの怖さとでも言うか。

まあ、だからこそ、距離を置いたところからなら、つまり客席か

白目を剥いて失神する相手にさらにパンチを入れるミルコ。1発をアゴに入れ、2発目を入れようとしたところで島田レフェリーが身体を入れて止めた

倒した獲物を食らうがごとく

らなら何度でも見たくなる男なのであるが。

実際見ている分にはホントに面白いのがミルコ。ちょっと古い話になるが、水野裕子とボブ・サップがやっていた深夜番組にゲストで出演した際、ミルコは水野から打撃技を教えてほしいと言われたことがあった。

もちろん、K—1選手の彼に打撃技の伝授を望むのは当たり前の話。ところがミルコは、「いや俺はキミにアームバーを教えたい」と言って譲らず、「アームバーじゃなければ帰る」とまで言い出したのだ。結局、ミルコは水野の身体にアームバーをじっくりとかけたのだから、男として彼の行動は理想的。

ミルコ、お前、男だよ!

もう一つ。僕が好きなミルコ仕事に『プライド』のアオリVTRがある。「あなたにとって試合とはなんですか?」と聞かれて「戦争だ」と答えるあれだ。あのあとミルコは顔を伏せるのだが、あれ、絶対に笑ってると思うのだ。

こういうタチの悪い笑いのセンスは非常に高く評価するべきだろう。ホント、インタビューとかでも、そういう邪悪なセンスで楽しんでくれればいいのにと思えてならないのだが、彼はそういうところでは絶対に出さないから面倒くさいったらありゃしない。とはいえ、リング上があれだけ凄いのだから文句はない。

彼の試合は常にスポーツ的なものから逸脱する。緊張感を充満しし、勝負は一瞬にしてつく。そして今回は人間性すら逸脱してケダモノのようだった。

PRIDE GRANDPRIX 2003
PRIDE GP
8・10☆さいたまスーパーアリーナ

今度はヒョードルと闘って『プライド』のチャンピオンになります

◀試合後マイクを握ったミルコは、リングサイドで観戦していたヒョードルに対戦表明した

★第5試合/ヘビー級スペシャルワンマッチ（1R10分、2・3R5分）
○M・クロコップ ✕ I・ボブチャンチン●
〈クロアチア/クロコップ・スクワッドジム〉 〈ウクライナ/フリー〉
（1R1分29秒、KO勝ち）
※左ハイキック

After the fight

ミルコのコメント 勝

「ダメージはまったくないし、調子も良かった。（試合中に汗をかきましたか?）そんなに。だが、ボブチャンチンは本当のファイターだった。本当の強さとは心の強さだ。テクニックではない。（ヒョードル戦については?）ヒョードルは打撃も強いし、まだ見せてないテクニックがあるだろう」

ボブチャンチンのコメント 負

「（試合の対策は?）打撃で打ち合いたいという気持ちがありました。（最後のハイキックは?）見えませんでした。自分にとってはショックな打撃でした。（ミルコの印象は?）大変強い選手で、試合に向けても正しい戦略を練ってきていた選手だと思う。（ミルコとヒョードルが闘ったらどちらが勝つと思う?）それはヒョードルだと思います。彼が強いことは私もよく知っているので」

だが、ボブも最高のファイターであった

▶わずか89秒でまぶたを切られ失神させられたボブ。だが、その闘いっぷりは北の最終兵器の名に恥じない激しいものであったのだ

◀試合前から打撃勝負をしようと思っていたというボブは、臆することなくパンチを振っていった

◀この蹴りはスピードも威力も文句なしであった。ミルコも間一髪でガードしている

練習についてはそれこそ誰にも負けないほど生真面目にこなしているであろうミルコだが、試合になると技術ではなく、その人間性のほうが如実に際立ってくる希有なファイターだ。

そして今やK—1と『プライド』を天秤にかけながら、自分を高く売ることを考え、リングの外でも闘うことをやめようとはしない。

これこそが最強だと思う。

最強というのはそういう男がいるわけではなく、最強の時期があるということ。ミルコは自分の強さの時期を冷静に把握して、その期間に全てを手に入れようとしているというわけだ。

いかなヒョードルであろうとも、ミルコとやったら負けるかもしれないと思わされるのは、こうやって最強の時を見据えて動いているからなのだろう。

ボブ・サップにしても、ノゲイラにしてもあれだけ強そうに見えていた男たちがたった一つの敗北で輝きに翳りが出てしまう。それほど危ういのが最強という概念、最強というイメージだ。

地道な練習をして強くなり、さらに練習を重ねて強さに磨きをかけ、その上で自分をより以上に大きく見せるオーラを身にまとう。今、ここまでやってるファイターはミルコしかいない。

だから、ミルコは試合内容はもちろん入場の様子から取材にいたるまで全てが面白くて仕方ないのである。

プロ中のプロであり、強さと怖さを維持できるのだ。ここ当分はミルコの時代が続くことになるのは間違いない。

（ブチ）

◀王者の証であるベルトを巻いて入場してきたヒョードル。いつもの無表情っぷりが、さらに怖さを引き立たせる

◀▲久々の『プライド』参戦となるグッドリッジだが、今回は門番の役割ではなく、王者に挑むためかジャンピングリングインまで見せて、闘志をアピールして見せたのだが……

これぞ皇帝の貫禄！

ヒョードルの氷の拳、真夏のさいたまを凍結！

グッドリッジを69秒、撲殺葬！

ヒョードルが繰り出す相変わらずの凄まじい打撃に、グッドリッジは何もできずじまい。ヒョードルは藤田戦で隙を見せてしまっただけに、今回はまったく付け入る隙を与えずに完勝してしまった

ⒸEssei Hara

この日の第1試合は実に贅沢。いきなり、ヘビー級王者、エメリヤーエンコ・ヒョードルの登場である。相手は『プライド』の門番ゲーリー・グッドリッジ。「王者が門番と闘ってどうすんだ？」なんて突っ込みは野暮というものだろう。ヒョードルの完全無欠の強さを味わえれば、お腹一杯というものではないか。

ということで、肝心の試合なのだが、もうグーの音も出ないほど、ヒョードルの完勝。試合開始からいきなりパンチの猛ラッシュで、グッドリッジを攻め立て、ロープ際に追い詰める。グッドリッジは必死に頭をガードするのみで、まったく手が出ない。ヒョードルはそれでもお構いなしに、ガードの上からパンチの速射砲を雨あられと浴びせ続ける。とにかく、速い、速い。これぞまさしく、シベリア超特急だ。

ようやくグッドリッジがフックを放つと、それをかいくぐるようにワキを差してからテイクダウン。グラウンドになってしまうと、毎度お馴染みのヒョードルの〝殺戮パウンドショー〟の開幕だ。一発一発、親の仇にでも会ったかのように、尋常じゃない力を込めて氷の拳をグッドリッジに叩き込むヒョードル。

さらに勢いの止まらない王者は、素早くサイドに回り込んだかと思うと、今度は平気な顔をして蹴り飛ばす。そして、再び飛び込むようにパンチを数発放ったところで、レフェリーが飛び込んできて、試合終了。アッと言う間に、『プライド』の門番を畳んでしまったのであった。

この間、わずか69秒！ 今まで

PRIDE GRANDPRIX 2003
PRIDE GP
8・10☆さいたまスーパーアリーナ

猛吹雪のようなヒョードルの打撃！ グッドリッジはただ殴られるがまま……

殴る、蹴る、そしてまた殴る！

◀王者の証であるベルトを巻いて入場してきたヒョードル。いつもの無表情っぷりが、さらに怖さを引き立たせる

◀▲久々の『プライド』参戦となるグッドリッジだが、今回は門番の役割ではなく、王者に挑むためかジャンピングリングインまで見せて、闘志をアピールして見せたのだが……

▲▼K―1に出場しているために、打撃の成長が著しいグッドリッジだが、ヒョードルはまったく問題にせず、いきなりハイスパートで回転の速い打撃をグッドリッジに浴びせた。グッドリッジは何もできずに、ガードするのが精一杯

▲スタンドの打撃のラッシュが終わるとすかさずテイクダウンし、今度はグラウンドでグッドリッジを殴りつけるヒョードル

▶アッと言う間にサイドに回り込むと、ヒョードルは今度はグッドリッジの頭を蹴飛ばす！

▶さらに殴りつけにいったところで、レフェリーは試合をストップ。試合開始からわずか69秒。電光石火の完勝劇

この間、わずか69秒！　今まで外敵に『プライド』のリングの厳しさを叩き込んできたグッドリッジも、ヒョードルの前では赤子同然の扱いなのだ。

なんせ、この69秒の間、グッドリッジはただひたすらガードをするのみ。そのおかげか、今までヒョードルの試合に付き物だった凄惨なイメージはなし。「何しに来たんだ、グッドリッジ！」と一言ぐらいは言いたくなってしまう闘いっぷりだった。

打撃という点から言うと、グッドリッジはK―1にも上がり、ベルナルドやバンナといったハードパンチャーと平気で打ち合う男。技術的な面では、そうヒョードルに遅れを取るはずがないのだが。

その男がガードするしか手がなかったというのは、試合をする前からヒョードルに飲まれていたという証拠だろう。グッドリッジは、ご存知のようにK―1にも打って出るような強いハートを持った男。そのグッドリッジですら、「無傷で帰ろう」的な発想のファイトをしてしまうのだから、これまでヒョードルが『プライド』のリングで、いかに凄まじい惨劇を繰り広げてきたのか分かるというものだ。

恐るべきはヒョードルなのだ。

しかも、前回勝ったとはいえ、藤田のパンチで体をぐらつかせてしまい、完全無欠と思われたその鉄壁さに小さな穴があることを内外にさらけ出してしまった。そのためか、今回はまったく隙を見せない完璧な仕上がりっぷりを披露。その実験台にされたグッドリッジもいい迷惑というものだ。

さて、今回ヒョードルもミルコ

11・9東京ドームでいよいよミルコと激突か?

『ミルコ戦?疲れたので休みたい』

▲あまりの完勝劇にセコンドに付いていたロシアン・トップチームのパコージンがヒョードルにキス!?

▲ロシアン・トップチームのコーチ陣の面々と喜びを分かち合うヒョードル。でも、相変わらず無表情だ

After the fight

ヒョードルのコメント 勝

「早い試合だったと思います。私の早い試合のテンポをゲーリー選手に教えたかったので、それを伝えることができて良かったです。今はちょっと疲れたと感じてます。(次はミルコ戦は?)今、初めてそのことを聞いたのですが、ここ最近、試合が続いていたので、ケガなどをしっかり治してから闘う準備をしていきたいです」

グッドリッジのコメント 負

「(感想は?)自分では見てないから分かりません(笑)。パンチを出してくるとは思ってたけど、テイクダウンを取るためぐらいだと考えていた。だから、あそこまでパンチでくるとは……。たしかに、ヒョードルのパンチは効いていたよ。でも、あれほど正確に狙ってくるとは思ってなかった。今回は彼が強かったということだ」

▲グッドリッジが相手ではあまりにも物足りなかったのか、仏頂面を見せるヒョードル。いや、いつもの表情か……

★第1試合/ヘビー級スペシャルワンマッチ(1R10分、2・3R5分)

○ E・ヒョードル × G・グッドリッジ ●

〈ロシア/ロシアン・トップチーム〉 〈トリニダード・トバゴ/フリー〉

(1R1分09秒、TKO勝ち)

※グランドでのパンチ連打でレフェリーストップ

も、それぞれの対戦相手に完勝したことによって、いよいよこの2人の対戦が見えてきた。11月の東京ドームでの対戦をDSEの榊原社長も口にしている。

今大会ではヒョードルはグッドリッジ、ミルコはボブチャンチンと、『プライド』の創生期を支えてきたファイターと闘った。間接的な見方ではあるが、どちらが今回強いインパクトを残したかといえば、凄まじいハイキックの切れ味を見せてくれたミルコに軍配は上がるだろう。ヒョードルの白熊のような襲いかかり方も凄かったが、どちらが観客の背筋を凍らせたかといえば、ミルコのハイキックからの追い打ちのかけ方のほうが、戦慄度は高さで言えば上だ。

ということで、ミドル級に負けず劣らず、ヘビー級戦線もとにかく熱い。しかし、この2人が闘うなら、きっと全身が凍結してしまうような、怖ろしい試合をしてくれるだろう。怖いもの見たさとは、この2人の闘いのためにあるような言葉である。

〝リングスの生み出した怪物〟ヒョードルと〝K—1の作り出した怪物〟ミルコの激突は事実上の世界最強決定戦。これを見たがらないファンはいないだろう。リングスとK—1が『プライド』で雌雄を決するというのも興味深い。ということは、これは前田日明と谷川貞治の代理戦争ということになるのかも……。この対立構図も、個人的にはとても興味深いのだが……。とにかく、ヒョードルは「疲れたので休みたい」などと言っている場合ではない。この2人の決戦の早期実現を望む。(小松)

『技』をもって『力』を制す ノゲイラ柔術はまだ終わっちゃいない

巨漢リコをきわどくコントロール 元王者同士の対決に3−0判定勝ち

下になった体勢からさまざまな関節技を狙うノゲイラ。やはり、そのテクニックは健在だ

▲試合後、リコは勝利を確信していたが……

▲パンチでの攻防もむしろノゲイラのほうが上回っていた

▲判定が下った後の両雄の表情は対照的だった

▶とにかく攻めまくったのはリコのほう。しかし、的確な攻撃はほとんど見られないまま

▲あま

After the fight

ノゲイラのコメント 勝

「グラウンドだったらもっといい試合ができたろう。リコは立ち技に逃げたんだ。たぶん、ポイントを稼いでやろうと思ったんだね。そういう闘い方では、観客を喜ばせることはできない。自分は立ち技でも寝技でもいい試合を見せたいんだ。今日は私のほうがアグレッシブで、よりアタックを仕掛けていたので勝ったと思っている」

リコのコメント 負

「試合の感想？　そんなもん分かんねえよ。ここに警察はいないか？　盗まれちゃったよ、勝利を。試合が決まったのは2週間前だし、体調は悪かったけど、勝ったのはオレだ。2Rなんか、オレのヒザでノゲイラは吐きそうになっていたんだ。判定聞いて『くそったれ』と思ったよ。まだ髙田道場に所属してたら、勝っていたかもな」

★第4試合/ヘビー級スペシャルワンマッチ（1R10分、2・3R5分）
○ A・ホドリゴ・ノゲイラ 〈ブラジル/ブラジリアン・トップチーム〉 × R・ロドリゲス ● 〈アメリカ/チーム・パニッシュメント〉
（3R判定3-0）

PRIDEにおける判定なんて、所詮は『推定有罪』か『推定無罪』のいずれか。一方がぶっ倒れるか、それともギブアップするまで、どちらの勝ちなんてホントのところ言いようがないのだ。このPRIDEとUFCの元王者同士の対決も、ともに決定的ダメージもなく、規定時間が過ぎた時点で、勝敗はあまり意味はなくなった。

それでも総合格闘技とてスポーツの一分野だから、判定決着も存在しなくちゃいけない。そこでどちらがより勝利に近付けるようにトライしたかが、白黒を振り分けるキーポイントとなる。そこでグラウンド戦では、三角、オモプラッタとさまざま関節技を仕掛け、立ってもワンツーを基調にしたきれいなボクシング・テクニックを見せたノゲイラがより多くの努力を試みたように私には感じられたし、またその他の多くの人々は、とにかく上に乗って攻撃姿勢を演じていたリコの優勢と見た。結局、ピックアップするポイントで大きく意見は分かれたままである。

ただ確実なのは、まだ決着はついていないということ。そして攻防はまったく噛み合わないままで、もう一度同じ組み合わせがあっても、なんら変哲はないんじゃないか、という予感が残っただけだ。

このリコが2年前、アブダビで、ヒザ十字を極めノゲイラをタップに追い込んだとはとても信じられない。この日、ノゲイラは常に周到だったし、リコはどこまでも単調だった。技術的な濃度には大差があったように感じられたのは、私だけなんだろうか。

（宮崎）

強い、新日本プロレスを取り戻せ！

10・13 ●最新情報！●

Ultimate Crush

10・13 『Ultimate Crush』s開催決定！ 猪木の最終兵器も参戦か!?

▲会見には藤波社長と上井取締役が出席。ドラゴンのバーリ・トゥード出陣は実現しないのか？

あの『アルティメット・クラッシュ』が帰ってくる！　8月7日、新日本プロレスは都内で会見を開き、10月13日に『アルティメット・クラッシュ』東京ドーム大会の開催を発表。今回も前回の5・2ドームと同様に、プロレス6試合、そしてバーリ・トゥード5試合で、プロレスの試合の間にバーリ・トゥードが組み込まれることになる。気になるバーリ・トゥード戦への参戦選手だが、『プライド』、K―1、パンクラス、モンゴル・プロレス協会、そしてヨーロッパなどの幅広いネットワークを駆使して集めるという。現在のところ安田忠夫が「雪辱したい相手がいる」ということで、名乗りをあげており、K―1と交渉中とのこと。どうやら相手はレネ・ローゼかヤン・〝ザ・ジャイアント〟・ノルキヤになりそうだ。そして新日本本隊からはブルー・ウルフ、成瀬昌由を上井取締役としては出したい意向も持っている。また、9・13『ジャングル・ファイト』に参戦する、〝猪木の最終兵器〟と呼ばれる選手。この選手も10・13東京ドーム大会に出場させようと画策中らしい。この選手は、上井取締役の話によると「日本では試合をしたことがないが、名前を聞けばすぐに分かる凄い選手」とのこと。いったい、誰だ？　とにかく「強い新日本プロレス」を取り戻すための、上井取締役の熱い闘いが、再びドームで繰り広げられる！■

柴田勝頼、9・21 K-1出陣内定！

▲会見後のカコミでは上井取締役は柴田のK―1出陣も内定したとコメント。どうやらワンマッチでカードが組まれそうだ。6・29K―1ジャパン大会で、「K―1のKはケンカのK!」といきなりケンカを売った柴田の直訴がようやく実る

「雪辱したい相手がいる！」安田が名乗り！

▲総合戦にいち早く名乗りをあげたのは、意外なことに安田忠夫。雪辱したい相手がいるとのことだが、相手はレネ・ローゼか？　それともノルキヤか？

まさか！あの長州力が本誌初登場！

最年少プロファイター・中嶋勝彦 with 長州力

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎乾晋也

プロレス団体『WJ』に15歳で入団した天才空手家・中嶋勝彦君。それだけでも衝撃的な出来事であるのにデビュー戦が金網バーリ・トゥードに決定した。いったい彼はどんな少年なのだろうか、非常に興味が湧いてくる。そしてさらに今回は彼の保護者的な立場とはいえ、長州力が本誌に初登場！　豪華過ぎる！

katsuhiko nakajima with choshuriki

――今回『X―1』に出場する中嶋君なんですがいろんな関係者から話を聞いてるとみんな相当強いと言うんで期待してるんですが。

長州力　強いって言うかね、それは先生（現在、中嶋選手のコーチをしている新極真会の川原氏）のほうから聞いてもらったほうが。

川原　まず打撃はいいと思いますよ。平均的な年齢ってありますよね、いま彼15歳ですけど、その中ではもうズバ抜けますよ。僕と打ち合いができる時点で凄いと思いますよ。

長州力　先生、厳しく、厳しく。よいしょするのはダメですよ（笑）。

――本人としてはどうですか？

中嶋　はいっ、いやぁ（笑）。

――見ていると飄々としていますよね。

長州力　そうですよね。

――緊張感はあります？

中嶋　はい（笑）。

――ほんとかなぁ（笑）。川原先生は見ていてどうですか？

川原　なんにも考えないタイプなのか、ハートがメチャクチャ強いのか、一緒にいて分からないことあるんですよ（笑）。例えば、バーンと叩かれたりするとやっぱり落ち込むもんじゃないですか。でも、次にやった時にもべつに委縮して手が出なくなるわけでもないし、やる時はやりますから「ハートも強いのかな」って思うこともあるし。

▲右から長州、中嶋君、そして現在中嶋君の指導に当たる新極真会の川原奈穂樹先生。川原先生は95年の全日本大会ベスト8、96年の世界大会の日本代表にも選ばれている。また、ボクシングでも2000年ミドル級新人王に輝き、ランキングではミドル級3位が最高の猛者だ

課題はプロの自覚を頭の隅っこに置いてリングに上がれるか（長州）

――長州さん、どうですか？　そういうハートの部分で。

長州力　いやぁもうリングに上がってどういう面構えになるか。どういうものが出せるかっていうのがね。勝ち負けの部分ではなく、ボクはもっと違った部分で期待していますけどね。やっぱりプロっていうね、それを頭の中に叩き込んで試合ができるかですよね。

――ハードル高いですね。

長州力　いやぁでも、高いように見えるけど、本人がこの飄々とした性格の中で「オレはプロなんだよ」っていうものをどっか頭の隅っこにでも置いてリングに上がれるのかっていう。そういう部分ですよね。

――恐いですか？　楽しみですか？

中嶋　楽しみ……かな、恐らく。考えたことないですけど。

――ああいうふうにポスターに自分の写真が出て、「中嶋勝彦」って名前も出て、ほんとに大きい扱いじゃないですか。

中嶋　ワクワクもありますし、試合のことをいろいろ考えて、恐いというか緊張はしてきますけど、はい。

――最初にポスターを見た時、どう思いました？

中嶋　……プロなのかなって感じはしました。

――そのくらいの自覚はあるみたいですね（笑）。

長州力　プレッシャーはかかっているのか？（笑）。

中嶋　はい（笑）。

――普通、空手とかやっていたら、プロレスよりも空手のほうでやりたいとか、考えると思うんですけど、なぜまたプロレスを選んだんですか？

中嶋　いろいろプロレスの試合とか見たことあるんですけど、凄く自分の中で盛り上がったんですよ、試合を見て「いけぇ～！」とか。凄く楽しかった。

――長州さんの試合はご覧になったことはありますか？

中嶋　新日時代とか。動きとかも凄い速くて。

――「いつかはあの人に勝ってみたいなぁ」とかっていう気持ちはありました？

中嶋　そうですね。1分やれたらいいなぁとは思います。

――と言ってますけど。

長州力　ねぇ（笑）。

――だけど、普通に考えても凄い人だと思いますよ。14歳でこの世界に飛び込んでくる。こう言っちゃなんですけど、ただ者じゃないですよ。長州さん自身もビックリしませんでした？

長州力　ボクはこの世界に入る動機っていうのは、そんな重いもんじゃなかったですからね。ただ食うために入ったくらいですからね。

――中嶋君はまだべつに食うためにとか考えてないでしょう。

長州力　でも、永島から聞いてるけど「楽にはさせたい」っていうものは持っているみたいですね、家族とかお母さんとか。

――両親がいらっしゃらないんですか？

中嶋　母だけです。

――母子家庭。じゃあ、やっぱり早くお金は欲しいとかはあったんですね。

中嶋　はい。家庭が良くなかったんで、稼ぎたいという気持ちもあったし。

――いつ頃からお父さんがいないんですか？

中嶋　僕小学校の1年生ぐらいまで九州にいたんですけど、1年生の途中ぐらいにいなくなって、よくは覚えていないん

ですけど。2年生になる1学期に間に合うように名古屋に来て。あまり覚えていないんですけど。お父さんいなくて。

──友達はいっぱいいました？

中嶋　学校をいろいろ変わっていたんで。

──15歳にしてはなかなかコクのある人生ですね。

長州力　だから入った時は、勉強できない子じゃないから、「高校には行け」って言ったんですよ。そしたら……何？

中嶋　行きたくない。

──勉強嫌いなんですか？（笑）。

中嶋　嫌いです（笑）。

長州力　だから、それも14歳の考えですよね。我々なんかは「せめて高校」っていう。まあ時代も違うだろうし、ただ、打ち込むんだったら、オレもそういうふうに言うかなって。

中嶋　……両立だと結果が出ないと思うんで一つに絞って。絞ったのがプロレスラーになるってことだったんで……。で、なりました（笑）。

──なりましたね（笑）。

中嶋　学歴とか問題になるかなって思ったんですけど、そん時はまたそん時に考えればいいかなって。

──まあね（笑）。で、WJに入って、まずは体重が増えたっていうのがいいですね。

長州力　いやぁ、食いますよ。ほんと嬉しいくらいによく食いますよ。最初はなんかアレルギー体質で偏食だったんだけどな（笑）。

中嶋　ナマモノとタンパク質アレルギーで焼き肉もちゃんと焼かないと食べれないんです。寿司も食べれないんですよ。

長州力　そういうところが最初「あれっ？　ちょっと様子違ったかな？」ってガッカリしてね（笑）。

中嶋　今はもう治りました。

──1日3回キチンと食べられると。

長州力　3回で終わっているか？

中嶋　道場にいる時はお腹空いたら食べてます（笑）。

──どんぶりで何杯くらいいく？

中嶋　そうですねぇ……。

長州力　ウチのどんぶりはデカいからな。

──ラーメンどんぶりくらい？

長州力　あれをちょっと大きくしたくらい（笑）。

中嶋　それで2杯くらいです。最後にごはんに卵をかけて。

──練習は一緒にされたことは？

長州力　やりますよ。合同（練習）に入ったらみんな一緒に参加してやりますね。

──2階のほうでやってる練習ですか？

長州力　2階も下も使いますよ。今、ご存知のように事故が起きているんですけど、やっぱり受け身をね、しっかり教えないと……（この後も事故の件について話はありましたが、ジャイアント落合さんがお亡くなりになられたためWJサイドの公式発表を待ちたいと思います）。

──長州さんがタックルはどういうもんでどう切るんだという練習とかは？

長州力　それをこの1カ月2カ月で学んで修得しろとか少しでも理屈を分かれっていうのもほとんど無理ですよ。だから、ボクが2階でグラウンドはこうだよっていって理解はできても、体で反応を示すのはなかなかできないでしょ。ボクが空手の先生と空手のスパーリングやれっていうのと一緒ですよね。

──ただ、空手だけでなく寝技の技術も凄いと聞いてるんですよ。

長州力　そうですね。

中嶋　空手の道場で寝技も練習していたんです。

──たったそれだけ？　でも、いろんな人が実は寝技が凄いって言ってるんです。

川原　だけど、向こうは柔術の選手みたいだし、その練習をするか、あるいは打撃だけでいくかは相手のビデオが来た段階で考えていきます。

──ホントに期待してます。ところで総合格闘技についても聞きたいんですけど2階の道場ではアマレス式の練習を。

長州力　そうですね。サブミッションでいろいろ経験した選手いますからね。そこはまたアマレスと違いますからね。

──いわゆる総合向きの練習を。

長州力　それはもう新日本の時から一緒ですよ。

──バーリ・トゥード嫌いだと一般的に言われている長州さんですけど。

長州力　いや、そうじゃないですよ、ボクは。同じリングに上がるという意識ですよね。それはもうバーリ・トゥードが嫌いだとかそういうもんじゃないですよ。所詮闘わなければいけないわけですから。だから、ボクが反対に、バーリ・トゥードとプロレスの違いはどこなのかって、よくマスコミに問いかけますよね。でも、マスコミは答えないですよ。

──だから、……やっぱりショー的な部分がプロレスにはあると思いますよね。

長州力　一人だけボクの問いにストレートに答えた人がいるんですよ、バラエティのタレントなんだけど。それで、こう難しい話の中で『プライド』、バーリ・トゥードとか、いろんな格闘技の選択が出てきますよね。やっぱりプロレスも総合的なリングの中でルールの違いって部分であるんですけど、選手はもうみんなその言葉に怯えるようになっちゃったんですね。ボクはリングの上で闘っていれば何も変わりはないだろうっていう。

──こう言っちゃあれですけど舐めてる

母子家庭だったんで早く稼ぎたいという気持ちもあったし（中嶋）

katsuhiko nakajima with choshuriki

部分があるのか……。

長州力　じゃあ、舐められるほうはなんなのかってことですよ。

——だから、さっき言ったショーだとかいう部分……。

長州力　だから、一言で言うとさ、プロレスはもう全て作られている。

——え！　ハッキリ言いますねぇ。

長州力　いや、そのタレントがハッキリ言ったんだよ。「今まで何十年って、プロレスはショーで作られている」って言ったんですよ。「こいつは正直な奴だなぁ」ってオレは思ったよ。今までで初めてでね、マスコミですら言わないことを初めて言ってくれたんだよ。

——それで長州さんは？

長州力　ただ、緊張感というのをなくすと引っ張っていかれちゃうよって。そのいかれるってことは勝ち負けじゃなくて、お前、死んじゃうよってこと。ボクはメチャクチャ怖いんですよ、リングに上がるのが。上がってしまえば、自分を守ろうという、今まで経験してきたものを全て出して、体に染みついているから反応は出ますよ。出ない限り、お前、いっちゃうよって。ボクはいつも思っていますよ。ボクはリングに上がるまではメチャクチャ怖いですよ。

——やっぱりプロレスと格闘技を分け隔てする部分っていうのは、先程言ったように〝作られている〟というイメージですよね。

長州力　それでね、ボクが闘っているのはマスコミとファンだっていう意識が常にあるんですよ。福田が倒れた時ってのは、マスコミは何も反応を示さないという。

——救急車に乗せられているのにまだ写真を撮っていたという。

長州力　その時は殴りましたね。カメラとか「お前らが死んでくれ！」って思うくらい殴りましたねぇ。そういうマスコミの人たちが我々の世界を取り囲んでいる。

——そういう人たちが報道をしていると。

長州力　しているわけですから。だからボクは選手に言うんですよ、「お前ら、そういう感覚で見られながら、評価されながら闘っていかなければいけないんだよ」って。だから凄いしんどいですよ。

——長州さんの中では、『X—1』にしろWJのプロレスにしろ、基本的には。

長州力　そこは一緒です。背負っているものは一緒です。って一所懸命言っているんだけど、やっぱりマスコミはねぇ。じゃあ、レスラーの中で何人こういうこと言ってくれる選手います？　お前たち、その世界で飯を食っているんだから一緒になってみろって、ボクは言いたい。オレは平気で闘えばいいんだって、その一言ですよ。やれるやらないっていうのは言いますよ。ボクはうちの選手でも、その要素的なものを出せない奴は一切上げないですよ。上げる必要もない。

タレントが「プロレスは作られてる」って言ってね、俺に（長州）

——中西さんの場合、一時期はヒクソン戦も考えてましたよね。

長州力　だから、バーリ・トゥードとかベースを持っている部分だったらまだ。藤田とか中西とか、やっぱり特殊な潜在能力。まだ年齢的にも若かったですからね。

——ただ、中西さんがK—1に出る時に「終わった」って言ってましたけど。

長州力　K—1出た時に終わったですね。僕の場合K—1は頭から違うと思うから。陸上の選手が相撲やるのと一緒ですね。まあ、中西をよく知っていますからね。いろんな期待を込めて叱咤みたいものがありますからね。まあでも、K—1をチョイスする感覚はダメだよって部分。

——ライガーさんの総合も考えていたんですよね。

長州力　だから、それはまったくベースの段階が違います。川原先生と勝彦のレベルですよ。

——結局要するに、ベースがあるか、ないかで……。

長州力　ベースというか、ベースを持ってたってコンディションとか年齢的なものもある。みんなボクがヒクソンとやるとか、夢のカードがどうのこうの言っていますけどね、そんなものはね、ヒクソンだって自分の状態っていうのを一番分かっていますよ。

——さっきの話に戻りますけど、新日時代に合宿所を潰してアマレスのマットを入れたかったたんですよね。

長州力　うん。今これだけ選択肢が増えてきた社会の中で、ボクが「これは一切ダメだよ」っていうものはないですよね。ただ、そういうものを出すためには、最低のものは身に付けてという部分ですよ。結局一緒ですよ。リングの上で闘えばいいんだって。そこに何も違いはないんだよってことですよ。■

中嶋勝彦（なかじま・かつひこ）1988年3月11日生まれ、15歳。福岡県出身。172センチ、78キロ。1996年、小学校3年生の時から日本空手道総闘館で空手を学び、翌年黒帯取得。2000年極真会館（松井派）全日本JRタイトル、2001年キッズグラップリング大会優勝、空手オールジャパンカップ高校軽量級優勝、2002年総闘館トップオブジュニア高校重量級優勝。高校生のタイトルも中学生時に奪っている、天才空手少年。2002年12月20日、WJに入団。9月6日の『X-1』で、いきなりVTでプロデビューを飾ることになる。

9・6横浜文体『X-1』情報

佐々木健介のバーリ・トゥード戦日本初披露ということで盛り上がる『X—1』。元IWGP王者の健介がどんな闘いを見せるのか？　そして天才空手少年と言われる中嶋勝彦君（実は寝技も相当できるらしい）はどんなデビュー戦を展開するのか？　総合ブームの中、改めてレスラーの真価が問われる衝撃の闘いに注目せよ！

長州力 衝撃！
SRS・DXに見参！
9・6『X-1』特集

GK＆ターザン、因縁の2人が語る

長州力とは何か？

撮影◎乾晋也
写真協力◎週刊ゴング
司会◎ブチ＆モグ

長州力、SRS・DXに登場！　かつてのターザン山本との因縁を考えれば、これは実に刺激的だ。それもこれも長州が『X—1』という金網VTマッチを企画しなければ、実現しなかったことだろう。ということで、長州と言えば「おい、金沢！」でお馴染みだったGK編集長に語ってもらうのが一番。長州と因縁の深い2人によるGK×ターザン対談、久々の登場である。

金沢“GK”克彦
〈週刊ゴング編集長〉

×

ターザン山本
〈立石流家元〉

長州力、衝撃のSRS・DX登場記念！

ど真ん中対談！

——今回のお題は『X—1』ということなんですが、お二人とも長州さんとは縁が深いと思うので、長州力について思う存分に語っていただきたいと思います（笑）。

GK　長州力とは縁が深くても『X—1』とは縁はないですよね（笑）。

ターザン　いや、『X—1』が出た瞬間に今までの俺にとっての長州さんとの関係は全部リセットされて自由になったよ。これからは長州さんとは自由な関係だよ。なぜなら、あれをやることは、長州さんにとっては、今までとは違うやり方だからね。もう完璧に俺と長州さんの関係はあれでスッキリ全部水に流したというかさ、ここからはもう別世界だという感じで、非常に気が楽になったというか、肩の荷が下りたよ、俺は。気持ちいいよ、すごく。そっちもそうでしょ？

GK　そ、そうでもないですけどねぇ（笑）。べつにリセットも何もできないですけど。だから、やるんなら本人がやると思ったから。本人がやらないとこでやるというのがちょっと理解できないですね。やるんなら本人がやると思ってたから。

ターザン　うん。長州さんはヒクソンとやるとかやらないとかあったでしょ、あれも一つの大きなポイントだったんだよね。ヒクソンとやるなら、俺も見たかったし。やってほしかったという気持ちがあって、あれが実現しなかったということは大きなポイントですよ。あれが僕たちに対する答えというか、長州さんの答えでもあったんですよ。それが実現しないで流れてしまったと。こういう形で出てきて、本人はやらない。本人がやらないということ自体が、もう僕が言ったとおり、リセットされているわけですよ。

▲GK曰く、長州が弱気になったのは、2001年5月5日の新日本プロレス福岡ドーム大会で、小川直也とタッグ対決した時だという（写真は昨年の8・8『LEGEND』の時のもの）

どこで自信をなくしたか知っています？　小川とやった時ですよ

GK　本人がやらないのはねぇ、余裕を持って無理だな、という判断を自分で下したのかなと思うんですけどね。だって、やる気はあったんですよ。どこで自信をなくしたか知っています？　小川とやった時ですよ、福岡で。まったくお互い踏み込まなくて牽制しあって終わったじゃないですか。

ターザン　あれは落ち込んだのか、それとも弱気になったのか、どうなの？

GK　あれは、たぶん自分の中で愕然としたんでしょうね。「あっ、ここまで自分は踏み込めないのか」っていう。自分の中では恐らくね、小川とか村上に対してもかなり対処できるって自信があったみたいですよ。だけど、踏み込めなかったですよね。

ターザン　長州さんというのは面白い人でねぇ、何か知らないけど、小川直也とかその前の北尾光司とか、そういう人に対して非常になんというか、天敵なのか、それとも苦手なのか、扱いにくいのか、そういうポジショニングができない人だねぇ。間合いが。

GK　やっぱり、プロレスに対してあまりにも誇り高いのと、自分の枠が決まっているからでしょうね。その枠から出ないという頑固さでは、プロレス界ナンバーワンでしょうからね。だから、僕にとって『X—1』は意外じゃないんだけど意外、という両面ですよね。それとマット界の現状がこんなに厳しいとは思わなかったろうし。

ターザン　読みを間違ったというか、読みが食い違ったというかね。そういった意味で言うと、長州さんがやってた新日本のいい時代というものがガラッと形態的に全部変わったんだよね。

GK　もう一つは、提供するソフトが、ファンのニーズとかマスコミのニーズとズレているということですね。それはどっちがズレているのか？　長州さんは元に戻そうとしているのかもしれないけども、ファンとかマスコミとかは先に行っちゃってるんですよね。だから、長州さんの言うことが理解できないマスコミが、いやもう長州さんの言葉を理解できなくなっちゃってるんですよ、みんな。

ターザン　長州さんは一つの言葉に含みがあるんだけどさ、それはめんどくさいことだよ、若い人たちには。しかも、「俺の言っていることが分かるだろ」っていうのがあるんだよね。長州言語が通用しない、そうなるとどこに行くかというと……〝勝負論〞に行くわけですよぉ！　『X—1』に行くしかないわけですよぉ！　だから、そういうプロレス言語がなくなってしまったという挫折感を感じたという認識から『X—1』が出てきているわけですよ。結局さ、長州さんが『X—1』をやったというんじゃなしに、WJも『X—1』をやらざるを得ないし、新日本もやるんでしょ？

——『アルティメット・クラッシュ』。

ターザン　それをやらなければいけないということは、要するに『プライド』とかK—1みたいなものが流行になっているとか世の中の風潮としてもてはやされているとかじゃなしに、一番の原因はプロレスという言語が通用しなくなったと。

勝負論しか、今の現時点では何も有効な物はなくなってしまったんですよぉ。「あれしかないんだよなぁ」という今の時代に対する心からの絶望感だよ。

――山本さんは長州さんに絶望したんですかぁ？

ターザン いや、その瞬間は絶望したけども、だからと言って、俺はそれを引きずっているわけじゃなく、今の時代はこうなんだという意味では、共通するところがあると。

――金沢さんはどうですか？ 長州さんは新日本の時代からアマレスのマットを敷こうとしたり、ああいう流れを新日本の中に持ち込もうとしたじゃないですか。今度の『X―1』は自然の流れっていう感覚はないですか？

GK もしかしたら、新日本に長州さんがいたら、『アルティメット・クラッシュ』みたいなことをやっていた可能性はなきにしもあらずでしょうね。たぶん、時代が変わってきたというのは誰よりも認識していたと思うんですね。だから、中西に練習させたりとか、ドン・フライやブライアン・ジョンストンを連れてきて選手に練習させてみたりとか。ずっとマスコミを出入りさせないで、地方でも試合前にやっていたし、天山とかあの辺も輪に入ってやっていたりとか、それを横目に知らんぷりしながら藤田が1人で練習していたりとか（笑）。だから、有り得なかったことではないんですよね。

――それはある程度内側から見た感じですよね。山本さんは外からパッと見て。

ターザン 俺が長州さんだったら、一言ですよ。「もう、いいや」っていうような感じだよ。

GK だから、僕はそれをやるとしたら、もっと覚悟を決めたものになると思っていたから。自分が出るというね。他の人間にやらせる理由はないと思っていたし。

――ただ、プロレスと格闘技は一緒だというスタンスは相変わらずですよね。

ターザン いや、そう言っているのは、インタビューしに来たヤツに「おまえはどうなんだ？」って確かめているんだから、ハッキリ言わなければダメなんだよ、「プロレスは八百長です」って。言ったか、おまえたち？ 俺だったら、言っているよ。浅草キッドがテレビの番組でそう言われて、何も言えなかったって言っていたんだよ。「俺だったら、言っていたよ」って。

――ああ、それは「プロレスは作り試合だ」って言ったんですよ。

ターザン 長州さんの前で曖昧な言葉はダメなんだよ。

GK それはいつ？

――サムライでやっているヤツですね。

GK サムライに出ているんですか？ カァァァ……。何かに出ているとは聞いていたんだけど、それを聞いて取材意欲がゼロになった。

ターザン ハッハハハハ。いや投げ出していて、封印しているから週刊ファイトの取材も受けるし、週刊プロレスの佐藤編集長の取材も受けるんですよ。それは今までだったら、ノーだったのよ。

――今回はSRS・DXですからね。

ターザン だから、君たちはみんな馬鹿にされているわけよぉぉぉ！ 取材ができたと喜んでノコノコ行くヤツは、もう馬鹿野郎だよ。週刊ファイトの編集長でしょう、週刊プロレスの編集長でしょう、それにSRS・DX。大馬鹿の3馬鹿トリオですよぉぉぉ！ まったく物事を分かっていないというかね。今の長州力は長州力じゃないんだからぁ。

長州言語が通用しなくなったら、"勝負論"に行くわけですよ

――うちの雑誌で長州さんと山本さんのカップリングは刺激的でしょう？ それは金沢さんも同意見ですか？

ターザン そりゃそうですよぉぉぉ！

――金沢さんに聞いているんです（笑）。

GK あれも長州力だとは思うけど、あれが長州力だとやってもしょうがないと思うんですよ。だいたいね、ポスターの前でポーズ決めて写真を撮っている時点でダメ。写真を撮るなら、インタビューはもう終わりだっていう長州力じゃないとダメなんですよ。

ターザン 「写真は3秒だからな」って、1枚しか撮れないんだから。イライラして面白いわけよ、僕らからしたら。札幌で取材した時も、時間を待たされること3時間ですよ。

――3時間？

ターザン 3時間待った、俺は。3時間待っていて、いるんならやってやると。

GK 僕は一番強烈なシチュエーションはね、7年前かな、旭川の試合前に取材を約束していて、場所がなくて控室の中でやったんですよ。選手がみんないるんですよ。そこで長州節が轟き渡るわけですよ。選手の個人名が出てきたりして（笑）。みんな聞いていない振りをして、耳をダンボにして聞いているわけで。み

▲昔は控室で、トップ選手たちのいる前で長州インタビューを行ったことがあるというGK。今は、長州からかつてのピリピリ感がなくなったというが……

んないるんですよ、トップレスラー。わざと周りに聞かせているようなところがあるんですよね。あれは凄い状況で、みんなピリピリしていて面白かったですよ。

ターザン 長州さんで重要なのは、相手を選ぶということなんですよぉ。で、長州さんと天龍さんには一個だけ共通点があるよ。こいつは腹の底でプロレスを八百長だと思っているんだろうというね。その1点だけ見ている。それで相手の尺度を決める。だからそういう気持ちで行ったら相手にしないわけ。

――山本さんは八百長だと思っているんですか？

ターザン 俺？ 俺はプロレスが好きだから、のめり込んで真剣にやっているから。それはそれだけの強さを恐れるわけですよ、そこまでのめり込むなと。そこまで食い込むなと。そうなると逆に慌てるわけですよ、長州さんは。そこの闘いなわけですよ。

――金沢さんはプロレスを八百長だと思っているんですか？

GK いいえ、僕はプロレスが好きだから。体力があったらプロレスラーになりますよ、若さと。素晴らしい試合をする自信はありますけどね（笑）。

――大変失礼な質問をしたと思うんですけど、格闘技雑誌という括りの中であえて聞いてみたんですよ。ちなみに金沢さんはどういう闘いを？

GK あの人をどう理解するというか、こいつは俺を理解していると思わせることでしょうね。思わせるということは、本当に理解するということですよね。

――濃密な時間を作るということを考えることですか？

GK 濃密な時間を作ることはまったく関係なくて、質問一つひとつが長州力の琴線に触れるかどうかの問題なんですよ。結局、長州力の本質を伝えているかどうかであってね。1回だけ電話で「よくやってくれた」って言われたんですけど、「山本ってヤツは」って言う。今まで一度も書いたことがなかったんですよ。そうしたら丸亀だったかな？「山本のやり方はこの業界にそぐわない。おまえ、これを書いてくれ。責任は俺が取る」と。で、書いて、たまたま新日本プロレスに電話して永島さんと話をしていた時に、勝手に電話を変わって「金沢、よくやってくれた。これを書いてくれなかったら、おまえとの付き合いも考えていた。ありがとう。ガチャ」って（笑）。用事があって電話したのに（笑）。

ターザン それはそれだけ俺が大物だということですよぉぉぉ！ で、結論はなんなんだ。結論だけ言ってくれ！

――要は新日本は『アルティメット・クラッシュ』をやり、長州さんは『X―1』をやると。そういう流れは是か非かということですよね。

GK 是か非かって言われれば、やりたきゃやりゃぁいいんだよっていう猪木さんのセリフですよ。やってみないと分からないわけだから。試合を見て面白いか面白くないかの問題ですよ。

ターザン 答えは一つしかないよ。プロレスはプロレスだけでいいんだよ。でも、新日本もWJも『アルティメット・クラッシュ』と『X―1』をやらざるを得ない。でも、『プライド』はプロレスを持ってくる必要はないんですよ。で、K―1はプロレスを持ってくることをやっているわけでしょう。ということは、この中で一番強いのは、持ってくる必要がないことだけをやっている『プライド』なんですよ。

質問一つひとつが長州力の琴線に触れるかどうかの問題なんですよ

GK そんなことないですよね。それは持ってくる必要がないんじゃなくて、気が付いたらプロレスを持ってくる必要がなくなっちゃったんですよ。

ターザン だから勝負論だけ持つからよ。プロレスは勝負論を持ってこなければならないという弱さをさらけ出しているわけよ。K―1は、勝負論にも自信がなくなってきたので、勝負論以外のプロレスを持ってこなければならなくなった。『プライド』は勝負論で勝負しているでしょう。今のニーズとしては『プライド』が中心軸になっているなとね。

GK あんまり今の『プライド』には興味がないんだよなぁ。

ターザン 俺は世の中の興味のニーズを言っているんですよぉぉぉ！ 結局、金沢氏は自分の媒体としての週刊ゴングがあるでしょう。その立場で言うだろうし、俺はフリーの立場でマクロ的な立場で物を言うから。

――それは「金沢、おまえの現場は狭いんだよ！」ということですか？（笑）。

GK 僕は『プライド』行きません。G1クライマックス全部行きます。もっと狭い火祭り3日間お付き合いしたからね。

ターザン そのマスターベーションが時代をダメにするんですよぉぉぉ！

GK プロレスはマスターベーションですよ。プロレスやプロレスラーがベッカムになれるわけがないんだから。なる必要もない。せいぜいWWEでしょう。

――まあ、このお二人の闘いはまだまだ続きそうですね（笑）。

GK これからまた闘える気がしてきた。

ターザン 僕は壊しに行きますよぉぉぉ！

GK 僕は守ります（笑）。■

▶2人で長州の右の拳を突き上げるポーズをとってもらったが、中西学の「ホーッ！」になってしまった……

祝100号記念対談! テリー伊藤×ターザン山本

業界騒然!? 読者からは賛否両論続出!

ここまでくれば、腐れ縁みたいなもんですよぉおおお!

K－1と『プライド』ができてから、プロレスをもっと好きになったよ!

〈天才・演出家〉 〈天才・プロレス大道芸人〉

テリー伊藤×ターザン山本

祝100号記念! 後編 奇人・変人・天才対談

祝100号を記念して、2号ぶっとおしで行っている『奇人・変人・天才対談』もいよいよ後編。前編を読んだ読者からの「オッサンのツーショットはキモイ!」、「格闘技以外の話はやめろ!」というありがたきお言葉を頂戴しつつ、2人のトークバトルはさらに加速&加熱するいっぽうです。ということで、反則スレスレの話まで飛び出す怒濤の後編を最後まで味わいやがれ!

撮影◎中島ミノル

テリー　そう言えば、最近Ｋ―１はどうなの？　なんか今のが駄目というか、幻想的なものをどんどん追加していくしか生き延びられない感じだよね。

ターザン　そうそうそう。

テリー　でも無理だよねぇ。

ターザン　もっと作り込まなければいけないんですよぉ。プロモーション側がもっとシビアに物事を考えて、詰め将棋してさぁ、ピシッ！　ピシッ！　っとチェックポイントを正しくやんないと。そうじゃないとミスとボロのオンパレードになっちゃう。これ、石井館長がいないことが原因になっているんですよねぇ。そう思いません？

テリー　石井館長は現場にいたんでしょ？

ターザン　いるんだけど、最終的な指示はできないんですよぉ。

テリー　なんで出れないの？

ターザン　表に出た途端に、マスコミがバァーッと写真を撮って一般誌なんかが、ああだこうだまたさぁ、よ～するに刑事責任を問われている立場だからねぇ。そういうものがあって表に出れない。でもぉ！　館長は裏でいると、表に出たくて出たくて指示したいんですよぉ！

テリー　出せばいいのにねぇ。

ターザン　僕もそう言っているんですよぉ。やっちまったほうが良いんですよね。

テリー　だって脱税したからって、今さら他の仕事なんかできないでしょう。だったら改心してもらって、例えば青少年のためのセンターを作るとかさぁ、なんだって良いわけじゃない。悪いけどさぁ、他の人と館長とじゃあメジャーリーグとリトルリーグぐらいの違いがあるよぉ。

ターザン　石井館長の代わりというのは、絶対にいないですよぉ！

テリー　いないよぉ。

ターザン　「自分と同じ人間がいると思って部下を使っていたら、ヒドイ目に遭いますよぉ！　俺しかいないですよぉ！」と僕は館長に言ったんですよぉ。

テリー　そうしたら？

ターザン　館長は吹っ切れてましたよぉ。「あ～、こりゃ遠慮したら駄目だな。終わりだな人生は。俺は絶対これからは遠慮しない！」って。

テリー　俺も絶対そう思うなぁ。あとは、もう1回チャンスをくれた世の中に対して、館長がどう恩返しできるか、どういうふうに世の中のためにするかだよねぇ。

ターザン　館長は仕掛け好きなんですよぉ、はっきり言って。世の中を驚かしてやる、ビックリさせてやろうという精神が溢れているんですよぉ。ああいうプロデューサーは、表に出てこないと困るんですよぉ！

テリー　うん、そりゃそうだ。

石井館長は、30年に1人の逸材だよぉ！「この人は凄い！」って思ったもん　（テリー）

ターザン　プロデューサーで思い出したんですけど、髙田延彦のプロデューサーとしてのセンスっていうのはどうですか？

テリー　まだ分かんない。プロデューサーっていうのは、いわゆる組手だからね。だから素人でも1発目はできますよ。それで次はどうしよう、次はどうしようってことでさぁ、つまり将棋の指しと一緒なんですよ。

ターザン　あの手この手があるんですよねぇ。じゃあ、テリーさんがさぁ『元気が出るテレビ』だとか『ねるとん紅鯨団』だとかさぁ、『浅草橋ヤング洋品店』とかっていうのは、あの手この手でやってたわけですよね？

テリー　やっぱ俺らはテレビを見てても、自分で判断しないんですよ。「あっ、ここで笑うんだぁ」っていう、俺が作ったのと違うところで笑う。「あっ、そういうことだったんだぁ」って思うわけですよ。僕はやっぱり24時間お笑いのことを考えているから、こういうふうにやるけど。素人はその日見て、思いがないわけですよ。俺が絶対に面白いんだなって思っても、面白くないとかって聞くと「あっ、そうなんだ。これはウケなかったんだ」と思うと、俺はすぐに手のひらを返すんだよね（笑）。

ターザン　切り替えるんだね。

テリー　ターザンもやったよね、プロデューサー。あれでさぁ、20回連続でやったらどうする？

ターザン　もうお手上げですよぉ。

テリー　そこなんだよね。プロデューサーって持続力ですよ。それと瞬発力。この2つを持ち合わせてないと。だから髙田さんも最初はできますよ。机の上で「よしっ！　コイツとコイツ」って。「よしっ！　これいけるぞ！」って。彼は肉眼で見るのか、モニターで見るのか、よく分かんないけども。ただ、レフェリーとかをやったら絶対に駄目だよね。あれはもうプロデューサーじゃないですよ。レフェリーをやった段階で当事者になってしまうから。

ターザン　プロデューサーは間合いをもってなきゃいけないんですよぉ。じゃあ、解説をやったり、レフェリーをやってたりしたらおかしいってことですよね？

テリー　まあ、百歩譲ってまだ解説はいいかもしれない。解説がなぜいいかっていうと、横に素人がいるから。

ターザン　あ～、なるほど。（藤原）紀香ちゃんとか（笑）。

テリー　（長嶋）一茂君だとか。「あ～そうか、こんなこと考えているんだ」って思えば、エキスになるからね。

ターザン　たしかに1回は成功する。その後はマンネリと煮詰まったこととの闘いだもんね。

とを言ったらそれを認めなかった。でも、

祝100号記念対談! **テリー伊藤×ターザン山本**

テリー そうですよ。1回成功する。その後2回失敗したとする。その次の失敗は、絶対に許されないですよ。

ターザン もうそれはアウトですか?

テリー う~ん、それはけっこう引く人は引くよね。なんだってそうでしょ。

ターザン うん。

テリー 3回続けてつまんなかったら、客は買わなくなるよね。

ターザン もう駄目ですよぉ。僕も週刊プロレスを作ってた時は、1週間ごとに勝負だったんですよぉ。次はこっちでいこう、次はあっちでやるんだっていうね。もうその闘いでしたもん。

テリー だからプロデューサーってそうなんですよ。反応を見て、読者のハガキなり、世の中の反応を見て、だったら裏切ってやろう、だったらこっちも去ろうっていう、だからほんとナマものですよ、プロデューサーも。

ターザン もうフェイントばっかりですよぉ、頭の中。

テリー そうそうそう。だから髙田さんもそこですよ。その才能を持ち合わせられるかどうかっていうね。それは今ちょっと分かんないけど。もしかすると凄い才能を持っているかもしれないし。

ターザン いやぁ、ほんとに継続していくというのは、恐ろしいことですよねぇ。

テリー そうですよ。

ターザン まして、やるごとにどんどんハードルが高くなる。プロデューサーっていう言葉は、重要ですね。

テリー だからさっきも言ったけど、石井館長は30年に1人の逸材だよぉ! 「この人は凄い!」って思ったもん。

ターザン 運の強さとか、勘の良さとか、そういうものをみんな兼ね備えていますよぉ!

テリー 俺も2、3回しかお会いしてないけどね。もうしゃべっていることが優秀だなぁ。あれはいないよ。出てこないですよ。実は、石原都知事もそういうところがあるんですよ。話していて優秀だなっていう人がいるじゃないですか、全然ジャンルが違っても。

ターザン 優秀だということは、どうなんですか? スペシャリストであって、なおかつ頭脳も優秀だっていう?

テリー 両方ですよね。あとは肉体が強いってことですよ。

ターザン 肉体が強い!? そう言えば石原都知事は若いですよね。

テリー 肉体が強くないと、モノの例え方がネガティブになってくるでしょ? どうしようもないことだけどね。

ターザン どうしようもない!(笑)。でも、今の世の中はどうしようもないことだらけですよぉ。

石井館長の代わりというのは、絶対にいないですよぉ!(ターザン)

テリー それはさぁ、逆に10年前も嘘だったことはあるからね。10年前がたまたまマジックにみんなが惑わされていてさぁ、俺なんかこのトシだからそういうのが見えちゃうじゃん。10年前だって怪しいと思うから、それなら今のほうがよっぽど面白いよね。

ターザン なるほどねぇ(笑)。

テリー だって、この業界にK―1も『プライド』もなかったらさぁ、例えば週刊プロレスにターザンがいて新日本プロレスの批判をしたって、向こうはなんともしてこないよ。書いてくれたらOKなんだから。

ターザン 反発してこないよね。

テリー してこないよ。

ターザン それだけの元気がないしさぁ。

テリー ということは、十何年前はよっぽど不健康だったっていうことだよ。

ターザン あ~~~。

テリー ありもしない幻想をみんなで作ってさぁ、ターザンみたいにホントのことを言ったらそれを認めなかった。でも、今はホントなんだもん。

ターザン たった1行ほど『新日本プロレスは地方で手を抜いている』って書いたら、えらい怒られたもんねぇ(笑)。

テリー それってさぁ、共産党と一緒じゃない。批判できない体質は。

ターザン 批判できないっていうのは、不健康の極まりですよぉ。

テリー 極まりだよ。今はそんなことないでしょ? なんでも書けるでしょ?

ターザン 書けますよ、今は。

テリー で、なんにも文句を行ってこないでしょ。だからK―1とかをテレビで見ていても、テレビ局はそれっぽい紹介ビデオを作って、相変わらずレーザー光線で見せてさぁ、こっちのほうがよっぽど俺から見ればリアリティがないよぉ。あの会場のイメージは、まるで北朝鮮みたいなもんですよ。

ターザン たしかに北朝鮮に似てますよぉ。強制しているんだからイメージを。

テリー でしょ? あんなのはもう、俺から見るとまったくリアリティがなくて。みんな選手はリングの下で座ってりゃいいんだよ。で、次の人の試合を見てりゃいいんだよ。相撲みたいに。

ターザン そうですよねぇ。

テリー 終わったって、そこにいればいいんだよ。なんか、ボコボコの奴がそこに倒れていて、それでケガを治療してたらいいんだよ。負けた奴はそこで敗者の屈辱感を感じているという、そういうことがよっぽどリアリティがあるのに、あんなわけの分かんない。あんなの北朝鮮と一緒じゃんって思っちゃって。

ターザン それは言えますねぇ。

テリー 俺はテレビの演出家だから分かるんだけども、演出家がリアリティのも

祝100号記念対談！ テリー伊藤×ターザン山本

のを超えちゃいけないの！

ターザン それは原則ですか？

テリー 原則ですよ！

ターザン リアリティのものをいじっちゃいけないっていうことですよね？

テリー 超えちゃいけないの！ アシストするのは構わないんだけども、リアリティを超えているんですよ。これは演出家のおごり。

ターザン 変な過剰性をもたせているんですよね？

テリー そこに気付かないと。ああいうことは格好悪いということをある時に演出家が気付いて、これを辞めちゃえと。

ターザン でも、あれがまかり通っているんですよ、今は。

テリー それはシロートだ。

ターザン しょっぱいということですか？

テリー 俺はモニターを通してのプロなんだから。裏切らなくちゃ、昨日やったことを。猪木さんってそういうことをやるじゃない。

ターザン すぐやりますよぉ、あの人は。

テリー みんなが照明やって、音をたてて、ナレーションをやってたら、1人で歩いて来させろよって。あんなヤクザの親分がボディーガードで子分をつけてるみたいなやり方をしないでさぁ。1人で来るほうがよっぽど怖いじゃない。そうしたら観客の声が聞こえてくるんだよ。

▶この対談は、テリーさんが経営する番組制作会社『ロコモーション』の社長室にお邪魔して行われた。それにしてもこの社長室、ピンボール台やバイク、アンティーク家具が飾られていてホントかっこ良かった！

プロレス全体が良くなるっていうのはもうないよね。だってプロレスにはダメな人が多すぎるから（笑）（テリー）

ターザン 観客の声というリアリティが分からないわけですねぇ。ぜ～んぶ消されちゃっているんですよぉ。

テリー 得意満面に原稿を読んでるわけじゃない、実況のアナウンサーが。俺はそれがいやなんだよ！ もういいんだよそういうのは。マスターベーションはいいんだって！

ターザン あれはマスターベーションですね（笑）。

テリー マスターベーションですよ、あんなもん。だって俺がさぁ「さあ！ 向こうからターザンがやってきましたぁ！ ターザン山本がやってきましたぁ！」とかってやったらイヤじゃない。

ターザン 余計なお世話ですよぉ。

テリー 余計なお世話じゃない。だからそれが当たり前だと思っていることが駄目なの。だからああいう大きな会場でやる、たくさん客がいる、盛り上げなくちゃいけないっていう恐怖心。

ターザン 強迫観念みたいなものですよねぇ、やる側の。

テリー だから、それがシロートだって言うんですよ！

ターザン あ～、なるほどねぇ。そう言えばテリーさんは、プロレスとの付き合いは長いですよね？ 最初も、中も、後も、全部続いている。これはなんなんですか？ ここまでくれば、腐れ縁みたいなもんですよぉ！

テリー そうだよね。俺はK－1と『プライド』ができてから、プロレスをもっと好きになったよ！

ターザン はあ～。でも、テリーさん、K－1と『プライド』に押されて、プロレスがその2つに対してちょっとなんていうかさぁ、力を失っているこの状況っていうのはどうですか？

テリー 俺はもしかすると、自分もそういうところが好きだからね。

ターザン でも、あまりにも駄目さ加減が際立って、もう少しなんとかしてほしいっていうのはテリーさん、正直ありませんか？

テリー だけど、プロレス全体が良くなるっていうのはもうないよね。プロレスには駄目な人が多すぎるから（笑）。

ターザン ムチャだなぁ（苦笑）。

テリー ただ、〝掃き溜めに鶴〟っていう良い言葉があって、時には出てくるんですよねぇ。

ターザン ハッハッハ！ 日本語はいいですねぇ。日本の言葉っていうのは……〝掃き溜めに鶴〟！

テリー 新日本からでもいいですよ、プロレス発の奴が出てくるんですよ。「こいつはK－1に出たら絶対に勝てるよね」っていう、そういう幻想をもったスゴイ奴がいつか必ず出てくるよぉ！ ■

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携
SRS DX
スペシャル・リング・サイド
No.100 8・28臨時増刊号

CONTENTS

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

通巻100号記念 これからの専門誌はどうなる!? 座談会

SRS DX

No.100
2003
8・28
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

G・馬場からのお祝いだよ

100号だってな、アポ〜ッ!

出席者◎谷川貞治（K－1イベントプロデューサー）
ターザン山本（非ヤポちん＝銀座地域限定）
小松次長（本誌“体調不良”編集部員）
司　会◎柳沢忠之（本誌“ギブアップ・ブギ”御目付役）

©平工幸雄

やっぱり俺は熱帯夜が来ないとダメなんだよねぇ

山本　おいっ、谷川ぁ！　ようやく夏が来たなぁ。
谷川　へ？　夏が……、来ましたか？
山本　俺はこれまで夏が来なかったので、体調もすぐれなかったし、頭がおかしかったんだよねぇ。もう6月くらいから「これじゃあ、今年は夏が来ない」という予感がしてたんだよぉ。だからずーっと、俺は元気がなかったでしょ。俺はさぁ、ここまで季節という敵と闘ってたんだよねぇ。ほとほとバテたというかさぁ。
谷川　たしかに、今年の格闘技界にも夏は来なかったですからねえ。
――んあ～！（笑）。
山本　身体は夏を求めているのに、真の夏がないでしょ。やっぱり俺は熱帯夜が来ないとダメなんだよねぇ。
――ターザン山本と熱帯夜。とんでもない取り合わせだ（笑）。なんか、布団にキノコが生えそうで想像したくないよなあ。
谷川　山本さん、こういう夏はですね、日本にいないでラスベガスに逃げるのがベストですよ。
山本　でも、ラスベガスは金がないと行っても面白くないもんなぁ。先週、俺はラスベガスで遊ぶ資金を競馬で稼ごうと思ったら、エライ目に遭ったよぉ。10 0万円作ろうと思ったらさぁ、とんでもないことになってしまったんだよぉ。
谷川　まあ、それはいつものことでしょうけど。ところで山本さんは、今回のK－1ラスベガス大会で何を担当するんですか？
山本　そんなもん、カジノに決まってますよぉ。
――ダハハハハッ！
谷川　そうじゃなくて、どの試合レポートとか……。
山本　取材なんてもんは、ぜ～んぶ他の人間に任せますよぉ。
――カジノ・オンリーの海外出張（笑）。
山本　で、出発は何日？
小松　えーっと、12日です。で、大会が現地時間で8月15日ですね。
山本　すると、金曜かぁ。ということは……現地時間では何曜日？
――ダハハッ！　木曜とでも言っておきましょうか（笑）。
小松　でも今回は、前回のパリ大会取材とは違って悲願のビジネスクラスですからね。
山本　それを待ってたんだよねぇ。俺は身体がデカイからさぁ、エコノミーはダメだよぉ。パリ取材の時はさぁ、症候群になるかと思ったもん。
――なんの症候群？（笑）。ターザン・シンドロームか？
山本　でも、カジノ資金を集めてこなきゃいかんなぁ。
谷川　ぜひ集めてきてください。
山本　俺さぁ、消費者金融に200万円くらい借りてるんだよねぇ、今。
小松　で、返してないんですか？
山本　いや、返してもすぐに借りるじゃない。毎回毎回、利息だけを払ってるようなもんよぉ。
谷川　それ、現代の借金地獄の最悪のパターンですよね（笑）。
山本　元金がぜ～んぜん減らないよぉ。厳密に言うとさぁ、220万なんだけどねぇ。
――厳密に言うと（笑）。
谷川　これ、前フリですか？
山本　いや、今日の前フリは別にあるんだよぉ。先日、映画を観た後の夜に、銀座からJR有楽町駅方面に歩いていたんだよねぇ。すると、弟子の歌枕が「あっ！」と叫んだんだよぉ。「前から来る、来る」と言うんですよぉ。前から来たのが誰だと思う？
谷川　はあ……？
山本　俺が一番尊敬する人が、歩いてきたわけよぉ。
谷川　山本さんが一番尊敬する人……？
小松　…………馬場さんとか？
――んあ～！
山本　馬場さんが歩いてたら、幽霊ですよぉ！
――そんなデカイ幽霊は出ないだろ（笑）。
谷川　で、いったい誰なんですか？
山本　俺は常々、今の日本の社会を「民意が低い」と言ってるんだけど、その人は俺と同じ意味で「日本の社会は劣化してる」と言ってるんだよねぇ。ヒントは三島由紀夫の盟友ですよぉ。
谷川　ああ、美輪明宏。
山本　そうっ！　美輪明宏が歩いてきたんだよぉ！　俺は驚いたよぉ。で、これは話しかけるべきか、黙ってすれ違うべきか、俺はその一瞬、物凄～く悩んだんだよねぇ。
小松　で、どうしたんですか？
山本　これはやっぱり話しかけたら野暮ったいな、と。そう思って、すれ違いざまに帽子を取ってさりげなく会釈したわけよぉ。
――ターザン山本がさりげなく（笑）。
山本　そうしたら、ムチャクチャ優しい顔して俺に微笑み返してくれたんだよねぇ。なんとも言えない美しい表情で、もう俺はまいったよぉ。「や～っぱりこの人は本物だ！」と思ったよぉ。
谷川　へぇ～。
山本　そこで俺が「美輪さん……」とか、何か話しかけたりしたらダメなわけよぉ。その瞬間にヤボちんになっちゃうわけよぉ。
――普段のターザンに（笑）。
山本　もう、俺の57年の生涯の中でも美しい午後9時20分みたいな時間だったんだよなぁ。で、俺はちょうどその2日前に美輪さんの舞台の『黒蜥蜴』の特集番組をテレビで観て。その時に美輪さんの言った言葉が衝撃的だったわけです。
谷川　はあはあ。
山本　NHKの黒田あゆみさんというアナウンサーが美輪さんのインタビューをしてて、その時に凄いことを言ったわけですよぉ。物凄い宝石を身体にジャーッとい～っぱい着けてるわけですよぉ。で、それについて「それは全て本物なんですか？」って聞いたら、美輪さんがなんと言ったか。「私は存在自体がフェイクなので、本物を着けるしかないでしょう」と、こう言ったんだよねぇ。俺はシビレたねぇ！
――ダハハハハッ！
山本　たしかに存在自体がフェイクだよなぁ、男か女か分からないしねぇ。「存在

惰性で行ってるから区切りみたいな感覚はないよぉ

自体がフェイクなので……」って、これはプロレス的言語だよなぁ。で、『黒蜥蜴』の演出をやっていて台本合わせとかをやるわけですよぉ。その一番最初の時に出演者を集めて言う言葉も凄いんですよぉ。「私が演出する限り、私の空間に入ってくる限り、私がこの三島由紀夫脚本の『黒蜥蜴』をやる限りは、皆さんは全て修道院に入ったつもりで来てください」って。これにもシビレたねぇ。俺は『週刊プロレス』編集長の時の立場を思い出したよぉ。

――ぷぷぷぷっ！ 修道院に入ったつもりで『週プロ』を作れ、と（笑）。

山本 まあ、俺は新撰組のつもりでやったんだけどねぇ。

――ということは、山本さんは土方歳三か？（笑）。最期は五稜郭まで流れて。

山本 うむむっ！ まあ、美輪さんはそこで細かい演技指導を何回もやるんだけど、高嶋政宏という人がさぁ、黒蜥蜴の役をやってるんだけど。

小松 高嶋政宏は明智小五郎で、黒蜥蜴は美輪さんじゃないですか？

山本 まあ、細かいことはいいよぉ。で、美輪さんがセリフの言い回しを教えるんだけど真似できないわけですよぉ。で、高嶋政宏も努力家で、それをメモに取って、さらに録音して、家に帰って復習してるんだよねぇ。その完璧を求める姿勢も面白かったねぇ。で、その美輪さんと、まさか2日後にさぁ、道でバッタリ会うとは思わなかったよぉ。これは縁起がいいというか、夏が来たとはこのことですよぉ。

谷川 へえ～。

山本 まあ、美輪さんはそういった意味ではプロレスラーだよねぇ。自分の存在をフェイクと言い切れるんだからなぁ。

谷川 で、山本さんの存在は何なんですか？

山本 俺はフェイクもフェイク、大フェイクですよぉ！ 俺の場合は自分の存在が大フェイクだから、本物の言葉で自らを飾ってるわけですよぉ！

――結局、また「俺」か（笑）。

山本 で、モグの前フリはなんだ？

小松 ないですよ。

山本 おまえは季節感のない男だなぁ。永久凍土の男ですよぉ！

谷川 じゃあ、今日の本題に入りますか。

山本 今日のテーマはなんだぁ。

小松 えーっと……、『ＳＲＳ・ＤＸ』も今号でめでたく記念すべき通巻１００号を迎えました。

谷川 １００号かあ。僕は自分が関わった雑誌が１００号を迎えるのが2回目なんですよ。それは『格闘技通信』と『ＳＲＳ・ＤＸ』の2誌で、『格通』はご存知のようにＵＷＦができてから爆発して、で、ホイス・グレイシーが表紙だった１００号です。その当時は第1回アルティメット大会が開催されて、安西（伸一）さんが一人で取材に行ったんです。

――ダハハッ！ 一人で。

谷川 そう、取材に行くまでは、いったいなんの大会だったか分からなかったから。で、それが表紙になったんです。「グレイシー柔術が凄い」って感じで。

山本 えーっと、それは１９９３年？

谷川 そうです、そうです。ちょうど10年前です。その大会のグレイシー登場からＵＦＣが話題になって、Ｋ―1が出てきて、その後に『プライド』ができて、フジテレビが格闘技の番組を始めて、そして『ＳＲＳ・ＤＸ』が出たというか。そこから続けてきて、僕にとっては2回目の１００号ということですね。

山本 俺は『週刊プロレス』をやっていた頃は１００号とか２００号とか、区切りの意識がなかったけどねぇ。２００号だけは思い出すけどなぁ。

谷川 僕は『週プロ』１００号が印象深いですねえ。劇画が表紙でしたよね。

山本 そうそう、あれは杉山（頴男）さんの唯一の失敗というかねぇ。

谷川 『ギブアップ・ブギ』でしたっけ？

山本 そうですよぉ。

――２００号の時は山本さんが編集長でしたっけ？

山本 まだ編集長じゃなかったけど、「首の皮一枚」という村松（友視）さんの寄稿があって、村松さんと猪木さんが表紙になった。あれだけは憶えてるよぉ、俺は。

谷川 あれは村松さんが書いた中で、最後に面白いと思った原稿だったなあ。

――んあ～！

谷川 いやいや、プロレスを題材にしたものという意味でだよ（笑）。

山本 あれだけは思い出すけど、あとは３００号、４００号、５００号とか、俺は惰性で行ってるからねぇ。区切りみたいな感覚はないよぉ。

谷川 その区切りをいい意味で使ったのが、通巻１０００号の紅夜叉の表紙でしたよねえ。なんだっけ？ あのコピー。

――「紅夜叉からの〝お祝い〟だよ……１０００号だってな」っていう、巨乳を大フィーチャーした写真の表紙（笑）。

谷川 あれは山本さんを超えましたよね。

――伝説の宍倉（清則）次長が作った表紙だよね（笑）。

山本 ちょうどあの時にさぁ、俺は『レッスルマニア』でアメリカに行ってたんだよねぇ。で、次長に表紙を任せたら、俺の居ぬ間に次長イズムを大爆発させたわけですよぉ。

通巻100号記念
これからの専門誌はどうなる!? 座談会

あ！　それは紅夜叉を超えてるということだなぁ

谷川　あれにはホントに度肝を抜かれましたもん（笑）。

山本　よ～するに、あれは次長が俺を超えたというか、俺の作る物と差別化するには何がいいかということを絶対的に出せる男だったんだよねぇ。それ以外の人間は何をやっても俺の模倣になってしまうわけですよぉ。つまり、宍倉次長が俺の後の『週プロ』編集長になっていたら、ターザン山本とは違う、次長色に溢れた『週プロ』を確実に作れたんだよねぇ。

――次長色に溢れた『週プロ』（笑）。

谷川　まあ、杉山さんの『ギブアップ・ブギ』と、山本さんの「作家・村松友視『首の皮一枚』」と、宍倉さんの「紅夜叉の巨乳」は、僕は凄く印象がありますね（笑）。で、『ＳＲＳ・ＤＸ』はもう、格闘技界のネタが出揃って、これから繁栄していこうって時に、僕は前号の99号で「あ、やられたあ！」と思いましたね（笑）。

――ダハハハハッ！

山本　99号……？

谷川　とんでもないインパクトでしたからね、今までの中でも（笑）。

小松　山本さんとテリー伊藤さんのツー・ショット。

――山本さん、俺ね、いつもコンビニに行って『ＳＲＳ・ＤＸ』があると、表紙がよく見えるように棚の前に出すんですよ。でもね、前号の表紙を見た瞬間に、思わず後ろに隠してしまいました。社会正義的にも「これは人の目に触れさせてはいけない」と思って（笑）。子供が見て、ひきつけを起こすかもしれないし。

山本　でも……、テリーさんは有名人だから客引きになるんじゃないのぉ？

――いや、ズバリ言って、そういう次元じゃねえというか（笑）。

小松　サングラスをかけて、帽子を被っていればまだ良かったんでしょうけど、「怖い」っていう意見もありましたよね。

谷川　『「怖い」っていう意見も』って、一部の意見みたいに言うなよ（笑）。総体的な意見だろう。

――何もかもが剥き出しだからね（笑）。

山本　あ！　でも、それは紅夜叉を超えてるということだなぁ。

――超えているとか、そういうことじゃなく、ズバリ言って宇宙が違うというか（笑）。

山本　だってさぁ、今さら格闘技で表紙にするべきことがないんだよねぇ。『プライドＧＰ』目前といったって、ミルコとか、ヒョードルとか、髙田とか、田村とか、桜庭でもないんだよねぇ。

谷川　8月10日に、今年の夏唯一のビッグイベントである『プライドＧＰ』を前にして、どんな煽りをするのかと思ったら、山本さんとテリーさんの衝撃のツー・ショットですからねぇ（笑）。それで「プロレスと格闘技、どっちが面白いのかはっきりさせろ！」って言われたって。山本さん、それはしぶとすぎますよ（笑）。

――しぶといというか、狂乱のターザン・イズムというか。あまりに表紙のインパクトが強烈すぎて、俺は怖くて中をまったく読んでないんだよね（笑）。

谷川　まあ、話を戻すと、僕の印象に残る記念号の3大表紙プラス1はそれですね。プラス1で山本さんが約9年越しで宍倉さんにリベンジをしたという（笑）。

山本　紅夜叉は当時、無名に近かったからねぇ。でも驚愕したよなぁ、あの表紙は。

――宍倉さんの中ではビッグネームだったんでしょう（笑）。

谷川　その思い込みのパワーが溢れてましたよね。

山本　そういう意味で今、次長に言いたいのは……。

――今さら言ってどうする（笑）。

山本　次長が編集長になって作った『週プロ』を見たかったということですよぉ。唯一、俺をオールすべてぜ～んぶ否定して『週プロ』を作れる男だったんだからなぁ。

――俺も読みたかったなぁ、次長の『週プロ』は。1号限定でいいから（笑）

谷川　で、どうなんだ、モグは通巻100号を迎えて。

小松　いろんな表紙がありましたよねぇ。タイトルロゴのない号とか。

谷川　ああ、ロゴのない号があったなあ。

――んあ～！

小松　この時は前の号で山本さんが「猪木さんのホームレス姿を表紙にしろ！」って言って、それでも安田忠夫で押したから、次の号でロゴが印刷ミスで落ちた時に「俺の言うことを聞かないから、バチが当たったんですよぉ！」って言ってたんですよ。

山本　あー、そうそうそう。そういう時は確実に俺の呪いの思想みたいなものが出るんだよねぇ。

――呪いの思想（笑）。

谷川　まあ、僕は格闘技が全然メジャーの舞台に上がっていなかった頃から格闘技専門誌をやっていたので、僕にとっては格闘技流のアングル作りの場でしたよね。要するに各団体と共犯関係を作って、専門誌を作ってきた歴史でしたね。実質的にはもう、ここ半年以上、雑誌に関してはほとんど何もしてないんですけど。あくまで雑誌に軸足を置いていた時期に、自分の中ではそこで何が面白かったかというと、雑誌の表紙を取るとか記事を作るために各団体に何かをやらせていたというか、選手に何かをさせていたっていうのが、僕の雑誌の作り方でしたね。

山本　それはやっぱり、格闘技が立ち上

専門誌が古い形態であるということは百も承知ですよぉ

がった初期の段階だから、それでよかったんだよねぇ。その時代はやっぱり、格闘技界そのものがマスコミ慣れしていない状況だったから。よ〜するに各団体は、メディア慣れしてないから、どういう形で自分たちを宣伝したらいいか、あるいは売っていったらいいのか、または露出していったらいいのかが分からないんですよぉ。あるいは、ある種の武道的な思想もあるので、そこで露出をしてもいいのかというブレーキもかかるんだよねぇ。

谷川　たしかにそれはありましたよねえ。

山本　そこの部分を破らせたという意味では、当時の谷川のやり方は正しかったわけですよぉ。でも、そのラインは超えたよねぇ。これからは雑誌を作る側と団体側がスタンスを保ちながら、どういう緊張関係を持って進んでいくかという。

谷川　へえ〜。

——んあ〜!

山本　まあ、今は新しいファンをいかに育てていけるか、獲得していけるかということをやらなきゃいけない時代になってきてるわけ。

谷川　ほおほおほお。

山本　今まではプロレスファン、格闘技ファンと分けてたけど、これからはまったく新しいファンを作っていかなきゃいけないんだよぉ。そのためには現状の専門誌メディアと興行をプロモートする団体側が、両方とも考えなきゃいけないわけですよぉ。プロレスファンを通過しないで格闘技を見てるファンは、物の見方が分かってないので成熟してないから、今は完璧に物の見方がゼロ状態になってるんだよぉ。

谷川　そういう意味ではね、僕の雑誌の役割は終わってるんですよ。僕はやっぱり団体側と共犯関係を作って、既存のファンに提示するやり方しかできなかったですからね。まあ、今は立場的に団体側になっているんですけどね。

山本　まあ、谷川の場合は団体と二人三脚というか、谷川が各団体を指導してきたんですよぉ。

谷川　まあ、極真の松井館長とか、K—1の石井館長とか、あとはシーザー武志さんや全日本キックとかを一生懸命、ファンにプレゼンテーションしてきたんですけどね。

山本　同時に各団体をナビゲートしてきたんですよぉ。

谷川　ナビゲーターだったんですね。だから、これからは本当に雑誌作りが難しいと思うんですけど。オーバーに言ってしまえば、今はプロレス専門誌でいえば『週プロ』から『紙のプロレス』に至るまで、それをじっくり読んでいる人っていうのは業界の人しかいないんですよね。専門誌というもの自体がそういうジャンルになっちゃってますよね。

山本　まあ、そこで専門誌のことを「活字」と言うのか「マガジン」と言うのか、あるいは「媒体」という言い方をするのか。それが、ファンにとってそんなに必要でなくなってるんだよねぇ。

谷川　「活字」ではなくなって、やっぱり「マガジン」になってるんですよねぇ。で、その「マガジン」にステータスを感じてるのは、今や団体の人だけなんですよ。

山本　だって、プロレスや格闘技のライフスタイルの中で、iモードをやられたらおしまいよぉ。試合結果も全て分かるし、記者会見の内容までオールすべてぜ〜んぶチェックできるわけでしょ。登録していれば、勝手にニュースが送られてくるわけですよぉ。それで知ったヤツは、すぐに友だちにメールを送るわけでしょ。よ〜するに記者会見自体も、日刊紙よりも早いんだもんなぁ。

谷川　新聞はかろうじて影響力があると思うんですけどね。まあ、極端な例としては昔、専門誌で興行のチケットを発売してかなりの枚数が売れてたんですけど、今は激減してるんですよ。専門誌にはそれくらいの影響力があったんですけど、今は専門誌を通じては売れないんですよ。やっぱり、その役割もiモードやインターネットに移行してるんですよね。そういう中で「マガジン」としての専門誌の役割というのは、これからは本当に難しくなっていくとは思いますけどね。山本さん自身はずっと専門誌をやってきたわけですけど、専門誌に関する可能性についてはどう考えているんですか。

山本　俺は次から次へと忘れていくというかさぁ、捨てていくタイプなので、べつに未練も何もないんだよねぇ。でも、専門誌が古い形態であるということは百も承知ですよぉ。

谷川　でも、雑誌って、やっぱり表紙を作るのが一番面白いんですよね。山本さんがサムライTVの『生ゴン×2』で「今週の表紙」っていうコーナーをやっていたじゃないですか。ああいう感覚は生き残ると思うんですよね。それはインターネットでもテレビでもできると思うんですよ。「今週はこれだったんだ」っていうものは残ると思うんですけど。

山本　まあ、これからの専門誌は思いきりなこちら側の遊び感覚と、『ぴあ』的な情報をセットにしたものしかダメですよぉ。もう、専門誌で試合レポートをやってること自体が時代遅れですよぉ。だって、試合が終わった瞬間に結果が配信されてるんだからなぁ。試合結果を知らせるために、朝まで仕事してること自体が

愛息のバイク事故死で、どうなるヒクソン戦?
SRS DX No.41
安田忠夫
オレの人生にフェイクなし

SRS DX No.38
20世紀最後の是か非か?
点数制 "PPJシステム"
これで僕らは、K-1を100倍楽しめた!

ヒャッ!? パンクラス山宮が石澤の敵討ち宣言!
SRS DX No.31
お前ら何やってるんだ?
我々は小川と石澤にストーカー宣言する!

SRS DX No.51
前田日明とマスコミ

SRS DX
アンディの死に続いてK-1に衝撃走る!!
バンナが交通事故!

俺はこの『SRS・DX』のロゴがいけないと思うねぇ

時間のムダというか、労働力のムダですよぉ。まあ、ビッグマッチの時は別だけどねぇ。

谷川 だから、専門誌の意味というのは表紙であったり、唯一やっていて面白いと思ったりするのは、こういう座談会みたいなものですよね。

山本 まあ、これは俺たちのその時の気分を表すものだからなぁ。よ〜するに観客の立場からの面白がり方を、思いっきり乱暴に、ある意味では辻褄が合わない、またある意味では暴力的に、または布石的に語るわけでしょ。その楽しみ方が一番面白いわけですよぉ。そういうワイワイガヤガヤだったら読みたいんだよねぇ、みんな。あとは「ここへ行ったらこういうものがありますよ」という情報だけでいいんですよぉ。

谷川 そういう意味では……専門誌は………何かを仕掛けるっていうか……。

――仕掛けるって、これもサダハルンバ的仕掛け?（笑）。32号の「バンナが交通事故!?」っていう表紙は（笑）。

谷川 あ……、この時は何もなかったんだよなあ。

――「前田日明とマスコミ」（51号）も振るってるよなあ（笑）。

小松 さっき気付いたんですけど、石澤常光と小川直也の表紙（31号）の上の帯に「ヒャッ!? パンクラス山宮が石澤の敵討ち宣言!」っていうのが驚きましたね。

谷川 あっ、あとはこれは面白かったですね。PPJ（プロフェッショナル・ポイント・ジャッジメント）を導入した36号が。

山本 ああ、面白かったねぇ、これ。でも、猫も杓子もやったのがいけなかったんだよねぇ。ビッグマッチとか肝心な試合だけやればよかったんだよぉ。

――「全ての試合をPPJで問え!」って言っていた張本人が（笑）。

山本 このPPJは俺だけの特権にすればよかったんだよなぁ。他者にも与えてしまったことが失敗だよぉ。

――でも、山本さんの表紙コピーの中では安田忠夫の号（41号）がバツグンですね。「俺の人生にフェイクなし」って（笑）。

谷川 僕は無から有という意味では「バンナが交通事故!?」が会心の作だなあ。

――んあ〜!

谷川 賛否両論だったのが、石井館長のロック様ポーズ（66号）だったなあ。

――藤波社長の「衝撃のネバー・ギブアップ」（17号）も衝撃だったなあ（笑）。

谷川 まあ、だけど『SRS・DX』の表紙の歴史は、K―1もそうですけど、ほとんど『プライド』でしたね。で、K―1に関してはいかに『プライド』的なものに近付けていくかっていう100号までの流れだったと思いますよ。で、実際に『プライド』とK―1が闘っちゃったという。

――まあ、何度も言ってきたけど、『プライド』というのは新しいプロレスだからねぇ。

谷川 逆に言えば、『プライド』自体がこれから新しいプロレスになっていくのか、それともK―1のように競技化していくのか。今は逆転してますからねぇ。K―1がプロレス的になって、『プライド』はホントに競技になってきていますから。そこをどうしていくかっていうのが課題でしょうね。

小松 今はK―1を表紙にすると、プロレスっぽい感じがしますからね。

谷川 そういうところにも、いろいろと雑誌作りのヒントがあるよなあ。

山本 やっぱりねぇ、俺はこの『SRS・DX』のロゴがいけないと思うねぇ。

――ダハハハッ! そんな根幹にまで話を戻しますか（笑）。

谷川 まあ、誌名からフジテレビと結び付けて考えられがちですけど、まったくフジテレビ色はないですからね。フジテレビの人にとっては迷惑だと思いますよ。とくに『SRS・DX』っていうロゴの表紙で山本さんとテリー伊藤さんが出てるのは（笑）。

――営業妨害ギリギリだな（笑）。

谷川 ところで、表紙の最多登場回数は誰が多かったの?

小松 調べたんですけど、桜庭和志が14回登場で1位ですね。

谷川 2位は?

小松 ボブ・サップで、11回です。

谷川 へぇ〜、サップはそんなに出てるんだあ。

小松 で、藤田和之が10回で、猪木さんとミルコが9回ですね。あとは石井館長と吉田秀彦が5回ずつです。

谷川 ええ〜っ、石井館長が5回も表紙になってるのお!（笑）。

小松 まあ、サップと館長のツー・ショットとかも含めてですけど。

山本 なるほどなぁ。

小松 それから田村潔司、小川直也、髙田延彦、ホイス・グレイシーなどが4回ですね。

谷川 僕は髙田延彦は『SRS・DX』で復活した気がするんだけどなぁ。表紙の登場メンバーの中で『SRS・DX』らしいっていう感じがするのが髙田延彦と石井館長だなあ。

小松 あと、1回だけ登場というのが橋本真也、藤波社長、魔裟斗、マイク・タイソン、はせキョー、前田日明、中西学、

■SRS・DX表紙ベスト10

順位	名前	回数
1位	桜庭和志	14回
2位	ボブ・サップ	11回
3位	藤田和之	10回
4位	ミルコ・クロコップ	9回
〃	アントニオ猪木	9回
6位	石井和義	5回
〃	吉田秀彦	5回
8位	髙田延彦	4回
〃	田村潔司	4回
〃	小川直也	4回

一回ぐらいは、ジャイアント馬場を表紙にしたかったねぇ

そしてテリー伊藤さんですね。

――ダハハハハッ！

谷川　1回っていうのは、凄いポイントになってるんだよなあ。

山本　魔裟斗も表紙になってるんかぁ。

谷川　前々号、K―1 WORLD MAXで優勝した時に山本さんが表紙にしてるじゃないですかあ。

山本　あ、そう。

――ぷぷぷぷっ！

山本　武蔵は？

小松　2回ですね。セーム・シュルトと闘った時と、サップ軍VSジャパン軍の記者会見の写真ですね。

谷川　まぁ、こうやって見てみるとボブ・サップの影響も大きいと思いますけど、完全にK―1と『プライド』が逆転しましたよね。

山本　よ～するに、格闘技はここ数年で桜庭の時代からボブ・サップの時代へ移行したということですよぉ。

谷川　まあ、ボブ・サップとミルコの時代へですよね。で、競技的な世界がミルコで、プロレス的な世界がサップですかね。

山本　そういうことです！

谷川　そろそろK―1も勝負論の世界に入っていかないとなあ。

――ダハハハハッ！

谷川　このままじゃ、マズイよなあ。

――以上、K―1イベントプロデューサーの心情みたいです（笑）。

山本　まあ、今のファンというのは、俺たちみたいに余計なことを考えないから、勝負論しか意味がないんだよぉ。

谷川　でも、勝負論っていうのは長続きしないですからねえ。

山本　勝負論っていうのは点だからねぇ。

谷川　点であるし、ある興行のカードを見て感じるのは、勝負論を連続でやるのはプロモーター・サイドからすると、凄く大変なことなんですよね。僕は、ここ数年で本当に勝負論が感じられたのが『プライド』の桜庭VSホイス戦と、吉田VS佐竹戦ぐらいかな。あとはボブ・サップ絡みの試合っていうのに勝負論がありましたけどね。あ、K―1ジャパンの藤田VSミルコ戦にもあったか。

山本　ミルコ絡みの試合には、オールすべてぜ～んぶ勝負論があったよぉ。でも、その中で一番はやっぱり桜庭VSホイス戦だよなぁ。

谷川　そうですね。吉田VS佐竹戦もあったなあ、僕の中では。

――…………？

山本　俺は、吉田VS佐竹戦にはまったく勝負論は感じないよなぁ。

――俺も今、何人が共感しただろうと思ったんだけど（笑）。

谷川　あっ！　吉田VS佐竹戦じゃないや。『プライド11』の小川VS佐竹戦です。

――小川VS佐竹戦にはたしかに勝負論があったよ。まあ、サダハルンバ的勝負論の世界では、猪木祭の吉田VS佐竹戦でオッケーなんだけどね、負の勝負論という意味で（笑）。

谷川　いや、吉田VS佐竹戦にはまったくないよぉ。

――ダハハハハッ！

山本　吉田VS佐竹戦は、空き巣狙いみたいなカードだったよぉ。

――居直り強盗的カードと言ってもいいぐらいですけどね（笑）。

山本　俺は最初の谷津嘉章VSグッドリッジ戦にも勝負論があったよぉ。あれには微妙に勝負論があった。

――微妙に（笑）。ちょっと分かるなあ、それは。

谷川　まあ、こうやって『SRS・DX』の表紙を見てくると、藤波社長とか、安田選手とか、藤田選手とかいろいろありましたけど、格闘技専門誌で新日本プロレスを表紙にするというのは、凄く勇気が要ることでしたね。

山本　プロレスを表紙にすると、イレギュラーを起こすんだよねぇ、結局は。

谷川　だから、他の格闘技専門誌はなかなか藤田選手とかを表紙にすることができなかったですもんね。あとは、『SRS・DX』をやっていて、『プライド』を盛り上げていく過程のインタビューは面白かったなあ。山本さんとボブチャンチンの対談とか、山本さんとホリオンとか。

山本　あれは面白かったねぇ。

小松　一時は「是か非か!?」っていうのもありましたよね。

山本　ああ、田村がヘンゾに勝った時（18号）とかなぁ。リングスファンを怒らせたというかなぁ。

小松　リングスファンに限らず、怒らせた対象は数多いでしょうけどね。

山本　まあ、100号やってきてあらゆるものを変革させてきましたよぉ。一つの答えはこの100号をやってくるまでに、本当にプロレスは衰退への道を辿ったよなぁ。それはプロレスが対立概念を失ったというのが決定的な結果だよねぇ。よ～するにもう、この世界でプロレスがタマにならないということですよぉ。

小松　じゃあ、もうプロレスが『SRS・DX』の表紙を飾るっていうことも難しいでしょうね。

山本　俺は一回ぐらいは、やっぱりジャイアント馬場を表紙にしたかったねぇ。「馬場さんが亡くなって、プロレスは終わった」みたいな感じで。

――なんなら、100号記念で馬場さんを表紙にしてみますか？

小松　「100号だってな、アポ～ッ！」とか。

――ダハハハッ！　ちょうど旧盆の時期の発売号ですから、あの世から帰ってきてもらいましょうか。「衝撃！　馬場さん、天国からオーバー200に参戦!?」とか（笑）。

谷川　いっそのこと、オーバー200にエントリーさせちゃおうかなあ……。

――んあ～！　■

8/18MON～8/28THU

CALENDAR

8/18 MON
★『ＳＲＳ・ＤＸ』100号発売日

8/19 TUE

8/20 WED
◆Ultimate Crush/チケット発売⬅p46

8/21 THU

8/22 FRI

8/23 SAT

8/24 SUN
■J-DO/神戸・ハーバーランド ハーバーサーカス5F（15:00～）⬅p50
■全日本キック連盟/神奈川・横浜赤レンガ倉庫１号館（15:30～）⬅p48
■RED ZONE/大阪・SAM&DAVE5（19:00～）⬅p50

8/25 MON

8/26 TUE

8/27 WED

8/28 THU
★『ＳＲＳ・ＤＸ』101号発売日

格闘技パーフェクトガイド

Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

総合格闘技&ノールール系

パンクラス

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
8月31日（日）東京・両国国技館

◆開場/15:00　試合開始/16:00
◆入場料/VIP席（最前列、パンフレット付き）SOLD OUT　SS席SOLD OUT　A席8,000円　B席6,000円　2階A席7,500円　2階B席5,500円　※当日券は一律500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-02-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎0570-00-0403（Pコード：38690）、CNプレイガイド、eプラス、JEB TV http://ticketjeb.tv、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、マニア館、アイドール新宿店、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1、格闘技・プロレス図書館　闘道館☎03-3512-2080、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラスオフィシャルサイト http://www.pancrase.co.jp
◆会場アクセス/JR総武線両国駅より徒歩1分、都営大江戸線両国駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

〈キング・オブ・パンクラシスト無差別級王者決定戦〉
近藤有己 vs ジョシュ・バーネット
（パンクラスism）（アメリカ/新日本プロレス）

菊田早苗 vs エルヴィス・シノシック
（パンクラスGRABAKA）（オーストラリア/マチャドブラジリアン柔術）

國奥麒樹真 vs クラウスレイ・グレイシー
（パンクラスism）（ブラジル/ハウフ・グレイシー柔術アカデミー）

～キャッチレスリング・ルール～
鈴木みのる vs 飯塚高史
（パンクラスMISSION）（新日本プロレス）

郷野聡寛 vs ニルソン・デ・カストロ
（パンクラスGRABAKA）（ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー）

佐々木有生 vs エバンゲリスタ・サイボーグ
（パンクラスism）（ブラジル/アカデミア・ブドーカン）

三崎和雄 vs ヒカルド・アルメイダ
（パンクラスGRABAKA）（ブラジル/ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー）

渋谷修身 vs 矢野通
（パンクラスism）（新日本プロレス）

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
10月4日（土）グランキューブ大阪

◆開場/17:30　試合開始/16:30
◆入場料/SS席10,000円　A席8,000円　B席6,000円　C席5,000円　D席4,000円
◆チケット発売/一般発売：8月31日（日）　※8.31両国大会でも販売
◆チケット発売所/P'sLAB大阪☎06-6649-8530、チケットぴあ☎06-6363-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎06-6369-6633（Lコード：53844）、eプラス、TICKET JEB http://ticketjeb.tv、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、フィットネスショップ難波店☎06-6214-7951、神戸住吉・富万☎078-811-6222、リングソウル☎078-333-6690、パンクラスオフィシャルサイト http://www.pancrase.co.jp/
◆会場アクセス/JR大阪環状線・阪神電鉄福島駅、JR東西線新福島駅、大阪市営地下鉄中央線・千日前線阿波座駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

DEEP

DEEP 12th IMPACT
9月15日（月・祝）東京・大田区体育館

◆開場/14:00　試合開始/15:00　フューチャーファイト開始/14:30
◆入場料/SRS15,000円　アリーナA席10,000円　アリーナB席8,000円　2階特別席10,000円　2階指定席7,000円　3階指定席5,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、eプラス、CNプレイガイド、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、デポマート☎03-3515-6507、TOKYO文庫タワー☎03-5784-4900、BATTLE PLACE☎03-3881-7770、格闘技プロショップイサミ、パンクラス☎03-5792-0815、DEEP事務局、DEEPオフィシャルサイト http://www.deep2001.com　◆会場アクセス/JR京浜東北線蒲田駅東口より徒歩15分、京浜急行京浜蒲田駅より徒歩10分、梅屋敷駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

〈DEEPミドル級タイトルマッチ〉
上山龍紀 vs 須田匡昇
（U-FILE CAMP.com）（CLUB J）

桜井"マッハ"速人 vs 長南亮
（マッハ道場）（U-FILE CAMP.com）

ドス・カラスJr vs ブラッド・コーラー
（メキシコ/AAA）（アメリカ/ミネソタ・マーシャルアーツ・アカデミー）

三島☆ド根性ノ助 vs 加藤鉄史
（総合格闘技道場コブラ会）（PUREBRED大宮）

MAX宮沢 vs 百瀬善規
（荒武者総合格闘術）（禅道会）

桜井隆多 vs 藤沼弘秀
（Rジム）（荒武者総合格闘術）

石井淳 vs 鋼侍
（超人クラブ）（総合格闘技塾破天荒）

PRIDE

PRIDE GRANDPRIX 2003 決勝戦
11月9日（日）東京ドーム

◆詳細未定　◆会場アクセス/JR総武線水道橋駅より徒歩3分、都営地下鉄三田線水道橋駅より徒歩1分、営団地下鉄丸の内線、南北線後楽園駅より徒歩1分　◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5464-1531

GCMコミュニケーション

DEMOLITION 030923
9月23日（火・祝）神奈川・横浜赤レンガ倉庫1号館

◆開場/16:00　試合開始/17:00　◆入場料/S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円　◆チケット発売/未定　◆チケット発売所/チケットぴあ、JebTVオンラインチケット http://ticketjeb.tv/gcm/　◆会場アクセス/JR京浜東北線、根岸線・東急東横線・市営地下鉄桜木町駅より徒歩15分、JR京浜東北線、根岸線・市営地下鉄関内駅より徒歩15分　◆お問い合わせ/GCMコミュニケーション☎03-3538-5801

K-1ワールドシリーズ

K-1 WORLD GP 2003 開幕戦 ALL STARS
10月11日（土）大阪ドーム

◆開場/14:00　試合開始/16:00（予定）
◆入場料/SRS席32,000円　RS席20,000円　SS席12,000円　S席8,000円　A席6,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ローソンチケット（Lコード：54029）、チケットぴあ☎0570-02-9999、CNプレイガイド06-6776-1199、eプラス
◆会場アクセス/JR大阪環状線大正駅より徒歩7分、地下鉄大阪ドーム前千代崎駅より徒歩3分
◆チケットに関するお問い合わせ/キョードー大阪☎06-6233-8888
◆大会に関するお問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場決定選手

〈K-1 GP 2002 ベスト8ファイター〉
アーネスト・ホースト
（オランダ/ボスジム）
ジェロム・レ・バンナ
（フランス/ボーアボエル&トサジム）
レイ・セフォー
（ニュージーランド/ファイトアカデミー）
マーク・ハント
（ニュージーランド/リバプール・キックボクシングジム）
ボブ・サップ
（アメリカ/チーム・ビースト）
ピーター・アーツ
（オランダ/メジロジム）
ステファン"ブリッツ"レコ
（ドイツ/ゴールデン・グローリー）
※ジャパンGP 2002 優勝者を除く

〈K-1ラスベガス大会優勝者〉
カーター・ウィリアムス
（アメリカ）

〈K-1スイス大会優勝者〉
ビヨン・ブレギー
（スイス/ボスジム）

〈K-1パリ大会優勝者〉
アレクセイ・イグナショフ
（ベラルーシ/チヌックジム）

新日本プロレス

Ultimate Crush
10月13日（月・祝）東京ドーム

◆開場/13:00　試合開始/15:00
◆入場料/プレミアムシート50,000円　アリーナA30,000円　アリーナB15,000円　1階スタンドA10,000円　1階スタンドB7,000円　2階スタンドC5,000円　2階スタンドD3,000円
◆チケット発売/一般発売：8月20日（水）～
◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：594-000）、ローソンチケット（Lコード：35627）、CNプレイガイド、後楽園ホール、書泉ブックマート、相鉄ジョイナス、eプラス、プロレス格闘技DX http://kakutoudx.gignosystem.com、楽天チケット http://ticket.rakuten.co.jp、闘魂SHOP渋谷店☎03-5778-6360、闘魂SHOP大阪店☎06-4396-5050、闘魂SHOP名古屋店☎052-332-6890
◆会場アクセス/JR総武線水道橋駅より徒歩3分、都営地下鉄三田線水道橋駅より徒歩1分、営団地下鉄丸の内線、南北線後楽園駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/新日本プロレスリング☎03-5468-3111

ギャルズプロジェクト

女子格闘技 Gals2

8月30日（土）東京・北沢タウンホール

◆開場/12:00　試合開始/12:30　◆入場料/SRS指定席5,800円　A指定席3,800円　自由席3,800円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、東京イサミ☎03-3352-4083、SOD女子格闘技道場☎03-5917-0026　◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分　◆お問い合わせ/ギャルズプロジェクト☎058-248-6420

決定対戦カード

たま☆ちゃん vs 篠原光
（SOD女子総合格闘技道場）（チーム南部）

ニュージャパンキックボクシング連盟

VORETEX Ⅷ

9月21日（日）東京・ディファ有明

◆開場/17:00　試合開始/17:15　◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　特別指定席7,000円　指定A席5,000円　指定B席4,000円　指定C席3,000円　当日立見3,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分　◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎043-202-1161

決定対戦カード

石毛慎也 vs オランダ王者
（東京北星）

藤原国崇 vs オランダ強豪選手
（拳之会）

川津真一 vs オランダ強豪選手
（町田金子）

岩井信洋 vs 岩田洋
（OGUNI）（八王子FSG）

中村篤史 vs 石黒竜也
（北流会君津）（東京北星）

真二 vs 赤羽秀一
（OGUNI）（WSR）

天昇山 vs 宮原康介
（キング）（日進会館）

R.I.S.E.プロモーション

R.I.S.E. 5th

9月28日（日）ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆開場/16:00　試合開始/16:30　◆入場料/リングサイド4,000円　指定席3,000円　立見2,000円　※当日券は全席種500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ　◆会場アクセス/JR京浜東北線大森駅山王西口前　◆お問い合わせ/R.I.S.E.プロモーション☎0422-21-0616

決定対戦カード

オロノー・ポームアンウボン vs 望月竜介
（タイ）（U.W.F.スネークピット）

阿部勝 vs 水野章二
（クロスポイント）（湘南格闘クラブ）

修斗

プロフェッショナル修斗公式戦

9月5日（金）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00　◆入場料/RS席10,000円　SS席8,000円　S席6,000円　A席4,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、書泉ブックマート、大盛堂書店、フィットネスショップ水道橋店、後楽園ホール、KEEL CAFE☎03-5725-7338、チケット＆トラベルT-1☎03-5275-2778、e-ticket：http://www.eticket.net/　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/パレストラ☎03-5984-3209

決定対戦カード

八隅孝平 vs ルイス・ブスカペ・ジュニオール
（パレストラ東京）（ブラジル/ウニベルソ・アトレチコ）

〈新人王トーナメント・フェザー級準決勝〉

三上洋平 vs 大沢健治
（東京イエローマンズ）（A3 GYM）

〈新人王トーナメント・ミドル級準決勝〉

福本ようー vs 伊藤忍
（和術慧舟會千葉支部）（パレストラ東京）

〈新人王トーナメント・クルーザー級準決勝〉

安藤明彦 vs 三上MD洋祐
（パレストラ松戸）（総斗會三村道場）

〈新人王リーグ戦フライ級〉

鶴見一生 vs 春崎武裕
（RJW G2）（直心会格闘技道場）

〈新人王リーグ戦フライ級〉

タイガー石井 vs 豊島考尚
（パレストラ吉祥寺）（総合格闘技STF）

『ZST』事務局

THE BATTLE FIELD『ZST4』

9月7日（日）Zepp Tokyo

◆開場/16:30　試合開始/17:30（16:40よりジェネシスバウト開始予定）　◆入場料/VIP席（最前列・1ドリンク付）15,000円　SRS席（2列目）8,000円　S席6,000円　A席4,000円　※当日は全席種千円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-029-999（Pコード：594-770）、後楽園ホール、書泉ブックマート、『ZST』オンラインショップ http://www.zst.jp/　◆会場アクセス/ゆりかもめ青海駅、臨海高速鉄道東京テレポート駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/『ZST』事務局☎03-5321-9595

決定対戦カード

小谷直之 vs マット・セラ
（ロデオスタイル）（アメリカ/ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー）

レミギウス・モリカビュチス vs 坪井敦浩
（リトアニア/リングス・リトアニア）（フリー）

所英男 vs 中原太陽
（STAND）（和術慧舟會GODS）

矢野卓見 vs 植村“ジャック”龍介
（烏合会）（P'sLAB東京）

プロフェッショナル修斗公式戦

9月21日（日）愛知・名古屋国際展示場ポートメッセなごや 第2展示館

◆開場/15:00　試合開始16:00　◆入場料/SRS席12,000円　RS席8,000円　S席6,000円　A席4,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ　◆会場アクセス/地下鉄名城線名古屋港駅または築地口駅下車より市バス『ポートメッセなごや』行きで終点下車　◆お問い合わせ/ALIVE☎052-744-0802

決定対戦カード

阿部裕幸 vs ジョン・ホーキ
（AACC）（ブラジル/ノヴァ・ウニオン）

今泉堅太郎 vs マルコ・ロウロ
（SKアブソリュート）（ブラジル/ノヴァ・ウニオン）

〈ブラジリアン柔術マッチ〉

杉江“アマゾン”大輔 vs ディビッド・バディーリャ
（ALIVE）（アメリカ/ジーザス・イズ・ロード）

松下直揮 vs 朴光哲
（ALIVE）（K'z FACTORY）

梅村寛 vs 田中寛之
（ALIVE）（直心会格闘技道場）

〈新人王決定トーナメント・バンタム級準決勝〉

赤木康洋 vs 塙真一
（ALIVE）（和術慧舟會 千葉支部）

〈新人王決定トーナメント・バンタム級準決勝〉

藏田圭介 vs HIRO
（ALIVE）（総合格闘技STF）

木部亮 vs 加納学
（ALIVE）（相補体術）

原弘文 vs 寿丸。
（TEAM JUNFAN修斗道場）（総合格闘技秋本道場）

X-1

X-1

9月6日（土）神奈川・横浜文化体育館

◆開場/17:30　試合開始/18:30　◆入場料/特別リングサイド10,000円　リングサイド7,000円　2F指定席5,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、eプラス、バトルプレイス☎03-3881-7770、WJプロレス☎03-5428-5915　◆会場アクセス/JR京浜東北線・根岸線関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者町駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/WJプロレス☎03-5428-5915

決定対戦カード

ダン・ボビッシュ vs ベイシル・キャストー

ボビー・サウスワース vs ブライアン・バーデュー

佐々木健介 vs クリスチャン・ウェリッシュ

ザ・ヘッドハンター vs X

中嶋勝彦 vs リキッド・ロブ

ゲイブ・ガルシア vs ジョン・フィッチ

ジミー・ウェストフォール vs アダム“バーノン”ゲェラ

ダニエル・ビューター vs ジェイ・マコーン

ジェフ・フォード vs フィリップ・ブリーセル

デヴィッド・ヴァスケス vs ジェフ・フォード

キックボクシング

IKUSA事務局

FUTURE FIGHTER IKUSA4 ～宴～
8月30日（土） 東京・六本木velfarre

◆開場/13:00　試合開始/14:00　◆入場料/プラチナVIP席25,000円　ゴールドVIP席15,000円　シルバーVIP席10,000円　SRS席20,000円　スタンディングビュー4,000円　※当日券はスタンディングビューのみ1,000円増し　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：506-838）、IKUSAオフィシャルWEBサイトhttp://www.ikusa.net　◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/IKUSA事務局☎03-5213-7331　公式ホームページhttp://www.ikusa.net

決定対戦カード

小比類巻貴之vsDAVID
（チームドラゴン）　（真樹ジムオキナワ）

～シュートボクシング・ルール～
土井広之vsキース"ハマー"ネズビット
（シーザージム）　（アメリカ）

小次郎vsナミイル
（フリー）　（韓国）

森谷吉博vs仲里卓也
（シーザージム）　（真樹ジムオキナワ）

ファビアーノvs佐藤淳
（ターゲット）　（アイアンアックス）

駿太vs萬田隼人
（谷山）　（チームドラゴン）

HAYATOvs阿部勝
（FUTURE TRIBE）　（クロスポイント）

魔裟斗に刺激を受けた男たちがIKUSA夏の陣に大集結！

7月30日、渋谷にあるライブハウスegg siteにて、『IKUSA4』全カード発表記者会見が行われた。会見にはダブルメインに登場する小比類巻貴之、土井広之の他に、3月のK-1 MAX日本予選以来の試合となる小次郎も出席。全7試合中、4試合が70キロ前後の契約体重ということで、K-1 MAXを強く意識したカードが出揃った。メインで小比類巻と対戦するDAVIDは、沖縄の米軍基地に勤務する現役空軍兵士。MAキックを主戦場とし、今年6月には世界タイトルを獲得。「K-1に出たくてキックを始めた」というDAVIDにとって小比類巻との対戦は、まさに千載一遇のビッグチャンスだ。いっぽう、前回大会でKO勝ちできなかった小比類巻は、秋に行われるK-1 MAXの参戦を目論んでいるだけに今度こそきっちり相手を倒すべく気合い十分ということで好勝負必至だ！　今大会に出場する選手の多くが、K-1ワールドMAXで優勝した魔裟斗に刺激を受けているということで、これが良い発奮材料となって試合で力を発揮することを期待したい。

新日本キックボクシング協会

Full Spark's～烈輝～
9月7日（日）東京・ディファ有明

◆開場/15:30　試合開始/16:00
◆入場料/SRS席15,000円　RS席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見4,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、治政館ジム
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車より徒歩3分
◆お問い合わせ/治政館ジム☎048-953-1880

決定対戦カード

建石智成vs吉川靖
（尚武会）　（伊原）

出場予定選手

武田幸三
（治政館）

シュートボクシング協会

THE FORCE
9月21日（日）大阪府立体育会館 第2競技場

◆開場12:00　試合開始/13:00
◆入場料/SRS席10,000円　RS席7,000円　S席5,000円　A席（自由席）4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/龍生塾各支部、龍生塾公式ホームページhttp://www7.plala.or.jp/ryuseijyuku/
◆会場アクセス/JR・近鉄・南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/『THE FORCE』大会事務局☎06-6351-7994

出場予定選手

及川知浩
（龍生塾）

伊賀弘治
（龍生塾）

"S" of the World vol.5
9月23日（火・祝）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、後楽園ホール、板橋大山アメリカン☎03-3962-6443、レッスル渋谷店、東急文化チケットセンター、書泉ブックマート、チャンピオン☎03-3221-6237、シュートボクシング協会☎03-3483-1212
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

出場予定選手

アンディー・サワー
（オランダ/ブーリーズジム）

土井広之
（シーザージム）

宍戸大樹
（シーザージム）

全日本キックボクシング連盟

Muay THAI Wave from YOKOHAMA Ⅱ
8月24日（日）神奈川・横浜赤レンガ倉庫1号館

◆開場/15:00　試合開始/15:30
◆入場料/S席10,000円　A席7,000円　B席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、はまっこムエタイジム
◆会場アクセス/JR京浜東北線、根岸線・東急東横線・市営地下鉄桜木町駅より徒歩15分、JR京浜東北線、根岸線・市営地下鉄関内駅より徒歩15分
◆お問い合わせ/はまっこムエタイジム☎045-790-1709

決定対戦カード

藤牧孝仁vs関博司
（はまっこムエタイジム）　（名古屋JKファクトリー）

竹村健二vs村山良和
（名古屋JKファクトリー）　（はまっこムエタイジム）

テーワリットノーイS.K.Vジムvs砂田将祈
（S.K.Vアラビアジム）　（はまっこムエタイジム）

YOUNG GUN
9月7日（日）東京・北沢タウンホール

◆開場/12:00　試合開始/13:00
◆入場料/RS席5,000円　S席4,000円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171
http://www.aj-kick.com

出場予定選手

吉本光志
（AJパブリックジム）

嵐田茂
（REX JAPAN）

凱斗亮羽
（S.V.G.）

Girls SHOCK！ Ⅱ
9月7日（日）東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/RS席5,000円　S席4,000円　※当日券は500円増し。昼夜両大会のチケットを同時購入した人（全日本キック・オフィシャルサイト予約＆電話予約のみ）は料金20％OFF
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171
http://www.aj-kick.com

出場予定選手

渡邊久江
（TEAM LIMIT）

ジェット・イズミ
（クロスポイント吉祥寺）

キックボクシング

極真会館

第8回オープントーナメント 全世界空手道選手権大会
11月1、2、3日（土、日、月・祝）東京体育館

◆開場/10:00 ◆入場料/SRS席（3日間通し券、パンフレット・記念品付き）50,000円 SS席（3日間通し券、35,000円）S席13,000円（当日15,000円） A席8,000円（当日10,000円） B席4,000円（当日5,000円） ※SRS席とSS席は、前売りのみの販売 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/極真会館総本部、全国各支部、一撃オフィシャルショップ☎03-5785-1608、各有名プレイガイド ◆お問い合わせ/極真会館総本部☎03-5992-9200

正道会館

第5回ウェイト制オープントーナメント 全日本空手道選手権大会2003
9月7日（日）大阪府立体育会館

◆開場/9:00 試合開始/10:00 ◆入場料/2,500円（全席自由） ◆会場アクセス/JR・近鉄・南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分 ◆お問い合わせ/正道会館総本部事務局☎06-6357-1654

空手道禅道会

バーリトゥード2003オープントーナメント リアルファイティング空手道選手権大会
10月5日（日）長野・ビッグハット

◆試合開始/未定 ◆入場料/1,500円（当日1,800円） ※中学生以下無料 ◆会場アクセス/JR長野駅よりバスで『ビッグハット前』下車、徒歩5分 ◆お問い合わせ/日本武道空手道連盟 長野事務所☎026-293-6944

日本国際空手協会

第7回全日本空手道選手権大会
9月28日（日）神奈川・川崎市とどろきアリーナ

◆開場/10:00 ◆会場アクセス/JR南武線・東急東横線武蔵小杉駅から1番乗り場より市バス『溝05、杉40』系統で春日神社下車または、2番乗り場より東急バス『宮内経由溝口』行きで等々力グランド入口下車すぐ ◆お問い合わせ/勇心会空手道事務局☎03-5393-9763

真樹道場

2003オープントーナメント 第4回全日本空手道選手権大会
9月14日（日）愛知・豊田市体育館

◆開場/9:30 試合開始/10:00 ◆入場料/自由席2,000円（当日3,000円） 小中学生1,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、公武堂☎052-241-2511、真樹道場 愛知本部☎0565-24-3861、真樹ジム愛知☎0565-24-8166、ルート☎0565-31-1121 ◆会場アクセス/名鉄豊田市駅より徒歩20分 ◆お問い合わせ/真樹道場☎0565-24-3861

アマチュア修斗

新潟フリーファイト
8月24日（日）新潟・黒崎地区総合体育館 武道場

◆試合開始/10:30 ◆会場アクセス/バス・万代シティバスセンター発『大野新町』下車より徒歩5分 ◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会☎03-5984-3209

愛媛フリーファイト
8月31日（日）愛媛・坊ちゃんスタジアム スポーツスペース

◆試合開始/10:30 ◆会場アクセス/JR予讃線『市坪』駅より徒歩2分 ◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会☎03-5984-3209

第10回全日本アマチュア修斗選手権大会
9月15日（月・祝）愛知・北スポーツセンター

◆試合開始/11:30 ◆会場アクセス/市バス・名古屋駅発『中切町4丁目』下車より徒歩7分 ◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会☎03-5984-3209

J-NETWORK

Result!

duel in mid summer
7月21日（月・祝）六本木velfarre

第12試合 スーパーライト級タイトルマッチ
○喜入衆（判定2-0）蔵満誠×
（アクティブJ） （JMTC）

第11試合 ウェルター級初代王座決定戦
○SHIN（3R0分46秒、KO）黒田英雄×
（アクティブJ） （BRAVES）

第10試合
○西山誠人（3R2分40秒、KO）ペプチャン・スコータイ×
（ソーチタラダ） （タイ）

第9試合
○前原孝博（判定3-0）稲葉潤×
（藤） （町田）

第8試合
○渡辺宏二（判定2-0）加藤啓明×
（町田） （TEAM-1）

第7試合
○中西志東（判定2-0）佐野貴宏×
（アクティブJ） （JMTC）

第6試合
○半井秀樹（1R1分07秒、KO）内田満弘×
（ソーチタラダ） （彰考館）

第5試合
△成沢紀予（判定0-0）虎島尚子△
（ソーチタラダ） （RJW/CENTRAL）

第4試合
○叶健治（判定3-0）藤枝巧×
（町田） （彰考館）

第3試合
○龍鬼神（判定3-0）楠本紘平×
（アクティブJ） （M-FACTORY）

第2試合
△楠本竜生（判定1-1）斉藤祐二△
（町田） （アクティブJ）

第1試合
○小宮由紀博（判定3-0）山口貴×
（池袋） （八王子）

リアルディール実行委員会

バトルステージREALDEAL
9月27日（土）Zepp Fukuoka

◆開場/17:00 試合開始/18:30
◆入場料/特別リングサイド7,000円 リングサイド5,000円 1F指定席4,000円 2F指定席4,000円 スタンディング2,800円 ※1ドリンクオーダー制、当日券は全席種500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：945-480）、ローソンチケット（Lコード：85711）
◆会場アクセス/市営地下鉄唐人町駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/リアルディール実行委員会☎092-845-7027 公式ホームページhttp://www.realdeal.jp/

決定対戦カード

〈JMLミドル級王座決定戦〉
龍二 vs 井上槙一郎
（リアルディール） （リアルディール）

MA日本キックボクシング連盟

EXPLOSION-3
9月14日（日）東京・ディファ有明

◆開場/16:00 第1部試合開始16:30 第2部試合開始18:00 ◆入場料/SRS席12,000円 RS席10,000円 S席8,000円 A席7,000円 B席5,000円 C席4,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、連盟加盟ジム ◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分 ◆お問い合わせ/MA日本キック連盟事務局☎055-228-2326

決定対戦カード

マグナム酒井 vs 大野崇
（士道館） （正道会館）

〈MA日本フェザー級タイトルマッチ〉
阿部泰彦 vs 武井豊
（新潟山木） （谷山）

山田健博 vs 小林秀紀
（東金） （マイウェイ）

木村允 vs X
（土浦ジム）

水町浩 vs 小石原勝
（士道館・村上塾） （習志野ジム）

泉雄策 vs 中西一覚
（山木） （谷山）

藤曲シン vs 中村洋人
（谷山） （武勇会）

阿部泰彦 vs 武井豊
（新潟山木） （谷山）

※第1部は3回戦8試合の予定

Result!

松山大会vol.4
7月27日（日）愛知・アイテムえひめ

第11試合 フライ級次期挑戦者決定戦
○森田晃允（判定3-0）森岡タカシ×
（士道館・橋本道場） （武勇会）

第10試合
△ルートシラ・チュンペットゥア（判定1-0）アトム山田△
（タイ） （武勇会）

第9試合 四国70キロ以上トーナメント決勝戦
○中井利樹（判定2-0）藤本洋次×
（武勇会松山） （武勇会大州）

第8試合 四国70キロ未満トーナメント決勝戦
○小西智也（1R1分39秒、KO）兵頭和幸×
（武勇会徳島） （武勇会平和島）

第7試合
△吉岡篤史（判定0-0）チバケイジ△
（武勇会） （KAKUMEI）

第6試合
○吉岡雅史（判定2-0）奥山光次×
（武勇会） （マイウェイ渡辺）

第5試合
○山崎修（判定3-0）井上由久×
（本道会） （武勇会）

第4試合 四国70キロ以上トーナメント準決勝
○中井利樹（2R1分00秒、TKO）高見太三×
（武勇会松山） （KMAX）

第3試合 四国70キロ以上トーナメント準決勝
○蔵本洋次（1R1分43秒、KO）笹田勝俊×
（武勇会大州） （ジムゼロ）

第2試合 四国70キロ未満トーナメント準決勝
○小西智也（判定3-0）河野雄大×
（武勇会徳島） （武勇会今治）

第1試合 四国70キロ未満トーナメント準決勝
○兵頭和幸（1R0分48秒、KO）石田博康×
（武勇会平和島） （武勇会松山）

J-DO

J-DO PRO stage one

8月24日（日）神戸・ハーバーランドハーバーサーカス5F

◆開場/15:00　試合開始/16:00　◆入場料/SRS席15,000円　RS席10,000円　スタンディング2,500円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、J-DO本部道場　◆会場アクセス/JR神戸駅より徒歩2分、地下鉄海岸線ハーバーランド駅より徒歩2分　◆お問い合わせ/J-DO本部道場☎078-367-3338

決定対戦カード

池田篤志vsウマハンデビロフ・ザウル
（J-DO池田軍団）（ヴォルク・ハン格闘術）

肥後匠vs滝川リョウ
（J-DO池田軍団）（日進会館）

岡本純一朗vsイェヴゲニィ・レピン
（J-DO XXX）（UNI FIGHT）

北浦徳之vs晴田雄一
（J-DO池田軍団）（黒田道場）

津越昌彦vs宮野孝裕
（J-DO池田軍団）（宮野道場）

大津山智啓vs出口渉
（J-DO池田軍団）（拳心會）

IF-PROJECT

Gi-Feminino

9月1日（月）東京・北沢タウンホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30　◆入場料/VIP席50,000円　SRS席10,000円　A席6,000円　B席4,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、IF-PROJECT　◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分　◆お問い合わせ/IF-PROJECT☎03-5945-7166

出場予定選手

〈女子ブルーマ級トーナメント〉

藤井恵
（AACC）

鈴木尚美
（ノヴァ・ウニオンJAPAN）

藤城郁美
（SSSアカデミー）

茂木康子
（ストライプル）

アンジェロMATSUNAGA
（ホチャ柔術）

浜島佳代子
（SSSアカデミー）

U-FILE CAMP

U-FILE5

8月30日（土）東京・U-FILE CAMP西調布アリーナ

◆試合開始/14:00　◆入場料/打ち上げパーティー参加セット4,000円　試合のみ2,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/U-FILE CAMP公式サイト http://www.u-filecamp.com　◆会場アクセス/京王線西調布駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/U-FILE CAMP☎044-932-0282

RED ZONE

RED ZONE

8月24日（日）大阪・SAM & DAVE5

◆開場/18:30　試合開始/19:00　◆入場料/3,000円（1ドリンク＆パンフ付き限定300枚）
※当日券は500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/SAM & DAVE☎06-6251-5333　◆会場アクセス/地下鉄堺筋線長堀橋駅より徒歩2分　◆お問い合わせ/チームブラスト事務局☎090-3495-3605

決定対戦カード

池本誠知vs杉浦“C坊主”博純
（ライルーツコナン）（STG大阪）

加納“マーク”学vs橋本豊
（チーム・ドルバッキー）（ガーディアンズ）

Fighting Angel 2003 Final

11月30日（日）東京・六本木velfarre

◆詳細未定　◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/女子ボクシング協会☎03-3485-4446

決定対戦カード

〈WIBA世界フェザー級タイトルマッチ〉

ライカvsX
（山木）

〈日本フライ級タイトルマッチ〉

八島有美vs猪崎かずみ
（Fギャラクシー）（鴨居）

出場予定選手

マーベラス（SPEED）
菊川未紀（桶川）
柴田早千予（白龍）

女子ボクシング協会

Fighting Angel 3

9月21日（日）ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆開場/14:30　試合開始/15:00　◆入場料、チケット発売/詳細未定　◆会場アクセス/JR京浜東北線大森駅山王西口前　◆お問い合わせ/女子ボクシング協会☎03-3485-4446

決定対戦カード

ジプシー・タエコvs山田香子
（山木）（MUSTANG）

〜エキシビジョン・マッチ〜
ライカvs男子ボクサー
（山木）

他、4回戦5試合あり

畑山隆則がイベント・プロデューサーに就任！

WBA世界スーパーフェザー級＆ライト級元王者の畑山隆則氏が、女子ボクシングのイベントプロデューサーに就任することが正式決定！　11.30大会から畑山プロデューサーが誕生することとなる。和食レストランやフィットネスボクシングジムをプロデュースするなど、ボクシング引退後も多方面で活躍の場を広げている畑山氏。イベントプロデューサーとして、どういった手腕を発揮するのか期待したい！

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ
☎03-5237-9999

ローソンチケット
☎03-3569-9900

CNプレイガイド
☎03-5802-9999

オデッセー
☎03-3408-0331

渋谷東急文化チケットセンター
☎03-3406-1513

レッスル渋谷店
☎03-3464-0078

レッスル池袋店
☎03-3989-0056

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

高田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒107-0061 東京都港区北青山3-12-9花茂ビル3F
☎03-5464-1531

S.W.A 掣圏道・ワールド・アソシエーション
〒150-0021 東京都昭島市大神町1-2-22
☎042-544-6979

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒400-0046 山梨県甲府市下石田2-19-17
☎055-228-2326

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3780-1350

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒260-0016　千葉県千葉市中央区栄町39-3　トーワビル1F
☎043-202-1161

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U(キック・ユニオン)
〒195-0834 東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1・2F
☎03-3843-1212

極真会館総本部道場（松井派）
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1
☎03-5992-9200

バックナンバー インフォメーション

《5・29 94号》

●特集/5・2新日本プロレス 東京ドーム大会『ULTIMATE CRASH』徹底分析！　中邑真輔＆LYOTOインタビュー
●大会詳報/K-1 WORLD GP 2003 in ラスベガス　角田信朗インタビュー、USA予選トーナメント、浅草キッドのK-1裏ベガス トーク
●GW大会特集/5・5 DEEP 後楽園大会、4・25 UFC42、4・29 全日本柔道選手権、5・4 修斗後楽園大会、
●SRS・DXの注目/スペシャルインタビュー☆長谷川京子　シリーズ禅☆横井宏考、尾崎社長インタビュー、5・23 全日本キック最終情報
●seriesジョシカク/エリカ・モントーヤ、5・7 SMACK GIRL ほか

《6・12 95号》

●最新情報/6・8 PRIDE.26見どころ徹底ガイド/高瀬大樹インタビュー
●特集/決定版◎初夏のK-1情報/5・30 K-1スイス大会、6・14 K-1パリ大会、6・29 K-1ジャパンさいたま大会、7・5 K-1 MAXさいたま大会
●徹底検証/大変革！？　5・2以降の新日本プロレス　金沢"GK"克彦×ターザン山本、上井文彦×ターザン山本 対談
●SRS・DXの注目/DEEP最新情報◎ターザン山本＆朝日昇、変人同盟結成、藤沼弘秀インタビュー/美濃輪育久インタビュー/極真ウェイト制プレビュー
●大会詳報/5・18 パンクラス横浜大会。5・23 全日本キック ライト級トーナメント
●seriesジョシカク/坂本奈緒子、5・22 女子格闘技『Gals』ほか

《6・26 96号》

●完全速報/6・8 PRIDE.26横アリ大会/ヒョードルvs藤田和之、ミルコvsヒーリング、高瀬大樹vsアンデウソン・シウバ、浜中和宏vsニーノ・シェンブリ ほか
●最新情報/6・29『K-1 BEAST II』さいたま大会/中西学インタビュー、TOA×ターザン山本 異文化交流対談
●特集/7・5 K-1 WORLD MAX さいたま大会 最強、最高のメンバーが集結！
●大会レポート/5・31 K-1 WORLD GP スイス大会、6・1 SB後楽園ホール大会
●海外大会速報/UFC43 クートゥアーvsリデル、キモvsアボットほか
●seriesジョシカク/茂木康子、6・4 SMACK GIRL
●SRS・DXの注目/数見肇インタビュー、DEEP情報◎TAISHOインタビュー

《7・10 97号》

●最新情報/8・10 PRIDEミドル級トーナメント、真夏の話題、強奪！　吉田秀彦、ミドル級ＧＰ参戦！
●直前情報/6・29 K-1 BEAST「さいたま大会/金沢克彦週刊ゴング編集長インタビュー、バタービーン、モンターニャ・シウバって何者？
●最新情報/7・13 K-1 WORLD GP福岡大会/谷川貞治イベントプロデューサーに聞け！
●緊急特集/ターザン山本のパリ定義旅行！/6・14 K-1パリ大会レポート
●最終情報/7・5 K-1 WORLD MAX/魔裟斗、武田の強さを検証！　編集部予想
●SRSDXの注目！/五味隆典インタビュー、DEEP大阪大会最新情報
●seriesジョシカク/１５（いちご）、6・8 女子サンボ

《7・24 98号》

●完全速報/7・5 K-1 WORLD MAXさいたま大会/MAX万歳！激闘完全レポート＆魔裟斗インタビュー
●緊急企画/徹底検証◎6・29 K-1 BEAST II/角田信朗 競技統括プロデューサーインタビュー＆試合レポート
●最新情報/8・10 PRIDE GP 2003 開幕戦/吉田秀彦・シウバインタビュー
●最終情報/7・13 K-1 WORLD GP福岡大会/フィリォインタビュー
●インタビュー/新間寿（JUNGLE FIGHTとは何か？）、石井宏樹（新日本キック）
●大会レポート/6・25 DEEP後楽園大会、6・27 修斗広島大会
●seriesジョシカク/八島有美、6・25 女子ボクシング、7・6 SMACK GIRL

《8・14＆28合併号 99号》

●見所ガイド/8・10 PRIDE GP 2003 開幕戦/田村潔司インタビュー、桜庭和志公開練習、アリスター・オーフレイムインタビュー、ミドル級ワンポイント見所
●祝100号記念対談/テリー伊藤×ターザン山本（前編）
●最新情報/K-1観戦ガイド◎7・27メルボルン大会＆8・15ラスベガス大会
●最新情報/9・6 X-1 横浜大会、佐々木健介インタビュー、会見/長州力
●インタビュー/ホースト＆イグナショフ、伊原信一・新日本キック会長
●大会レポート/7・13 K-1 WORLD GP福岡大会、7・13 DEEP大阪大会
●seriesジョシカク/坂口一美、7・20 全日本キック、キーラ・グレイシーが来る！

バックナンバーに関するお問い合わせは……
扶桑社 販売企画部　☎03-5403-8859まで
※編集部では受け付けておりませんのでご注意ください。

※バックナンバーはSRS・DX直営ショップ「グレート・アントニオ」でも扱っています。ただし、完売した号もありますので、予めご確認ください。　グレート・アントニオ☎03-3219-9550

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.asakusakid.com

タイソン364億円破産！マット界に争奪戦勃発か？

博士　さぁ、大盛り上がりの格闘技界の大目玉からいってみよう！　凄かったなぁＫ—１メルボルン大会！

玉袋　盛り上がったなぁ、ＣＭの女王「Ｋ」の露天風呂入浴映像！

博士　どこを盛り上げてんだよ！　そっちの「Ｋ」には触れるな！　今回は日本の夏のメインイベント、『プライド』でいこうじゃないか！

玉袋　でも、お盆進行の都合上『プライド』ミドル級ＧＰの結果を踏まえることができないんですよ！

博士　たしかに厳しい状況だが、盛り上げていくぞ！

玉袋　厳しいなぁ〜。結果を稲川淳二に霊視してもらいましょうか？

博士　その前に渋谷で須藤元気を刺した通り魔の似顔絵でも透視してもらえ！　それにきっと桜庭はシウバから一本勝ちしてるさ！　俺には見えるよ！

玉袋　俺にも見えてきた、見えてきた！　吉田と……田村が……グラウンドで……膠着！

博士　本当か!?　吉田と田村がグラウンドの攻防か!?

玉袋　吉田秀彦と、田村亮子が絡み合ってるシーンが浮かんできました。

博士　吉田とヤワラちゃんの熱愛報道っていったいいつの女性週刊誌のガセネタ信じてんだよ！　とにかくＧＰに向けてフジテレビも気合い入りまくりだ。

玉袋　そうそう、格闘技熱を盛り上げるために、突然『ロッキー』シリーズを一挙放送したりね。

博士　それはテレ東の意味不明の編成だろ！　でも、たしかに「なんで今頃、この時期に『ロッキー』なんだ？」って突っ込みが入ったけど、それなりに見直したら凄い面白かったのはたしかだったけど、話題が違う！

玉袋　話題といえば前号の表紙は凄いものがありましたよ！

博士　テリー伊藤＆ターザン山本だもんな、編集長というよりも偏執長のターザンのやるようなことだよ！

玉袋　どうせ2ショットなら菅野美穂と岡田義徳の2ショットにしてくれよ！

博士　温泉旅行疑惑の2ショットなんてますます格闘技と関係ないだろ！　明るい話題といえばＫ—１ラスベガス大会でサップが復活するぞ！

玉袋　相手はバリバリのＫ—１戦士をぶつけてきましたよ！

博士　バリバリでもないキモだろ！

玉袋　手強いよ、なんつってもジョーサンドーの使い手ですからね。

博士　ジョーサンドー自体たいしたもんじゃないだろ！

玉袋　夏だけにキモ試しってことですかね？

博士　誰がそんなダジャレで落とせって言ったよ！

玉袋　キモは十字架背負ってくるんですかね？

博士　それが彼のパフォーマンスだから背負ってくるだろうな。

玉袋　対するサップはタイソンの借金を肩代わりに背負って入場ですよ！

博士　なに背負って入場してるんだよ！

玉袋　ついでに岩城晃一と小林旭の借金も背負ってきますよ！

博士　役者バカの借金まで背負わなくていいよ！　しかし、タイソンの破産にはびっくりだった！　昔みたいに純朴な鳩飼ってる少年だったらよかったのに、いつの間にかベンガル虎まで飼ってるんだもん、そりゃ金かかるよな。

玉袋　その絶滅寸前のベンガル虎を食べたんでしょ？　まったくもってけしからん。

博士　そりゃ美川憲一と西村知美とケロンパだよ！　まさにその虎の子も取られるほど破産して大変なタイソンだよ。

玉袋　しかしタイソンもＫ—１から多額のファイトマネーまで手に入れたのに破産とは情けない。

博士　タイソンはファイトマネーもらってないよ！

玉袋　でも、金に困ってるんですから、これからいよいよ日本の団体がタイソン招聘に動き出すでしょうね。

博士　やっぱり腐ってもタイソンだよ、ぜひとも欲しいよな。

玉袋　やっぱり世界チャンピオンが上がるリングとなれば、過去にボクシングヘビー級チャンピオンのレオン・スピンクスを上げた実績のある大仁田の団体ですかね？

博士　ありゃ実績でもなんでもなく、単に禁治産者になったスピンクスを上げただけのボランティアだよ！　それと一緒にされたらタイソンもかわいそうだろ！

玉袋　でも、打撃なんだからＫ—１が引っ張るのが本当は妥当なんですけどね。

博士　たしかにサップ以降なかなかニュースターが生まれないＫ—１はタイソンを獲得すべきだけど、でも額が違うだろうなぁタイソンは。

玉袋　タイソンは架空の値段でいいんですよ！

博士　架空の金だからまずいんだよ！

玉袋　でもＫ—１でシバキ倒すタイソンも見たいですけど『プライド』で暴れるタイソンも見たいなぁ。

博士　生まれながらの闘争本能はピカイチのタイソンだから『プライド』でも凄いファイトをするだろう。

玉袋　タイソンはまた耳かじりますよ！

博士　またやらかしそうだから危険だから呼べないよ！

玉袋　最初の相手はグッドリッジですかね？

博士　ちょっと下り坂の番人当てるより、もっと凄い選手ぶつけてくるよ！

玉袋　だったら休養明けで金原ですかね？

博士　なんでケガで療養中の金原ぶつけるんだよ！　それにタイソンVS金原だったら見たいけど、なにも金原じゃなくてもって声が世界中から聞こえてくるだろ！

玉袋　『プライド』ならまたプロデューサーの百瀬さんに株で大もうけしてもらったらタイソンなんて平気で呼べますよ！

博士　たしかに破産したタイソンの破産額は3億ドル（364億円）だけど百瀬さんがバブル時株で儲けた額は970億円だっていうんだからな。

玉袋　タイソン3回破産させてもいい額ですよ！

博士　じゃあ一番近い団体はＤＳＥってことか？

玉袋　正直考えるとＷＷＥのビンスが一番手っ取り早いんじゃないですかね？

博士　たしかに金食い虫のタイソンを支えられるのはＷＷＥだけかもしれないな！

玉袋　楽しみだなぁビキニコンテスト。

博士　なんでタイソンがビキニ姿で現れるんだよ！

玉袋　まぁ、さっきも話に出た百瀬さんなんですけど、この前『ＴＶ Ｂｒｏｓ』誌の対談でご一緒させてもらった時に今度の『プライド』のリングに上がって挨拶をするって宣言してくれましたよ。

博士　これは試合もそうだが当日の大注目の瞬間だよ！

玉袋　でも、この前の試合終了の時に全選手がリングインした時に猪木様から「百瀬さん上がってください」って呼び込まれてたじゃないですか、あそこでマイクを握ると思ったんですけどね。

博士　あそこでリングインしたのは、リング上からリングサイドの小池栄子の写真を撮りたかったからリングインした、とこの前カミングアウトしてくれたよ。

玉袋　しかし贅沢なリングインですよ！

博士　とにもかくにも、今後の格闘技界を占う意味でも百瀬さんのマイクパフォーマンスは絶対に注目だ！　そして我々は『プライド』の1日前に、8月9日広島の『グレート・アントニオ』に上陸。

玉袋　なんと広島の書店で『お笑い男の星座2』がベストセラー第5位なんですよ！

博士　広島の人はお目が高い！　広島出身の極楽の山本より俺たちのほうが人気ありそうだ。

玉袋　奴は「はだしのゲン」というより単なる「はだかの芸」ですから。

博士　やかましいよ！

玉袋　まだ、この本を読んでない連中は、急げ！　俺たちのHP上で「夏休み読書感想文コンクール」が開催中だ。

博士　そう！　優秀作品多数に、俺たちの非売品の本格的な漫才DVDが当たるプレゼント実施中だ。

玉袋　今は、文章のレベルが高すぎて、敷居が高すぎるので、抽選方式も採用したから、どんどん送ってくれ！　そして『お笑い男の星座2　私情最強編』の読者の決起集会が8月22日の『お笑い男の星座祭』なわけですよ！

博士　読者諸兄よ！　祭りに集え！　■

総勢300人、正道空手夏合宿リポート

空手家ボブ・サップ誕生!

K-1GP制覇に向けて
サップがカラテ特訓で
生まれ変わる!!

正道合宿恒例、ジャパン選手私服インタビュー!

取材&聞き手◎中村カタブツ君(ブチ)　撮影◎乾晋也

強いサップがカラテによって甦る！

海辺の早朝稽古。サップは一般会員に交じって基本稽古をこなしていく

ミルコ戦敗北後、海外修行を行っていたボブ・サップが久しぶりに日本のファンの前に顔を出した。

7月20、21の両日、愛知県西浦で行われた正道会館の合宿に突如現れたサップは、21日朝の合同稽古に空手着を着て参加。ここに空手家サップが誕生したわけである。

一般道場生に交じって海岸をランニングし、基本稽古も黙々とこなすサップは、空手独特の突き蹴りに多少戸惑いながらも今年のK―1GPに向けてバージョンアップを図ろうと必死だ。

そして、そのサップの熱さを一番感じ取ったのが誰あろう角田信朗最高師範。総勢300人の道場生たちに号令をかける角田師範は、海の中に首まで浸かって檄を飛ばす。

「イチ、ニィ、サン、セイヤ！」「イチ、ニィ、サン、セイヤ！」という通常の気合いだけでなく、「今の動きに飛びヒザを入れて！飛びヒザ、ゴー！　飛びヒザ、ゴー！」とハイテンションだ。

それだけではない。サップの特別稽古の際には突きをかわしてのローキックなど実戦的なコンビネーションを伝授していく。サップも角田師範の説明にひとつ一つうなずきながら攻撃を行っていく。

ポイントとなるのは重心移動。サップの持ち味である体重とパワーを最大限に引き出そうとしたのだった。

また、その横では武蔵と、その実弟である森選手が兄弟組手を行っていたりと非常に豪華。稽古終了後には角田師範の抜き手によるスイカ割り、子安慎悟の子安キッ

サップよ、ただ、ひたすらに稽古に励め!

厳しさの中に楽しさもある正道の夏

▲子供たちにとってサップの登場はビッグサプライズ! サップもついつい笑顔になってしまう

▼カラテの突きに戸惑い気味のサップだが、真面目に取り組むのが好印象

▲ジャパンGPを控える武蔵、藤本らジャパン勢は目の色を変えて特訓に励む

▲カラテ合宿と言えば砂浜でのランニング。足腰を鍛えるには最高の稽古だが、体重のあるサップにとってこういう稽古が最もこたえるようだ

▲宴会のあとは花火大会。中迫はひたすらロケット花火を上げ続けていた

▼夜の宴会では羽目を外すのが礼儀。武蔵は去年同様ヘロヘロになるまで飲んで騒ぎまくっていた。カラテ合宿はこうでなきゃね

▲稽古の最後は毎年恒例のスイカ割り。サップは剛腕パンチでスイカを粉々に砕く

▶角田信朗最高師範による特訓。ステップしてからの蹴り、正中線をズラしての突きなど基本的なことを改めて鍛え直していく

クによるスイカ割り、そしてサップの正拳によるスイカ砕きなども披露され、西浦の海岸は300人の道場生に加えて多数のギャラリーも集まり、熱気は高まるばかりだったのである。

この日の稽古についてサップは語る。「カラテという日本の伝統的な格闘技を身に付けて生まれ変わったボブ・サップをファンに見せたいと思う。今後も大阪でカラテは続けて正道の技術を完璧に学んでニュー・ビーストになる」と。

さて、合宿についてだが、前日は岡崎市の体育館で3時間の合同稽古が行われていた。全員で基本稽古をし、その後は帯によって2クラスに分かれての約束組手へと移行。白帯クラスでは中迫剛による回し蹴りの指導があり、さらにはボディパンチからのハイキックという中迫得意のコンビネーションを自ら解説して豪華だ。

もちろん武蔵、子安、藤本、富平らによる直接指導もあって正道の合宿はあまりにもゴージャス!

その日の夜は宴会でK—1選手たちと直接話せる機会があったり、酒の一気飲みといった体育会系の宴会芸が炸裂したり、心も身体も充実できる空間がそこにはあったと言えるだろう。

毎年、子供や女性陣も多数参加している夏合宿は、苦しさの中にも華やかさがある正道会館らしいものであったのだ。

ところで、次ページからは夏合宿恒例のジャパン選手インタビューを掲載。最近、さまざまな形で揺れ動くジャパン大会についてや9月のジャパンGPに向けての決意を聞いてほしい。 （ブチ）

1

K-1ジャパン起死回生の起爆剤！

富平辰文の慚愧！

7・13K-1福岡大会でレイ・セフォー相手にジャパン勢の意地を見せてくれた富平辰文。
今年こそ、武蔵の独占市場となっているジャパンGP優勝の期待がかかる。
富平よ、ジャパン起死回生の起爆剤となれ！

——正道会館夏合宿恒例の宴会後取材を今年もお願いします（笑）。

富平 去年は泥酔してましたねぇ。

——今年は大丈夫ですか？

富平 いや、去年よりヤバい……と思いますよぉ（笑）。

——じゃあ、期待できますね。酔えば酔うほど熱く語りそうですからね（笑）。ということで福岡大会のレイ・セフォー戦についてですが……。

富平 いや、嫌なんですよね、その話をするの。

——なんで？

富平 みんな誉めてくれて嬉しいんですけど、負けてるのに誉められるのがもの凄い嫌なんですよ。

——僕ホメませんよ。って言うかね、単純に腹が立ったんですよ。だって、「この試合勝てたじゃん」って思ったから。

富平 いや、そうなんですよ！ そこなんッスよ、そこなんッスよ！ 僕もそれがねぇ……。だけど実際負けてるから言えないッスよォ。だから、ちょっと落ち込んだ……。

——ワハハハ！ 嬉しいな、それは。

富平 ……正直ちょっとねぇ。

——だけど、試合後の会見で「打ち合えて気持ち良かった」って言ってたんで、満足してんのかなって思ったんですよ。

富平 あの時は試合終わった後に不機嫌にしてたらダメじゃないかなって思って。

——大人の対応だったんですか、あれ（笑）。

富平 負けて悔しいかもしれないけど、あんまり自己嫌悪に陥ってグタってなってるのも失格だなって思って、記者会見

セフォー戦をホメられても…。勝てたと思うから悔しくて！

は普通にいこうかなってたんです。だから、決して満足はしてないですよ。ただ、終わった時はすっきりはしましたよ、なんかそれなりに。そんなに出し惜しみしたわけじゃないし、自分の力出したし。

——まあ、でもかえすがえすチャンスでしたよね。今回セフォーは調子悪かったみたいですからね。

富平 大チャンスですよね。勝てば一気に評価変わるし。だからもの凄い今自己嫌悪の時期で。

——だから、さっき取材させてくださいって言った時に嫌がってたんだ（笑）。

富平 だからよく頑張った的なことを言われるのが凄い嫌で。言ってくれるのは本当嬉しいんですよ。嬉しいんですけど。

——べつに言ってないからいいですよ（笑）。ところでK—1MAXでは魔裟斗さんが優勝したじゃないですか。それは結構頭の中にありました？

富平 ありましたねぇ。特にあの日、日本人は僕一人だったし、勝手に背負っててね。あとはさいたまアリーナの大会はイマイチというか、イマニかイマサンというか、なんかとんでもないことになったのもありましたからね。そういうのがあっての福岡大会でしょ？ だから、僕が選ばれてる以上ヘタな試合は絶対できないなって思ったんですよ。少なくともコロッと負けたりとかは死んでもできないって思って。

——結構パンチもらっても我慢してましたもんね。

富平 気合いが入っていたんでしょうね、たぶん。

——だから、結局、最後は結果の部分ですよね、魔裟斗さんと比較されるのは。

富平 ただ、ワールドMAXとK—1は別物だとは思いますけど。K—1っていうのは立ち技の世界最強を決めるっていうコンセプトで始まったものだから体重とかじゃなくて一番強いヤツ誰だ？ って話じゃないですか。魔裟斗選手は本当凄げぇなって思ったし、凄い尊敬してますけど、別のものだと思いますよね。

——あれは日本人チャンピオンの誕生をファンが飢えてるところに現れたから一気に火が付いたと思うんですよ。

富平 そうでしょうね。

——で、その反動で飢えさせていたあなた方は何っていうふうになるわけですよ、今度は。

富平 まあまあ、そうですよね。だけどね、しょうがないって言うか。

——しょうがないと思いますよ。

富平 本当言うと僕らがここで何かしゃべってもしょうがないし。やっぱり結果。

——しかないですね。だから今回K—1ジャパンまであと1ヵ月ちょっと。

富平 う～ん。もうそんなかぁ。

——気が付けばねぇ（笑）。

富平 もう練習するだけだよな。いや違うんスよォ！ 練習しなくても勝てばいいんですよ、要はだから！

——だから勝ってください（笑）。

富平 こんなこと言ったらあれですけど、取材とかいくら受けてしゃべろうが、それでいざ試合してへっぽい試合したらなんにもなんないじゃないですか。

——あんまりしゃべりたくない？

富平 本当のこと言うと。

——取材も受けたくない？

富平 本当のこと言うと。

——そういう気持ちは分かりますよ（笑）。

富平 だから何も言わなくても結果が出せればいいんですけど。本当はそうしたいんですけど、結果が出てないからァ。

——残念ながらねぇ（笑）。

富平 ある程度はねぇ……もぉぉ！

——面白い酔っぱらいですね（笑）。だけど、富平さんは結果を出せるであろう人の中の筆頭株ですよ。

富平 けど、結果出してから言わないとそれはいけないわけで。

——先に言っちゃいましょう（笑）。

富平 言っときたいんですけどねぇ。

——あと一歩って気がするんですよ。

富平 なぜ勝てなかったかは、技術的どうこうより全部ですよね。技術、パワー、スタミナ、気持ちとか。それ全部で負けてたからってことなんだろうけど。

——一番はどこなんでしょうね？

富平 う～ん。本当に一番大事なのは、精神でしょうね、やっぱり。例えば、相手がベスト8ファイター、レイ・セフォーじゃなくて、地区予選も出たことない噛ませ犬だとしたらどうだったかって話ですよね。そういう意味では僕、ちょっと飲まれてたところがあるかもしれないし、そこは凄い本当悔しいんですけどね。

——本当僕も見てて悔しかったです。

富平 本当ねぇ、本当にもォ。

——何か酔っぱらいに話してて話が先に進まないなぁ（笑）。

富平 それも、本当にもォォ（笑）。

——いや、気持ちだけはビンビン伝わってきますよ（笑）。

富平 でも、一切言葉になってないと思う。アハハハ！

——悔しいんですよね？

富平 悔しいんですよぉ。悔しいからぁ、悔しいしぃ。だからぁ。

——飲んだくれてる？

富平 飲んだくれてるしぃ、だから悔しくて練習しろってことですよォ！ だけど、だけどこの負けで得たものは大きい、僕の中では、うん！（笑）。

——どんなことですか？

富平 まぁ技術的なこともそうですし、闘いに接する気持ちというか。あの試合で気付いたことは何個かありますね。それはもう僕は携帯のフリーメモに入れましたもん（笑）。

——どんなことなんですか？

富平 それ内緒です（笑）。試合終わったその日に携帯のフリーメモにメモしました、速攻で。だからこれを忘れるなと。

——それを9月のジャパンに出して。

富平 だから、ただの酔っぱらいじゃないという話です（笑）。

——ああ良かった（笑）。

富平 ただ今年は誰にインタビューされても言うでしょうけど、今年は今までになく本気で狙ってますから、優勝を。

——それはK—1ジャパン自体への瀬戸際感ですか。

富平 瀬戸際感凄い。こんなことしてたらなくなるぞっていう瀬戸際感はありますよ、ばっちり！ だから今年はもの凄く期待して見ててください。今までも燃えてました。でも今年の燃え方は今までどころの騒ぎじゃない。騒ぎまくってる！

——大騒ぎに期待します（笑）。■

2

K-1ジャパン起死回生の精力剤！

藤本祐介のノー天気！

ジャパン勢随一の肉体美を誇り、またその肉体をノー天気なまでに愛して止まない藤本祐介。この肉体愛好家の全身に漲る精力が大噴射された時こそ、ジャパン起死回生の時なのだ！

―突然ですけど、最近、勝っても負けても好調な感じがするから藤本さんはいいですね（笑）。

藤本　ワッハハハ！　この前のバタービーンとは手痛い不完全燃焼でしたけど（笑）。

―手首がアゴの辺りに入って倒れたんですよね。

藤本　あれはアゴじゃなくて、首のほうなんですよ。一瞬むち打ち状態になって腕が上がらなくなっちゃったんですよ。でも、控室戻ったらもう手は上がってるし、痺れもない。一番最後まで残った痺れは指先だけ2週間程とれなかったぐらいですね。

―2週間もとれなかったんですか？

藤本　まあ、打ち所が悪かったというぐらいで（笑）。みんななんでダウンしたのかなって思ったようだけど、僕も分かんなかったですよ。

―だけど、あの試合は別として、K―1ジャパンの中で台風の目として急成長ですよね。

藤本　そうしたら優勝しかないでしょう（笑）

―軽く言うなぁ。今、魔裟斗さんとか新鋭選手がどんどん出て来てて、そろそろ入れ替えの時期なんじゃないのかなってことですか（笑）。

藤本　そう思いますよ、僕も、はっきり言って。

―はっきり言いますね（笑）。そういう勢いがある選手にどんどん出て来てほしいんですよね。

藤本　はい！

―で、今K―1ジャパン自体がああでもない、こうでもないと。

てたらK―1自体がおかしくなってくる

―ホントにスタミナ切れるの早いです

また次練習して強くなって臨めばいいか

起死回生だっ! 7·20~21
正道会館夏合宿リポート&
9·21K-1ジャパン出場者インタビュー!

ノー天気でイケイケじゃなくなったら僕はもう引退しますよ

もない、こうでもないと。

藤本　言われてますね。さいたまアリーナなんかムチャクチャでしたね、K―1の試合じゃなかったですもんね。

――だけど、あれになったのは結局ジャパンの選手が不甲斐ないからだとか一方的に言われる形になるじゃないですか。そこでK―1ジャパンの選手として、また新鋭の選手として、どういうふうな心境で今度のジャパンGPに向かって行こうと思ってますか?

藤本　いや、とりあえず、武蔵を倒すと。それだけでしょう。僕からしたら。

――分かりやすいですね（笑）。

藤本　だって、武蔵さんがトップでああいう闘いをするからいろいろ言われるだけであって、僕がトップになって違う闘い方をしたら言われないと思うんで。勝つか、負けるかって試合をしたらお客さんも納得するんじゃないですか?

――いや、おっしゃるとおりです! しかもね、基本的に藤本さんの場合は気持ちいい試合してますからね、勝っても負けても。

藤本　ワッハハハ! そうですね、全部（笑）。僕K―1に出る前からそういう試合をやりたいって思ってたんですよ。それでやってみたらやっぱりこれが面白いって思ってるんで。KOで倒す倒されるの試合ですよ。この間のマイク・ベルナルドとフィリォの試合、あれ程ダルいものはないですね、僕から見たら。お前ら倒しに行ってるのか、K―1のリングに上がる必要ないじゃないかと。

――まだまだルーキーのはずなのに、ここまではっきり言う人も珍しいですね。気持ちいいですよ（笑）。

藤本　いや、でも、視聴率稼げたからどうのこうのじゃなくて、ああいう試合してたらK―1自体がおかしくなってくると思うんで。僕からしたら、それが歯がゆいし、あいつらがなんでそこにいてるのかって。もう、リングに立つ必要がない連中ですね、僕からしたら。

――あなたは本当言いたいこと言ってますね（笑）。

藤本　ワッハハハ! やっぱ、リング上がった以上はね、相手を倒すつもりで行かないとね。

――ところで、K―1ジャパンの現状はどう思います? ジャパンの選手の方々は多かれ少なかれ瀬戸際感ってあると思うんですよ。だけど、今話を聞いてると藤本さんにはなさそうな感じがするんですよ。

藤本　一切。全部イケイケで行けばいいじゃないですか（笑）。

――非常にノー天気な性格ですか?

藤本　はい!（笑）。根本的に殺るか殺られるかしかないし、そのイケイケがなくなったら僕は引退するつもりでいますんで。それしかないでしょ?

――それしかないです（笑）。じゃあ、K―1ジャパンがもしなくなったらどうしようとかは一切。

藤本　全然考えてないです、僕は。

――素晴らしい! あなたは考えなくていいです（笑）。

藤本　ワッハハハ! まあ、イケイケですから。

――で、見た目の一番の売りはやっぱりその筋肉ですか。

藤本　はい! K―1ジャパンの選手の中で一番ウェイトをやってるのは僕だと自負してますんで。走るよりもパワー（笑）。

――スタミナよりもパワー（笑）。

藤本　パワーですね。

――ホントにスタミナ切れるの早いですからね（笑）。

藤本　早いッスね（笑）。だから、逆に1Rに賭ける意気込みって人一倍ありますからね。ワッハハハ!

――でも、それは必要なことだと思いますよ。でも、大石亨戦では3Rにハイキックで倒しましたけどね（笑）。

藤本　豪快に!

――自分で言いますか（笑）。

藤本　あれ程気持ちいいことないですよ。

――あの辺から勢いが出てきた感じですよね。

藤本　ファイトスタイルができてきましたね。

――あとは永谷園のCMでも火が付いたのかもしれないけど（笑）。運が上がってきたのはありますよ。

藤本　そうですね、今までにないタイプって言うかね。

――そういう何か違ったものを見せられる日本人が現れたっていうのが面白いですね。だから、他の選手とは違う色を藤本さんには期待したいなと。

藤本　そうですね、これからもこのままでやっていきたいですね。外人選手であろうと、怖れず、ビビらず、ガンガン突っ込んでいこうかと。

――そうですね、ラスベガスの時もガンガンいってましたもんね。でも、あれ、もったいなかったなぁ。

藤本　惜しかったですね。

――日本でやってたら勝ってたでしょ?

藤本　日本では取らないダウンを取ってましたからね、スリップダウンを。

――まあだけど、本当に怖れずに、ノー天気に朗らかに。

藤本　自分らしさを出せればそれで言うことないです。そこで負けたら負けたで、また次練習して強くなって臨めばいいからって。自分を出さずに負ける程悔しいものはないですからね。

――ホントそうですよ。今ちょっと暗い感じのK―1ジャパンですけど、藤本さんがなんにも考えないで明るく背負っていってほしいですね。

藤本　明るく! ただバタービーンの試合だけは僕も不完全燃焼で終わってしまったんでガッカリです。

――でも見てて面白かったですよ。

藤本　あ、そうですか（笑）。でも、それはバタービーンが面白かっただけで、僕が面白かったわけじゃないじゃないですか。

――いや、なんで立ってこないんだろうって思ってたら、ドンドン崩れていったでしょ? 見るほうとすれば面白いですよ。いい倒れ方だったですよ。

藤本　そうですね（笑）。

――まあ、だから、ジャパンGPの一服の清涼剤になってほしいんですよね。というか、精力剤か（笑）。

藤本　ワッハハハ! いや、そんな感じですね、僕は（笑）。

――だから、これからも筋肉、筋肉で押しまくってください（笑）。■

◀自慢の肉体美を道衣にしまい女子に稽古を付ける藤本。見せびらかしたいのはやまやまなのだが……

3 K−1ジャパン起死回生の対抗馬！

中迫剛のド生真面目！

今年に入ってから、ベルナルド、アーツといったベテラン勢と対戦し、まったくいいところを見せられなかった中迫剛。例年の如く、武蔵の対抗馬のままで終わってしまうのか？生真面目尽くしの中迫の言葉を聞け！

――ジャパンGPへの意気込みなどを聞いていきたいなと思ってるんですけど。その前にK―1MAXはどうでした？

中迫　僕一切見てないんですよ、最近のK―1。ちょっとK―1から頭を離そうと思って。今は普段行かないようなジムに行ったり、水泳やったりですね。

――やっぱり、何かを変えないといけないって気持ちですか。

中迫　そうですね、根本的なことを変えようと思って、水泳とか今までやったことないトレーニングをちょっとやってみて。最初は25メートル泳いだだけでハ〜ハ〜言ってたんですけど（笑）。

――ウソォ（笑）。

中迫　いや、やっぱり身体が筋肉で重いんで沈むんですよ、普通でも（笑）。でも今は1キロとかも泳げるようになって。

――きっちりトレーナー付けて、いろんな人のアドバイス聞きながら積み上げていくっていう、そういうのはあんまり考えてないんですか？

中迫　そういうのは試合直前でいいかなって思ってますね。ケビンさんのとこに行ってウェイトトレーニングとかスピードトレーニングとかやって、その間にスパーリングっていうのは試合前に集中して1ヵ月くらいでいいんで。今は基礎体力を上げていこうかなって思うんですよ。今まではこういう時期でもジム行って、道場行って、サンドバック叩いててってやってたことをまるっきり切り替えて違う体力を鍛えていこうかなって。

――やっぱり、ベルナルド戦、アーツ戦の敗北が大きいですか？

中迫　自分の中では全然勝てると思ってやってましたし、そんな難しい相手じゃないと思ってやってたんですけど。やっぱり情けないっていうか、実際そんなに圧力とかも感じてなかったんで。蹴られて、殴られてる時も全然いけるなって思ってたんですけど、それでやっぱりやられてしまったのは事実なんで。

――なんなんでしょうね。感覚としては圧力もないし、効いてもないのに結果がついてこないっていうのは。

中迫　そこで超えられないのは、自分の中の何かだと思うし。体力的には負けてないと思うんで、そこのもう一歩。

――メンタル面なんでしょうかね。

中迫　そうですね。後はもう気持ちだけっていうか、考え方だと思ってるんですけどね。やっぱり変えるのってなかなか。開き直るしかないんでしょうけど、そこで冷静に相手を倒せるようになるには、もう一歩何かを変えていかないと。普段だと結構この時期、自分の中で焦りがなくて、チンタラ練習してる部分があるんですけど、それをやめて2ヵ月前だなっていうのを踏まえて変えていってるんで。

――本当にマーク・ハントを蹴り倒したのは中迫さんだし、ポイントポイントでキラキラ光ってるものはあるんだけど、結果が出ないっていうのは、やっぱり。

中迫　メンタル面。それはそうだと思います。逆に言うと、水泳とかってやったほうがいいよって言われたことはあったんですけど、あんまり泳ぎ得意じゃないし、いいかなって思ってた部分もあったんですよ。でも、自分でやっぱりやってみようかなって。

――嫌なことをやってみようと。

中迫　そうそう、そうです。ウェイトトレーニングも1人でやるのってあんまり好きじゃなかったんですけど、やってみたりとか。だから自分でやらないといけないことは分かってきたんで、そこをいかに鍛えるかですね。

――変わりそうな予感はありますか。

中迫　あると思いますね（笑）。■

◀子供たちに稽古を付ける一面もある中迫。例年になく燃えているか？

4 K-1ジャパン起死回生のやっぱり本命!

モンターニャ戦は言うに及ばず、数々の理不尽なマッチメイクをされてきた武蔵。その溜まった怒りがいよいよ爆発かと思いきや、このインタビュー後に行われた7・27オーストラリア大会ではドロー。それでも今年もジャパンGPの本命は武蔵ということになってしまうのだろうか……。

武蔵の怒り!

――この号が出る頃には結果は出てるんですけど、メルボルン大会に急きょ出場が決まったみたいですね。

武蔵 そうですね。メルボルンで思い切り暴れてオーストラリアの人に名前を覚えてもらうような試合をしたいと思うんで。そのためには倒しにいくっていう試合が一番印象に残りやすいと思うんで狙っていきたいって思います（だが残念ながらドロー判定となる）。

――で、今日はK―1ジャパンについてお聞きしたいんですが、K―1MAXはもう見ました?

武蔵 MAXはまだ僕見れなくて、ビデオでも。ただ、いろんな意味で魔裟斗は打たれ強いし、勝負運もある。やっぱり運も味方みたいなところが勝負はあると思うんで。そういうのも呼び込んで優勝したんじゃないかなって。

――それはK―1ジャパンでも同じで、福岡大会の富平さんとレイ・セフォーの試合もそうですけど、勝敗は紙一重の差のところに来てると思うんですよ。

▶武蔵と海はよく似合う!

武蔵 そうですねぇ。

――だから、その紙一重というか、壁というかをどうやって乗り越えるんだろうか。魔裟斗くんは乗り越えたと、武蔵さんたちはどうやって乗り越えて行くのかをファンは見たいと思うんですけど。

武蔵 う～ん。

――壁っていうのを感じてます?

武蔵 いや、僕はまったく。

――じゃあなんなんですかね?

武蔵 当然外国人選手は強い。しかもヘビー級になると一発当たっちゃうと、勝負が決まっちゃうことが多いんで、その辺では本当に賭けみたいな試合になることが多いんですけど。まぁ、言葉にするのは凄く難しいんですけど、壁、壁じゃなくって、なんなんですかねぇ。

――じゃあ、現在のK―1ジャパンの方向性についてはどう思いますか。

武蔵 中西選手とTOA選手の試合が沸くことに関しては問題はないし気にもしないんですけど。でもそれがK―1だと思われたくないんで。

――まぁK―1じゃないですよね。

武蔵 はい。だからK―1で沸かせるのが自分の仕事だと思ってるし。まぁ、今のK―1ジャパンがプロレス的な見方をされてる部分が凄くあると思うんで。

――だけどそのプロレス的見方をされてる部分っていうのは、逆にジャパンの選手の闘い方自体でもうちょっと色を入れないといけないってところから来てると。

武蔵 でも、それが入ってるから沸いてるのかは分かりませんけど。だから、この前の試合も僕がKOで勝っていればまったく問題ないと思うんですけど、ああいうことされて試合が終わると選手としての役目って言うか、意味がないですよ。

――選手として葛藤がありますよね。

武蔵 凄いやる気をそがれるような状態で。ジャパンを盛り上げるためにああいう試合を組まれても、そういう役目を果たすこともできない、そういう感じになるんで、それが自分にとっては微妙な感じではありますね。

――いろいろ武蔵さんには課題やらプレッシャーやらかかって、しかも暖かい目で見られないという状況ですからね。

武蔵 そうですねぇ。そりゃもうこういう立場なんでしょうがないです。ファンに言われることはやっぱり武蔵しかいないんだからってよく言われるんで。まぁ、だから「分かってますよ!」って気持ちでやろうと本当に思ってるし。変な話ほんまに僕一人で会場一杯にできて、僕の試合終わったらみんな帰るくらいの部分でやらなあかんなって思ってるんで。■

総評

武蔵の中の"S" 魔裟斗との違いは……

文◉谷川貞治（K―1イベントプロデューサー）

今回の武蔵のテーマはKO。が、武蔵は武蔵のままだった

6月末からK―1は、史上初の3週連続興行を成し遂げ、ホッと一息つく間もなく、オーストラリア・メルボルンで世界地区予選（オセアニア地区）を行った。僕って、本当に頑張っているでしょ。

オセアニア地区と言えば、ヨーロッパほど知名度のある実力者はいないが、なんと言っても、あのマーク・ハントが発掘された地区である。ハントもK―1ワールドGPで優勝し、一夜で40万ドルという超大金を掴んだ男。それまでは1試合5万円程度で闘っていたという。こんなシンデレラボーイが出るから「オセアニアは侮れない」という幻想が私にはある。

特にニュージーランドは幻想の宝庫。TOA出現でより一層感じたのだが、マオリ族やトンガ族、サモア族、フィジー族と、非常に勇敢で格闘技向きの人種が揃っている地域。K―1のハント、セフォーだけでなく、WWEのロックも、小錦も、武蔵丸も、みんなこっち系の人たちなのだ。

いつか私は、ニュージーランドでK―1をやりたいと考えている。今も予選トーナメントはやっているが、真のニュージーランド最強決定戦は、部族対抗戦にするべきだろう。マオリVSサモア、トンガVSフィジーといった部族対決になれば、古代の覇権争いみたいになって面白いに違いない。それをニュージーランドのプロモーター、ディクソン氏に提案してみたら「そんな大会をやったら、客同士が喧嘩になり、戦争になってしまう」と慌てていた。

一方、オーストラリアにも人材はいる。ここは、サム・グレコやスタン・ザ・マン、グルカン・オズカン、マイク・ザンビディス等のファイターを見ても分かるように、パンチ主体のラッシュ型ファイターが多い。こういうファイターは、いわゆる銭の取れるファイターだ。そういう意味でも、オセアニアは無視できない地域なのだ。

そのオセアニア大会のスーパーファイトに、今回私は武蔵に出場依頼をかけた。当初、このオセアニア地区のスーパーファイトは、マーク・ハントVSアレクセイ・イグナショフという勝負論的に楽しみなマッチメイクを組んだが、ハントがヒザの手術をしたため試合をキャンセル。私はここであえて、日本向きのカードを考えた。それが、武蔵の海外武者修行だったのだ。

武蔵は正直、普通のキックボクサーとほとんど試合をしていない。それは武蔵がジャパンの屋台骨を支える大黒柱だからだが、日本での興行を考えると、どうしても相手はベスト8ファイタークラスの超強豪か、キワモノになってしまうのだ。特に前回のモンターニャ戦は、本当に突然キレられてしまい、武蔵に悪いことをしてしまったとさえ、思っていた。

だったら海外で一度、普通のキックボクサーと試合をさせよう。それで弾みをつけてジャパンGPを盛り上げていくというのが、私の狙いだった。もちろん、突然のオファーで武蔵には負担をかけてしまったが、快く引き受けてくれた武蔵に対し、私は「でも、必ずKOで勝ってくれよ。今回のテーマは倒すことにあるし、倒せる相手だと思うよ」と注文をつけた。武蔵は「押忍」と、それに対しても答えてくれたのだった。

しかし、結果はご覧のとおり、武蔵は武蔵のままだった。武蔵というのは、相手が強豪だろうと、キワモノだろうと、普通のキックボクサーだろうと、相手のレベルに合わせた試合をしてしまう。本当に心が優しすぎるのか、S度が足りないのだ。だから、武蔵の試合はM的な展開になると、母性本能をくすぐり、武蔵を応援してしまいたくなるのである。

SとM。サディズムとマゾヒズム。日本代表として、我々が世界に立ち向かう武蔵にいつも期待しているのは、このS度の発揮である。チャンピオンになるタイプというのは、たいていS度が高いとか、ナルチシズム性が高いという特徴を持っている。魔裟斗に比べ、武蔵はそこが足りない。いや、ジャパンのヘビー級ファイターはM系ファイターが多いのだ。

今、日本の格闘家で期待されているのは、S系ファイターの出現である。もし、武蔵の技術に高いS度が加われば、世界にもっと対抗できるだろう。

武蔵の試合は、残念ながら判定ドローだった。しかも、ジャッジの1人は対戦相手のオーストラリア人に勝ちを付けていた。いくらなんでもそれはないだろう。日本での判定だったら、あの試合は武蔵の勝ちだったはず。

の勝ちだったはず。

それでも私は、リング上で悔しがっている武蔵に次のようなことを言った。

「たしかに判定はムサちゃんの勝ちだったと思うよ。でも、ホームタウンデシジョンで言えば、これくらいのことはあるし、やっぱり倒さないと。判定よりも、あそこまでいって倒せなかったことを反省しないとね」

武蔵は非常に悔しがっていた。でも、あとの祭り。海外遠征は他流試合と同じくらいハートを鍛える試合だとしたら、武蔵の今回の試合のテーマは、調整試合ではなく、自分の心の中にある〝S〟を引き出すことだっただろう。

こうして、オセアニア地区予選はどこか消化不良に終わってしまった。トーナメントで優勝したのは、元極真会館のピーター・グラハム。2年前のオセアニア地区予選では、ハントに決勝で敗れた男が順当に開幕戦のキップを手にした。ピーター・グラハムも、もう一歩S度の足りない男。開幕戦までに、一皮も二皮もむけてほしいものである。

しかしながら今回、私はS度もナルチシズム度も抜群に高い一人の男と出会った。それは、K―1オセアニア地区のプロモーター、タリック・ソラック氏だった。タリックはK―1のプロモーターの中でも一際目立った存在である。とにかくアクが強く、なんでも自分の思うがままに、強引に物事を進めようとする。自分大好きのナルチシズムの固まりで、K―1の冠にも〝タリック・ソラックPRESENTS〟の文字を躍らせ、リングマットにまで自分の名前を入れていた。挨拶も長いし、すぐにリングに上がろうとする。ラウンドガールも全て自分の好みを選んでいた。さすがにこれは注意したが、もし武蔵にタリックのこのアクの強さがあれば……そう痛感したオセアニア大会だった。■

武蔵らしいというべきか…

またも"KO宣言"不発！

試合後、控室で納得いかない表情を見せる武蔵

KOはできなかったものの判定勝利を確信していた武蔵はドロー判定に呆然

★第9試合/スーパーファイト（3分3R）

△C・クリソポリディス（オーストラリア）× 武蔵（日本/正道会館）△

（3R判定1-0ドロー）

もはやここまでいくと〝芸〟と言ってもいいかもしれない。相手が強かろうが弱かろうが、それなりだろうが、ちゃ～んとしっかり最後まで〝いい〟試合をしてしまうのだから。武蔵ってある意味、凄い！

今大会、武蔵に与えられたテーマは〝KO勝ち〟であり、クリス・クリソポリディスというキックボクシングのオーストラリア王者は、武蔵の実力からしたら、十分にKO可能な相手だったはずだ。

しかし、フタを開けてみれば、いつもどおりの煮え切らない内容で、押してはいるのだが、決め手のないまま時間だけが経ち、

「見てないで攻めろよ！　チャンス、いけいけ！　おいおい時間がない。あ～あ、終わっちゃった」

って感じで、3Rがあっと言う間に過ぎて、お決まりのドロー。しかも、0―1とポイントを相手に取られるオマケまでついた。

たしかに、そのジャッジ自体はほとんどの人が「うそっ？」と首を傾げるものだったけど、海外の試合でホームタウンデシジョンは当たり前。倒さなければ負けにさせられるなんてこと、誰もが知ってる常識だ。倒してもいないのに、判定勝ちしていると思うこと自体、甘いというしかない。

相手は有名選手じゃないけど、今回はスカッとKO勝ちして、本当は武蔵って強いんだってところを見せてくれると思っていただけに、残念で仕方ないが、これが、武蔵の実力なのだろうか。

ちょっと調べてみたところ、武蔵が最後にKO勝ちしたのは2000年の7月7日。K―1スピリ

アルゼ
K-1 WORLD GP 2003 in MELBOURNE
7.27★メルボルンタウンホール

トーナメント優勝は元極真ピーター・グラハム

▲トーナメント決勝戦。元極真のグラハムは強烈なローキックでジェイソン・サティをぐらつかせ、接近戦ではヒザなども繰り出し優位に展開。3−0の判定勝ちをものにした

▲オセアニア地区予選を制し、開幕戦出場を決めたピーター・グラハム。初戦から苦戦続きだっただけに悲願達成には雄叫びを上げて喜んだ

▶ジェイソン・サティの左フックがアンドリュー・ペックのテンプルをとらえると、ペックは立ち上がることができず。わずか1分2秒で決勝進出を決めた

▲トーナメント準決勝。グラハムは2Rには、ミッチ・オヘロにダウンを奪われるピンチとなったが、その後の反撃でドローに持ち込み、延長4R、右のストレートでダウンを奪い返し、最後はパンチの連打でスタンディングダウンを奪って逆転のKO勝ち

▲7・5K−1ミドル級大会のワンマッチで、奇抜な闘い方で大野崇を破って一気に脚光を浴びたセルカン・イルマッツ（トルコ）は、大会前に足をケガしていたようで、華麗な足技はほとんど見られず。パンチも巧いところを見せたが、地元のマイク・コープに判定負け（2−1）を喫した

▲日本からトーナメント参戦のTSUYOSHIは、アグレッシブな攻めと、パンチを受けても一歩も引かない気持ちの見える試合で場内の大声援を受けた。しかし、残念ながらジェイソン・サティに判定負け（3−0）

K-1 WORLD GP 2003 オセアニア地区予選

- ジェイソン・サティ（ニュージーランド）
- TSUYOSHI（日本）
- オークランド・アウイマタギ（ニュージーランド）
- アンドリュー・ペック（オーストラリア）
- ピーター・グラハム（オーストラリア）
- ヨシップ・ボドロチック（クロアチア）
- ポール・スロウィンスキー（オーストラリア）
- ミッチ・オヘロ（パプアニューギニア）

武蔵のミドルキックはかなり効いていたが、最後までダウンを奪うことはできなかった

▼地元ということもあって、クリソポリディスはとにかく頑張った。武蔵の攻撃が効いた場面もあったが、最後までダウンしなかった

たしかに地元判定だったとは思うけど、やっぱ倒さなきゃ！

▶試合後、リング上でマイクを向けられた武蔵は、キョトンとした表情でコメントしていた。絶対に判定は取っていたと確信していたと思われる武蔵。だが、これが海外での試合なのだ

◀自らの優位をアピールした武蔵だったが、判定はドロー。内容では武蔵優位とも思えたが、敵国での試合は倒さなければ勝つことはできない

ッツ仙台大会の安虎（中国）戦。あれから実に3年もKO勝ちしてないことになる。ご無沙汰にもほどがある。夫婦だったら離婚の危機だ（?）。安虎戦後の3年で武蔵は17戦していて8勝5敗4分け。KO、TKOによる決着（負け）はわずかに2試合で、判定にもつれ込んだ試合は実に14試合もある（残る1試合は武蔵の反則勝ち）。つまり、KO率ならぬ、判定率82%！ これって凄いよ、たぶん。

ジャパンGPとワールドGP絡みの試合以外は、セーム・シュルトやゲーリー・グッドリッジ、ジョシー・デンプシー、モンターニャ・シウバなどの、打撃系ではないファイターとの異種格闘技戦みたいなのが多かったのだが、モンターニャ戦以外は全て判定と、毎回、期待を裏切るというか、予想どおりの働きをしてくれるから、やっぱり武蔵は武蔵なんだなぁと納得してしまう。本当は、かなり強いと思うのだが、どうしてこうなのだろう? 凡人には理解不能と言うしかない。

とはいえ、武蔵には9・21ジャパンGPが待ちかまえている。海外修行と同時に最終調整という位置づけでもあった、クリソポリディス戦は不完全燃焼に終わったが、今度こそピリッとした試合を見せてほしいものだ。

天田は今年優勝できなければ引退すると公言しているし、富平もこの前のセフォー戦では鬼気迫る闘いを見せた。他のジャパン戦士たちもみんな必死だ。しかし、崖っぷちのジャパンを面白くできるかどうか、それはなんと言っても武蔵次第。頼むよ、ホント！■

9・15大田区体育館大会カード決定！

旗揚げから3年、その歴史を問う
純DEEPイズムの集大成!!

打倒マッハの刺客は U-FILE長南だった！

長南亮〈U-FILE CAMP.com〉 VS **桜井“マッハ”速人**〈マッハ道場〉

マッハのコメント

「こないだやった上山君と同じ所属なんで、こっちより向こうのほうが俺のこと知ってると思うんで、とにかく頑張ります。これまでも強い相手の後に無名の選手と闘ったりすると、結果が良くないんでね。高校生の頃からそうだったんで。手を抜かないように頑張ります。今年はあと3回試合したいですね。だから長南君とのが終わって、もう1回やって、もう1回やりたいなと（笑）。今年入った時から考えていたことなんで」

長南のコメント

「最強にして最高の相手と闘えて、とても光栄です。自分の全てをぶつけたいと思います。勝ち負けを超えた闘いをしたいですね。闘うことで何か残したいですし、見ている人に勝敗以上のものを伝えられたらなと。『あしたのジョー』じゃないですけど、燃え尽きられたら。負けそうだからって、クロスガードで判定に持っていくのはしたくないんで。やられるんだったら、とことん壊してくれって感じで。自分も殺す気でいきます」

ドスJr、ついに世界へ！ ブラッド・コーラーと対戦

ドス・カラスJr〈AAA〉 VS **ブラッド・コーラー**〈ミネソタ・マーシャルアーツ・アカデミー〉

《その他の決定カード》

★DEEPミドル級タイトルマッチ

上山龍紀〈王者/U-FILE CAMP.com〉 VS **須田匡昇**〈挑戦者/CLUB J〉

三島☆ド根性ノ助〈総合格闘技道場コブラ会〉 VS **加藤鉄史**〈PUREBRED大宮〉

MAX宮沢〈荒武者総合格闘術〉 VS **百瀬善規**〈禅道会〉

桜井隆多〈Rジム〉 VS **藤沼弘秀**〈荒武者総合格闘術〉

石井淳〈超人クラブ〉 VS **鋼侍**〈総合格闘技塾破天荒〉

DEEPの9・15大田区大会は内容の濃さで勝負する顔ぶれとなった。DEEPは毎回カオス状態なのが魅力だったわけで〝純DEEP〟というと語義矛盾のようだが、今回はまさにそれ。

既に発表されていた上山vs須田のタイトル戦に続き、7月29日の記者会見ではマッハvs長南、ドスJrvsコーラーが発表、さらにその後、4つの追加カードが決定した。

DEEP最大の〝ヒット作〟ドスJrはこれまで日本人選手との対戦だけだったが、今回ついに〝世界〟へ打って出ることになる。相手のコーラーはかつてリングスKOKトーナメントで山本憲久のアバラをへし折ったパワーファイター。この一戦でドスJrの真価と可能性が試されるだろう。

そして上山vs須田、マッハvs長南は、佐伯代表が以前からプランを練ってきた好カード。DEEPで育ち、評価を上げた上山、長南と、DEEPに転機を求めたマッハ、須田。3年間積み重ねたDEEPの歴史、その上澄みだけをすくい取ったようなマッチメイクと言えるだろう。

6月にはデイブ・メネーに快勝、今回は胸を貸す立場となるマッハだが、「今回こそ自分を作り上げる。今までと同じじゃない」と、この試合を完全復活の試金石と捉えているだけに気合いは充分。対する長南は、格闘技をする理由が「日常では味わえない緊張感や恐怖心を乗り越えて、自分自身を強くすること」と語るとおり、捨て身の勝負を挑んでくるはず。単なる〝下馬評どおり〟では済まない対決となりそうだ。■

⚠ 日本一のプロレス・格闘技ショップは「神戸」にあります！！

PRO-WRESTLING SHOP

RING SOUL

Soul

ショップでプロレスグッズを買って、
カフェの大画面でプロレス観戦しながら
選手が考案したオリジナルカクテルを飲み、
帰りにショップでチケットを購入。
至れり尽せりのプロレスショップだ！！！

取り扱い商品

新日本、全日本、NOAH、ZERO-ONE、
WWE、闘龍門、WJ、大阪プロ、UFO、
PRIDE、K-1、パンクラス、高田道場、他,,

オススメグッズ

ヒョードルTシャツ、小川直也Tシャツ、ブラジリアントップチーム、
ARISTRISTグッズ、村上和成Tシャツ、田村潔司グッズ、WWEグッズ、
闘龍門クレイジーマックスグッズ、など他店では買えない商品がズラリ！！

プロレス・ショップ（1F）

RING SOUL 神戸・元町 078-333-6690
神戸市中央区元町高架通3-182-1F(モトコー2番街)

1F OPEN 12:00 ／ CLOSE 20:00

SHOPには５０００個以上ものプロレス・格闘技グッズが
所狭しと並んでいます！！ レアモノから最新のグッズまで！！
取り扱い商品は・・・

チケット Tシャツ フィギュア マスク ビデオ DVD CD
アクセサリー チャンピオンベルト プロテイン グローブ 他

プロレス・カフェバー（2F）

RING SOUL cafe

2F OPEN 12:00 ／ CLOSE 24:00

CAFEでは四の字固め（オリジナルカクテル）を
飲みながら大画面でプロレス観戦！！！
過去の名勝負から最新の試合まで！！リクエスト
お待ちしております！！！

プロレス・ブランド・ショップ

RING SOUL Z 神戸・三宮 078-393-3514
神戸市中央区三宮町2-11-1（センタープラザ西館2F）

まったく新しいタイプのプロレスブランドショップ。
従来のプロレスショップとは違い、よりデザイン性の
高い、入手困難な商品を厳選し販売致します。
その名も「RING SOUL Z」！！

http://www.ringsoul.com

インターネットで通信販売やっています！！

毎月、選手をゲストに招き
トークショーなどのイベントを
開催しています！！詳しくは今すぐTEL！！
078-333-6690

RING SOUL cafe (2F)
RING SOUL (1F)
RING SOUL Z(三宮店)

火曜定休日

SRS
SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション

8/22の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によって放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは8月8日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

『SRS』は金曜日深夜25時40分～26時10分（時間は変更することがあります）
フジテレビ系で絶賛放映中。

8/22

サップ復帰戦の裏側を大公開！

『K-1 ラスベガス大会詳報』

8月22日（金）25:40～26:10

8月15日に行われた『K-1 WORLD GP inラスベガス』。SRSではテレビ中継でお伝えできなかった試合を中心に、バックステージ情報も含めK-1ラスベガス大会をたっぷり特集しちゃいます！　なんと言っても大会の目玉は、"ザ・ビースト"ボブ・サップの復帰戦！　UFCなどこれまで様々なリングで活躍してきた総合ファイターの"怪人"キモを相手に、サップが久しぶりにK－1のリングに帰ってきたということで注目です！　また、ラスベガス大会では10月11日（土）に大阪ドームで行われる『K-1 WORLD GP 2003 開幕戦』の出場を賭けた世界最終予選トーナメントが行われました。番組では最終予選の模様も含め、これまで行われきたスイス、パリ、メルボルンなどの世界予選をもう1度振り返りながら今後の展望を占う予定です。これを見れば開幕戦に向けてバッチリ予習ができちゃうということで、オンエアをお楽しみに！

▲カラテ修行を積んだサップが母国アメリカで大暴れ!?

必見！

フジテレビ系列の番組から CS721

8/18（月）25:00～29:00『K-1 WORLD GP 2001 決勝戦』（再放送）
8/19（火）25:00～26:20『K-1 BIBLE 2001』（再放送）
26:20～28:20『K-1 BIBLE 外伝～2001 ベストバウトランキング～』（再放送）
8/20（水）25:00～28:00『K-1 WORLD GP 開幕戦』（再放送）
8/21（木）25:00～28:00『K-1 WORLD GP 決勝戦』（再放送）
8/22（金）25:00～26:20『K-1 BIBLE'02～10th Anniversary～』（再放送）
26:20～28:20『K-1 BIBLE 外伝02～2002ベストバウトランキング～』（再放送）

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
8/18（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	キックの星	15：00～16：00	キックボクシングフリークにお送りするキック専門番組。キック界の最新情報や試合速報、選手のゲスト出演など、まさにキック版『生でGONG×2！』MCは大江慎、片岡未来。再放送8/19・9：00～と27：00～、21・16：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　パンクラス	16：00～18：00	➲Pick Up①
	フジテレビ721	K-1 WORLD GP 2001 決勝戦（再）	25：00～29：00	01.12.8『K-1 WORLD GP 2001 決勝戦』。マーク・ハントVSフランシスコ・フィリォほか
8/19（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　パンクラス	16：00～18：00	7.27後楽園ホール大会・夜の部
	FIGHTING TV SAMURAI!	船木が語るパンクラスストーリー	22：00～24：00	#15　再放送8/20・19：00～、23・15：00～、28・25：00～ほか
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	8.10『PRIDE GP 2003 開幕戦』速報（前編）
	フジテレビ	WWEスマックダウン	25：28～26：28	アメリカから『Smack Down』の最新映像をお届け。出演：ガレッジセールほか
	フジテレビ721	K-1 BIBLE 外伝　2001（再）	25：00～26：20	記念すべき21世紀最初のグランプリとなった2001年シーズンの激闘をプレイバック
	フジテレビ721	K-1 BIBLE 外伝　2001ベストバウトランキング（再）	26：20～28：20	K-1の2001年シーズンの激戦を総まとめ。ベストバウトランキングを紹介
8/20（水）	Jスカイスポーツ2	プロフェッショナル修斗2003	12：00～15：00	➲Pick Up②
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	17：00～17：30 23：30～24：00	総合から空手、キックまで格闘技界の最新情報満載！　再放送8/23・8・00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17：30～18：00	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。再放送8/23・9：30～
	Jスカイスポーツ3	SHOOT 3/60	18：00～19：00	15分のショートドキュメンタリー3本で構成する"60分3本勝負"の格闘技専門スポーツドキュメンタリー番組。8.10修斗3大タイトルマッチ特集。再放送8/21・10：30～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	23：00～23：30	上記参照。再放送8/21・20：30～、22・15：30～、23・9：30～、24・27：00～、27・17：30～
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
	スポーツ・アイESPN	PRIDE REVIVAL	24：30～25：30	これまでの『PRIDE』シリーズを毎月1大会ずつ放送。『PRIDE.10』#3
	フジテレビ721	K-1 WORLD GP 2002 開幕戦（再）	25：00～29：00	02.10.5『K-1 WORLD GP 2002 開幕戦』。ボブ・サップVSアーネスト・ホーストほか
8/21（木）	スポーツ・アイESPN	極真魂	12：30～13：00	最強の格闘技とは何か？　故大山総裁が築き上げた空手道を継承する極真戦士達をあらゆる角度から掘り下げ、その強さを探る
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	8/20を参照。再放送8/22・15：00～、23・8・30～、24・27：30～、27・17：00～と23：30～
	GAORA	週刊格闘JAM!	21：52～22：00	K-1、PRIDEなどの格闘技イベント最新情報「Featuring event」や旬の格闘家を紹介する「Featuring Fighter」などをぎっしり詰め込んだ300秒。再放送8/22・24：52～、23・17：22～、24・12：22～、26・11：52～
	フジテレビ721	K-1 WORLD GP 2002 決勝戦（再）	25：00～29：00	02.12.7『K-1 WORLD GP 2002 決勝戦』。アーネスト・ホーストVSジェロム・レ・バンナほか
8/22（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	キックの星	23：00～24：00	8/18を参照。　再放送8/23・11：00～、24・26：00～、25・15：00～、26・9：00～と27：00～、28・16：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	24：00～25：00	スポーツ・アイESPNと同内容
	フジテレビ721	k-1 BIBLE'02　10th Anniversary（再）	25：00～26：20	『K-1 WORLD GP 2002』王者、アーネスト・ホーストが栄冠を勝ち取るまでの1年間を試合、インタビュー、秘蔵映像などで構成
	フジテレビ	SRS	25：40～26：10	➲P69
	フジテレビ721	K-1 BIBLE 外伝02　2002ベストバウトランキング（再）	26：20～28：20	壮絶な闘いが多数繰り広げられたK-1 WORLD GP 2002のベストバウトランキングを紹介
8/23（土）	BS朝日	ワールドプロレスリング　完全版	15：30～17：53	7.21月寒グリーンドーム大会。高山善廣VS蝶野正洋ほか
	GAORA	角田信朗チャンネル～魂のもと～	18：00～19：00	「愛と涙と感動の浪花男」K-1戦士・角田信朗を応援していく番組。格闘技界そしてタレントとしても活躍する角田信朗の素顔に迫る。再放送8/24・16：00～、28・8：00～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～26：40	『G1クライマックス』特集（前編）
8/24（日）	Jスカイスポーツ2	SHOOT 3/60	13：00～14：00	8/20のJスカイスポーツ3を参照。再放送8/28・26：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　DEEP	19：00～21：00	6.25『DEEP 10th IMPACT』後楽園ホール大会。桜井"マッハ"速人VSデイブ・メネー戦ほか。再放送8/25・25：00～
	スカイA	格闘Xパンクラス	20：00～21：00	パンクラスの大会情報や出場選手紹介をはじめ過去の大会についての選手インタビューなど、パンクラス情報満載
	GAORA	K-2カラテエクストリーム	23：30～24：30	7.21『第73回新空手道交流大会』
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	25：25～25：55	8.23後楽園ホール大会
8/25（月）	Jスカイスポーツ1	プロフェッショナル修斗2003	15：00～18：00	8/20のJスカイスポーツ2を参照
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	22：15～23：45	1970年代以降の新日本プロレス格闘技全盛期を振り返る。79.12.6WWF認定ヘビー級選手権　バックランドVSアントニオ猪木戦ほか
	スカイA	格闘Xパンクラス	23：45～24：15	8/24を参照
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	24：15～26：15	5.18横浜文化体育館大会。菊田早苗VS近藤有己ほか
8/26（火）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	22：15～23：45	8/25を参照。80.2.1長州力＆アントニオ猪木VSアレン＆スタン・ハンセン戦ほか
	スカイA	格闘Xパンクラス	23：45～24：15	8/24を参照
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	24：15～26：15	6.7ディファ有明大会。KEI山宮VSニルソン・デ・カストロほか
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	8.10『PRIDE GP 2003 開幕戦』速報（後編）
	フジテレビ	WWEスマックダウン	25：28～26：28	8/19を参照
8/27（水）	GAORA	全日本キックボクシング	21：00～23：00	➲Pick Up③
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	22：15～23：45	8/25を参照。80.2.7アントニオ猪木VSスタン・ハンセン戦ほか
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	23：00～23：30	8/20を参照。再放送8/28・20：30～ほか
	スカイA	格闘Xパンクラス	23：45～24：15	8/24を参照
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	8/20を参照

ON THE AIR 8/18～8/28

格闘技番組ガイド TV&RADIO

Pick Up 1 『試合中継 パンクラス』

FIGHTING TV SAMURAI！
8月18日（月）/16:00～18:00
8月19日（火）/16:00～18:00

7月27日、後楽園ホールで行われた『PANCRASE 2003 HYBRID TOUR』の昼夜興行を18日は昼の部、19日は夜の部に分けてオンエア！ 毎年恒例の『ネオブラッド・トーナメント2003』。今年は初めてミドル、ウェルター、フェザーの3階級で各4選手ずつ参加のトーナメントで争われた。実力伯仲の好勝負が繰り広げられる中、明日のパンクラスを背負って立つニューヒーローの誕生に注目すべし！ またトーナメント以外で行われたワンマッチでは、昼の部でヘビー級王者の髙橋義生が、昨年12月に不覚をとった小澤強を相手に「20秒以内でKOして、病院送りにする」という予告つきで防衛戦に挑み、そして夜の部では現ミドル級王者のネイサン・マーコートがライトヘビー級に階級を上げてKEI山宮と激突するなどこちらのほうも目が離せないぞ！

Pick Up 2 『プロフェッショナル修斗2003』

Jスカイスポーツ2
8月20日（水）/12:00～15:00

8.10横浜文化体育館で開催の修斗3大タイトルマッチを3時間の拡大版で放送！ メインは、五味隆典VSヨアキム・ハンセンのウェルター級チャンピオンシップ。タクミ、佐藤ルミナを撃破し猛威をふるうハンセンをあえて五味本人が挑戦者として指名。これが吉と出たか、凶と出たかは試合を見てのお楽しみ！セミでは、ライト級不動の王者ペケーニョ（ノゲイラ）が過去に1度対戦経験のあるパーリングと対戦。ペケーニョの必殺ギロチンチョークが炸裂するか、それともパーリングの強烈な打撃が火を噴くのか、一瞬たりとも気の抜けない展開となるはず！ そしてフェザー級サバイバートーナメントの覇者・松根良太は、ベテラン王者の大石真丈に挑戦。フェザー級世代闘争もいよいよ完結となるか、注目だ！ 例年以上に充実した夏の横浜大会は、まさに必見！

Pick Up 3 『全日本キックボクシング』

GAORA
8月27日（水）/21:00～23:00

8.17後楽園ホールで開催された『HURRICANE BROW』の模様をオンエア！ 6月大会でムエタイ王者ガオランの迎撃を直訴した佐藤嘉洋が、いよいよそのガオランと自身が持つベルトを賭けて激突！ ここできっちり結果を残して、飛躍することができるのか、要注目だ！ そしてもう1つの注目カードがバンタム級王座決定戦、藤原あらしVS平谷法之の一戦である。"驚異の17歳"平谷の唯一の黒星は、藤原に敗れた時のもの。この借りを返すべく復讐に燃える平谷と、無敗街道を突っ走って一気に王座獲りを狙う藤原の対決は、キック界に新たなる歴史の1ページを刻むことになるだろう。これまで小林聡、大月晴明、花戸忍らのタレントが集まるライト級ばかりが注目を集めてきた全日本キックだが、この大会から今までとひと味違ったものを感じ取れるに違いない！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
8/27（水）	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	24：15～26：15	6.22梅田ステラホール大会。稲垣克臣VS國奥麒樹真ほか
8/28（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	8/20を参照
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：52～22：00	8/21を参照
	スカイA	ワールドプロレスリング 不滅の闘魂伝説	22：15～23：45	8/25を参照。80.4.4アントニオ猪木VSスタン・ハンセン戦ほか
	スカイA	格闘Xパンクラス	23：45～24：15	8/24を参照
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	24：15～26：15	船木ヒストリー#11

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00 土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

■Jスカイスポーツ
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

VIDEO & DVD
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介❶〉 It's HOT!

『い～よ。 片岡未来』

発売：フォーサイド・ドット・コム
DVD3,800円（税別）/発売中

暑さに負けるな！　これで元気を出せ！

サムライTVの人気番組『キックの星』（毎週金曜23:00～24:00放送）のMCでおなじみのアイドル、片岡未来の新作DVD写真集が待望のリリース！ 4作目となる今回は、沖縄ロケを敢行！ 透き通るほど綺麗な沖縄の浜辺ではしゃぎ回り、元気一杯の彼女。でも、時折見せる切ない表情に、きっとあなたも心を奪われるはず！ 強い日射しが照りつけるさとうきび畑では、少し恥じらいながらもドキッ！ っとするような大胆なポーズに挑戦！ あどけなさが残っていたこれまでの彼女のイメージとはひと味違った魅力を発見することができるこの作品。今なら初回限定特典として、香りつきサイン入りポストカードが封入されているということで、これはもう買うっきゃないでしょう！

〈新作紹介❷〉 It's HOT!

『SMACK GIRL 2003 vol.1』

発売：クエスト
DVD円5,600円（税別）/8月19日（火）発売

2003年上半期の激闘を総まとめ！

辻結花、しなしさとこ、久保田有希、渡邊久江、WINDY智美、と、様々な競技をバックボーンにした選手たちが力を伸ばし、女子総合という新しいジャンルも飛躍の時を迎えた。そんな彼女らが活躍している世界で唯一の女子総合格闘技大会『スマックガール』の2003年上半期の全27試合を収録。世界を視野に入れた今年は、あのジェラルド・ゴルドー率いるゴルドー軍団が来襲するなど、海外選手が続々参戦。海外の未知なる敵を迎え撃つ、しなし、久保田、渡邊らの闘いぶりは必見だ！ さらに“スマック版ヒョードルVSミルコ”と言われた辻とWINDYの頂上対決はハラハラ、ドキドキの息を呑むハイレベルな展開で一瞬たりとも目が離せないぞ！ これを見て今年上半期の『スマック』をおさらいしよう！

〈新作紹介❸〉 It's HOT!

『PRIDE.26 in YOKOHAMA ARENA』

発売：フジテレビ映像企画部、メディアファクトリー
DVD4,800円（税別）/発売中

男の中の男になりたきゃ見るべし！

6.8横浜アリーナで実に見事な“REBORN（再生）”を遂げた『プライド26』を完全収録！“髙田道場の超新星”浜中和宏が、デビュー戦でいきなりニーノ“エルビス”シェンブリを撃破、高瀬大樹がアンデウソン・シウバから一本勝ちを奪うなど、スタートからアップセット連発で会場のファンも大熱狂。セミでは、ミルコがヒーリングを相手に圧倒的な強さを見せつけ完勝。メインでは、敗れはしたものの藤田和之が王者ヒョードルに対し真っ向勝負を挑み、あわやという場面を見せる大健闘を演じたりと、始めから終わりまでフルスロットル状態で突っ走ったこの大会の感動と興奮は多くの人の心に刻まれるはず！ まさにこれは永久保存版として手元に置いておきたい逸品だ！

RENTAL RANKING（7/1～7/31調べ）

1. 『褐色の貴公子 前田憲作』 クエスト
2. 『THE CONTENDERS4』 クエスト
3. 『ボクシングスーパー教則ビデオ 初級編』 クエスト
4. 『シュートボクシング戦闘宣言4』 クエスト
5. 『最終兵器 数見肇』 メディアエイト

1位 『褐色の貴公子 前田憲作』
龍の魂、未だ衰えなし！

先月に続き、2カ月連続でランキング1位の座を守り抜いたこの作品。前田憲作のセンス溢れるキックテクニックを十分に堪能できるぞ！ 現在、フィットネスショップ水道橋では『前田憲作 キックスクール』を開講中ということで、そちらもぜひヨロシク！

『フィットネスショップ格闘技　水道橋店』

東京都千代田区三崎町3-6-13寺本ビル2F
☎03-3265-4646

ランキングにご協力いただいている格闘技ショップ『フィットネスショップ水道橋』では、8月24日（日）に『辻結花 レディースファイティングセミナー』を開催！ 女性限定のセミナーなので気軽に参加しよう！ 参加希望者はお早めに申し込みください！ 詳しいお問い合わせは上記まで！

SELL RANKING（7/1～7/31調べ）

1. 『髙阪剛 寝技大全 連続技＆カウンター篇』 クエスト/5,600円（税別）
2. 『スマックガール JAPAN CUP 2002』 クエスト/5,600円（税別）
3. 『COMBAT WRESTLING 10th ANNIVERSARY』 クエスト/5,600円（税別）
4. 『修斗 1997-1999』 クエスト/10,000円（税別）
5. 『Dynamite！』 東映ビデオ/9,800円（税別）

1位 『髙阪剛 寝技大全 連続技＆カウンター篇』
世界のTKが徹底解説！

テクニックビデオとして、ロングヒットとなっている“世界のTK”こと髙阪剛の『寝技大全』シリーズ。シリーズ完結編となるこの作品は、上級者向けテクニック、実戦を想定したTKが身に付けている全ての技を完全収録！ TKの分かりやすい解説付きでこれは必見！

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介！

〈おすすめグッズ❶〉 Recommend

『浅草キッドTシャツ2003』
グレート・アントニオ/3,500円（税別）

今年も大ヒット御礼!!

今年も出ました『浅草キッドTシャツ2003』。そして、またしても発売と同時に大ヒット！ ますますキッドにそっくりなデザインがかなりウケてます！ 白、黒ともに在庫数が残りわずかとなってきましたので、お求めになりたい方はお急ぎください！（カラー：白、黒 サイズ：XS～XL）

〈おすすめグッズ❷〉 Recommend

『復刻版KOJIMA Tシャツ』
グレート・アントニオ/4,000円（税別）

祝・火祭り優勝！ 祝・結婚！

見事、火祭り03優勝、そして結婚とWオメデタの小島聡選手。これを記念して、ただいまグレート・アントニオ店内では、数量限定で『復刻版KOJIMA Tシャツ』を販売しちゃってるぞ、バカヤロー!! 大人気の小島Tシャツをゲットできる最後のチャンスを見逃すな！（カラー：白のみ サイズ：XS～XL）

グレート・アントニオ
スタッフ 臂武史

『ただいま、グレート・アントニオ店内でSUMMER SALEを大開催中！ 格闘技Tシャツ、フィギュアなどをナント！ 1,000円から販売中です！ 数に限りがございますので、みなさん、お早めにおこしください!!』

グレート・アントニオ
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル1F
☎03-3219-9550
通信販売受付 ☎03-3295-4450 or 0570-007800
HPアドレス http://www.great-antonio.jp
営業時間/11:00～20:00（月曜定休）
通信販売受付/10:00～18:00（月～土曜）

GOODS RANKING

1. 『ファスティング・ダイエット』 杏林予防医学研究所/18,000円（税別）
2. 『浅草キッドTシャツ2003』 グレート・アントニオ/3,500円（税別）
3. 『マルチミネラルビタミン』 杏林予防医学研究所/7,000円（税別）
4. 『元気ですか！ ジュース』 杏林予防医学研究所/4,800円（税別）
5. 『グレート・アントニオ猪木Tシャツ（type.D）』 グレート・アントニオ/4,000円（税別）

1位 『ファスティング・ダイエット』
保坂尚輝さんも御推薦!!

先日、TBS系列の番組『ディスカバ！99』にて俳優の保坂尚輝さんが、当店で販売の『ファスティング・ダイエット』を体験した結果、2週間で6キロの減量に成功したことを告白!! みなさんもぜひ、試してみてください！

INFORMATION
飛び込み情報

吉田秀彦、第2回&第3回VIVA JUDO開催決定&オフィシャルブック『道-DO-』発売！

6月29日に行われ大好評だった吉田秀彦柔道教室『VIVA JUDO』の、第2回、第3回の開催が早くも決定した。第2回は、前回同様、世田谷区駒沢の講道学舎で行い、第3回は八王子の片柳学園日本工学院八王子専門学校で行う。

柔道衣をレンタルで貸してもらえる上に、会費も無料ということで、まったくの初心者という子供たちが、お父さんやお母さんに連れられてたくさん集まっていた第1回『VIVA JUDO』では、五輪金メダリスト・吉田の柔道教室を体験し一様に「楽しかった」と笑顔を見せていた。前回体験できなかった方、ぜひ参加してみよう！

第2回『VIVA JUDO』実施概要
■開催日時／2003年9月7日（日）13:00～16:00
■対象／小学校1年生～6年生の柔道初心者
■定員／100名 ■会費／無料
■柔道衣／レンタルにて無料貸し出し
■場所／（財）日本柔道育英学会 講道学舎柔道場
住所：東京都世田谷区駒沢3-27-9
最寄り駅：田園都市線 桜新町 徒歩7分

第3回『VIVA JUDO』実施概要
■開催日時／2003年10月12日（日）13:00～16:00
■対象／小学校1年生～6年生の柔道経験者及び初心者（男女不問）
■定員／400名 ■会費／無料
■柔道衣／レンタルにて無料貸し出し
■場所／片柳学園日本工学院八王子専門学校
住所：東京都八王子市片倉町1404-1
最寄り駅：JR横浜線八王子みなみ野駅 西口よりシャトルバス 約7分

■申し込み／J-ROCK（ジェイ・ロック）
Tel. 03-3414-9000 Fax. 03-3414-4455担当：日浦、宮本、丹（当日の緊急連絡先090-1541-3667）

吉田秀彦オフィシャルブック 道 -DO- 絶賛発売中！

撮 影：山岸伸
発売元：双葉社
価 格：2,000円（税別）
版 型：B5変型並製 192P

吉田秀彦が柔道への思い、プロ転向の決断、プロ転向後の3連勝についてなど、語り尽くしているエッセイと山岸伸撮影による初公開写真がふんだんに盛り込まれたオフィシャルブック。温泉でのオフショットなどもあり、ファンにはたまらない一冊！

Et cetra

全米で話題騒然の格闘ゲーム！『DEF JAM VENDETTA』発売！

世界NO.1ゲームソフトメーカー、エレクトロニック・アーツ（イーエー）株式会社が、世界最大級のヒップホップレーベル『Def Jam』のアーティストがリングを所狭しとあばれまわるプレイステーション2対応の格闘ゲーム『DEF JAM VENDETTA』を8月21日（木）より発売！　このゲームは全米で4月に発売以来、すでに50万本以上のセールスを記録！　今回発売される日本版には、『Def Jam Japan』の第1号アーティストであるDABOやS-WORDもキャラクターとして登場！　さらに熱い仕上がりになっているぞ！『DEF JAM VENDETTA』は、オリジナルキャラクターや『Def Jam』アーティストなど全部で48名のキャラクターを操って格闘する、音楽と格闘技のコラボレーションという新しい境地を開拓！　アメリカ特有の迫力あるエンターテインメント性をベースに、ストリートファイトの要素まで取り込んで、ド派手なファイトを繰り広げるぞ！格ゲー好きにはもちろん、ヒップホップ好きにとってもたまらないゲームの登場だ！

【製品概要】
◆タイトル/『DEF JAM VENDETTA』
◆ジャンル/格闘アクション
◆対応機種/プレイステーション2
◆プレイ人数/1～2人用（マルチタップ使用最大4人）
◆発売日/8月21日（木）
◆予定小売価格/6,800円（税抜）
◆対象年齢/12歳以上
◆収録アーティスト/DMX、LUDACRIS、METHODMAN、REDMAN、WC、N.O.R.E.、SCARFACE、KEITH MURRY、JOE BUDDEN、FUNKMASTER FLEX、DABO、S-WORDなど総勢12名
◆収録曲/ヒップホップ・クラシックと呼ばれる"Fight The Power"から最新のパーティー・チューン"Party Up"まで全19曲収録
◆お問い合わせ/カスタマーサポート係☎03-5436-6400

▲超クールな格闘ゲームだぞ！

パンクラスよりお知らせ3連発！

【ファンクラブイベントレポート】

7月19日、恒例となっているアミューズメントパークでのファンクラブイベントを今回は浅草『花やしき』で開催！イベントには、パンクラスismから伊藤崇文、近藤有己、渡辺大介、窪田幸生、北岡悟の5選手、パンクラスGRABAKAからは佐々木有生、三崎和雄の2選手が参加。有名な『ローラーコースター』に乗るグループもあれば、絶叫系の乗り物が苦手な選手もちらほらおり、そんな選手やファンのグループは『スワン』や『スカイシップ』などの可愛らしい癒し系の乗り物に乗ることで、参加者それぞれが楽しい時間を過ごした。イベント終了後は、花やしきに残って遊ぶグループや、浅草寺や仲見世通りを散策するグループがいたりと、各々が浅草を満喫した模様。ちなみにファンクラブ『HYBRID CLUB』では、選手を身近で感じることのできるこのようなイベントを年3回行っている。ファンクラブ会員は随時募集中ということで、興味ある人は進んで参加してみよう！
◆お問い合わせ/『HYBRID CLUB』☎03-5792-0815

▲イベントでは選手の意外な素顔を知ることができるぞ！

【山田学の整体施療院オープン！】

P'sLAB東海 山田塾を主宰している山田学が、整体施療院『B-PLUS』をオープン！　『B-PLUS』では、整体術で骨格の歪み、血液やリンパと神経の流れの補正、筋肉のバランスを取るなど本来の身体の自然治癒力を高める施療を行ってくれるぞ！　最近身体の調子がどうも良くないという人は、ぜひ山田先生のもとへ足を運んでみるべし！

◆施療院名/施療院『B-PLUS（ビープラス）』
◆場所/東京都豊島区巣鴨1-39-2（JR山手線、都営地下鉄三田線『巣鴨』駅より徒歩3分）
◆営業日/月～水、土・日　10:00～13:00、14:00～20:00
木・金　定休日
※施療は電話予約制
◆お問い合わせ/施療院『B-PLUS』☎03-5976-7366

【パンクラス練習生募集！】

現在、パンクラスでは練習生を募集中！　来たれ、未来のパンクラシスト！　キミの挑戦を待っているぞ！

◆応募資格/15～25歳までの心身共に健康優良で即入門可能な男子
◆必要書類/1.履歴書（最新の身長、体重、視力を必ず明記）2.上半身アップと全身（どちらも裸）の鮮明な写真各1枚
◆合否結果/書類選考後、合格者のみに通知
◆申し込み先、お問い合わせ/〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25（株）ワールドパンクラスクリエイト『練習生募集』係

ファイティングカフェ・コロッセオから楽しいイベント情報！

東京・水道橋にあるファイティングカフェ・コロッセオでは8月24日（日）、『辻結花 ファン交流会』を開催！食事会や過去の秘蔵ビデオ上映、握手会などいろいろな企画を用意しているぞ！　辻と一緒に、飲んで食べて熱く語れる絶好のチャンスを見逃すな！

◆日時/8月24日（日）17:00～19:30
◆場所/ファイティングカフェ・コロッセオ（JR総武線水道橋駅より徒歩2分）
◆会費/5,000円（料理プラス飲み放題付き）
◆お問い合わせ/ファイティングカフェ・コロッセオ
☎03-3512-0522
ホームページ
http://www.colosseo.jp

▲辻にとっては初めてのファン交流会だぞ！

シーザージムリニューアルキャンペーン開催中！

シュートボクシング協会シーザージムが、ジム3階部分で開業するシーザーフィットネス治療院のリニューアルに合わせ、期間限定キャンペーンを開催するぞ！　なお、キャンペーン期間中は無料体験セミナーも行うので、興味のある人は気軽に参加してみよう！　もちろん初心者の人から女性やチビッコまで、どなたでも大歓迎！

【リニューアルキャンペーン概要】
◆期間/8月18日（月）～　※定員数になり次第締め切り
◆キャンペーン対象/新しく入会される先着43名
◆特典：1.入会金（一般会員20,000円　レディース会員10,000円　キッズ会員5,000円）、ビジター料金（3,500円）を免除
2.本誌100号を持参すれば記念品がもらえる！

【無料体験セミナー】
◆日時/土井広之セミナー8月23日（土）14:00～
宍戸大樹セミナー8月29日（金）18:00～
◆場所/シーザージム（東京都台東区花川戸2-2-8）

◆全てのお問い合わせ/シーザージム☎03-3843-1212

格闘技ファンのためのサークルイベント開催！

I.Nパーティー事務局では、8月24日（日）に第2回格闘技ファンサークルイベント『ボーリング大会＆飲み会』を開催！このイベントは、格闘技ファン同士が親睦を深め、一緒に試合観戦できるような仲間を見つけることを目的としており、6月に開催された第1回イベントも大好評！　新しい出会いを求めている格闘技ファンの人は、ぜひ参加してみるべし！

◆日時/8月24日（日）
ボーリング大会16:00～、飲み会19:00～
◆場所/ボーリング大会：東京ドームボーリングセンター
飲み会：東京グリーンホテル後楽園
◆参加資格/社会人限定
◆参加費/男性・女性ともに実費（ボーリングのみ、飲み会のみの参加も可）
◆締め切り/8月23日（土）必着
◆申し込み、お問い合わせ/I.Nパーティー事務局☎03-5304-4402（受付時間 9:00～23:00）、FAX03-5737-0589（24時間受付中）、メールアドレス inparty@ybb.ne.jp（24時間受付中）

『勇健塾 第9回西日本グローブ空手道選手権大会』結果

■軽量級

優　勝	原祐児	（拳之会）
準優勝	高木義信	（実践会館）
第3位	嶋宮隆造	（勇健塾）
第3位	池田龍二	（勇健塾）
敢闘賞	山下真吾	（照道会館）

■軽重量級

優　勝	国友瑛二	（無名塾）
準優勝	上西智一	（真武会）
第3位	藤田智也	（智拳塾）
第3位	上原大和	（遊真道場）
敢闘賞	中西重明	（無門塾）

■中量級

優　勝	山崎良一	（勇健塾）
準優勝	菊川順司	（武勇会館）
第3位	山下和男	（ひめじSBジム）
第3位	山下基大	（拳之会）
敢闘賞	白神武央	（拳之会）

■重量級

優　勝	岸田知幸	（フリー）
準優勝	松田典人	（正道会館）
第3位	松本行夫	（勇健塾）
第3位	枝木貢	（香川大学格闘同好会）
敢闘賞	久門克史	（拳武道会館）

▲入賞者のみんな、おめでとう！

宇月田麻裕の北斗占い®

Mahiro Utsukita

破軍　武曲　廉貞　文曲　貪狼　禄存　巨門

8/18～8/27

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の１つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の１つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が現れる。

北斗本命星早見表（ホクトホンミョウジョウ）

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンゴク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです
武曲（ブゴク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

破軍星

全体運
吉兆星が輝いています。絶好調になり、順調に物事が進む暗示。仕事で大きな賭けに出たり、新しいスポーツにチャレンジだり、チャンスを生かしてみよう。目標を立てて邁進していけば、予想以上の成果を得られる可能性あり。

恋愛運
運命的な出会いの予感。旅先やイベントで「この人だ」と思ったらアプローチ！　カップルは、周囲の人たちが盛り上げてくれる時。グループ交際が○。

勝負運　良い流れに乗って勝利をゲットできそう。

健康運　筋トレの効果で心身ともに自信がつく時。

金運　自分の信じる金融商品に投資してみて○。

★ラッキーカラー★　レッド
★ラッキーアイテム★　枝豆
★ラッキースポット★　ビアガーデン

武曲星

全体運
決断力を試される時。現状には満足していないけど、リスクを恐れて新しいチャレンジができないでいるよう。事前のリサーチをした上で、思い切って違う環境に飛び込んでみては？　協力者が現れて、良い方向に導いてくれる暗示。

恋愛運
彼女を知らないうちに傷つけているかも。不用意な言動には気を付けて。フリーは、近くに素敵な人がいる予感。ビジュアルにとらわれず中身重視で探して。

勝負運　強敵でも挑戦し続ければ勝つ可能性あり。

健康運　脱水状態にならないように水分補給をして。

金運　サイドビジネスはＮＧ。欲を出さないで。

★ラッキーカラー★　オレンジ
★ラッキーアイテム★　ミネラルウォーター
★ラッキースポット★　サッカースタジアム

廉貞星

全体運
会社で上司と意見が合わなかったり……、壁にぶつかり、落ち込むことがありそう。もしかしたら、あなたの理想が高すぎるのかも？　軌道修正をしたほうがうまくいきそうなので、できることからクリアに。次第にパワーが回復！

恋愛運
アプローチする前に、あなたに「ふさわしい相手」かどうかをチェック！　高望みは禁物。カップルは、彼女の長所に目を向ける努力をしないと破局の危機……。

勝負運　カンを信じすぎると痛い目に遭いそう。

健康運　夜ふかしで体調を崩さないよう注意して。

金運　通帳、カードの管理はいつもより慎重に。

★ラッキーカラー★　ラベンダー
★ラッキーアイテム★　目覚まし時計
★ラッキースポット★　コンビニ

文曲星

全体運
努力の結果が評価され、ハッピーな気分を味わえる時。仕事では責任ある仕事を任されたり、格闘技ではさらに上達の可能性が……。周囲から頼りにされる存在になり得るので、ここで真摯に対応しておけば、さらに評価がＵＰ！

恋愛運
手が届かないと思う女性でも、本気なら積極的にアプローチしてみよう。夏の暑さも手伝って奇跡が起こる可能性も…。一途な気持ちが届くかもしれません。

勝負運　データを整理することが勝利への近道。

健康運　やや夏バテ気味。昼寝をすると良さそう。

金運　学習や研究のための自己投資はグッド。

★ラッキーカラー★　シルバー
★ラッキーアイテム★　サプリメント
★ラッキースポット★　海辺

禄存星

全体運
物事をジックリ考えるのに良い時。不安を感じていることがあるなら、今こそそれをハッキリさせるべし。ひとつ一つ自問自答していけば、今後の方針も決まり、徐々に安心材料が見付かるハズ。焦らず長期戦の覚悟で取り組もう。

恋愛運
すれ違いが多くなり、ちょっと不穏なムード。電話やメールでまめに連絡を取って。フリーは、昔の彼女を忘れ、新たな恋をスタートさせる勇気を持って。

勝負運　平常心がポイント。暑くても頭はクールに。

健康運　午後の外出時には熱中症に気を付けて。

金運　交際費が増えそうだけどケチらないで○。

★ラッキーカラー★　ホワイト
★ラッキーアイテム★　冷奴
★ラッキースポット★　屋台

巨門星

全体運
将来を左右するような出来事が次々と訪れる暗示。問題を先送りするような逃げの姿勢は運気のダウンにつながるので、とにかくぶつかってみよう。成功すれば自信になるし、失敗してもその経験は、後できっと役に立つハズ。

恋愛運
彼女の浮気疑惑で、関係がギクシャクしそう。交際を続けたいなら、黙って見過ごすか、よく話し合い、お互いに悪かった点を直すかしていこう。

勝負運　速攻が勝利のカギ。迷わず向かっていこう。

健康運　早朝ジョギングをすると体力ＵＰできそう。

金運　投資情報はネットより口コミでゲットして。

★ラッキーカラー★　イエロー
★ラッキーアイテム★　ジーンズ
★ラッキースポット★　ライブハウス

貪狼星

全体運
凶兆星があなたの邪魔をします。ヤル気はあるのに、それに対する評価が伴わない時。実は、独りよがりの行動になり、そのパワーが空回りしている可能性が……。謙虚に人の意見を聞くようにすれば、状況は好転していくハズ。

恋愛運
マンネリ状態。刺激を求める夏だけに、うかうかしていると彼女を略奪されてしまいそう。旅行やペアグッズを購入して、ラブラブモード復活への努力を。

勝負運　苦手なタイプとの勝負はなるべく避けよう。

健康運　エアコンに頼り過ぎると体調を崩しそう。

金運　魔がさして衝動買いで失敗する暗示。

★ラッキーカラー★　ゴールド
★ラッキーアイテム★　ソフトクリーム
★ラッキースポット★　噴水

宇月田麻裕プロフィール
ハッピネスファクトリー代表。読売新聞連載、TBSテレビ「ワンダフル」出演など、新聞・雑誌・テレビなどで活躍中。NTT・Vポータル TEL.0570-0033-03「テレフオンナンバー占い」、「アジアン占術物語http://www.nifty.com/asian/、鑑定&占いスクール開講。著書「もっともわかりやすい宿曜占星術」(説話社）好調発売中。
URL:http://www.happiness-f.com　mail order@happiness-f.com

グレート・アントニオ PRESENTS　第8回

元気があれば何でもできる!

ヤマダ元気塾

予防医学講座

山田豊文｜文
TOYOFUMI YAMADA

私は前回、スポーツ選手にとっての「必須アミノ酸」ともいえるアミノ酸・タウリンを中心に、タンパク質全般の話をさせていただきました。

その中で、代表的な働きを7つほどあげましたが、そのうちのひとつである「有害物質を解毒・排泄する」が今回のテーマです。

日本では現在、世界でもっとも有害物質が多い国であると言われています。それがはじめて分かったのが、東京オリンピックの時でした。

体内のミネラルバランスをチェックする検査として毛髪分析というものがあります。東京オリンピックの際、この毛髪分析を実施したところ、日本選手の毛髪から水銀が一番多く検出されたのです。

当時は農薬に水銀が使われていたのと、日本人は魚をよく食べることが原因として考えられました。農薬に水銀を用いること自体は禁止になりましたが、その後もヒ素やカドミウム、環境ホルモンなど、有害物質の種類はどんどん増えています。それを私たちは知らない間に体の中に溜め込んでいるのです。

そういった現在の環境をふまえると、「解毒・排泄」という考えがいかに重要であるか、お分かりになるかと思います。

そして、取り込んでしまった有害物質は、とにかく速やかに排出するのが最善の策なのです。

人間の体はうまくできたもので、いくつかの解毒システムを備えています。

この解毒システムのひとつには、皮膚も大きく関係しています。それは発汗です。サウナ程度ではあまり期待できませんが、トレーニングやゲームを通じて大量に汗をかくスポーツ選手は有害物質を排出しやすいと言われています。

毛髪や爪、角質層などにも言えますが、新陳代謝を繰り返して外に排出していく作用があるものは、解毒の機能を担っています。少しゾッとする話になりますが、女性にとっての最大の解毒は「出産」ということになります。

次に分子栄養学と関連が深い、3つの解毒システムをあげます。

①肝臓での酸化による分解…食品添加物、薬、アルコールなど、体にとっての異物が浸入してきた時には、最終的に肝臓が解毒する

←

・解毒時に大量に発生する活性酸素から体を守る抗酸化栄養素が重要

←

・ビタミンA（ベータカロテン）、ビタミンC、ビタミンE、亜鉛、銅、マンガン、鉄、SOD様作用物質

②腸での毒物吸収をブロックする

←

解毒は現代人の最大のテーマ

・腸のバリアをしっかりした状態に保つ

←

・腸を腐敗させるタンパク質をしっかり分解する

・善玉細菌優位の状態を保つ

←

・ファスティング、酵素、乳酸菌

③別の物質との結合による排泄の促進…体内に入ったミネラルは、アミノ酸と結合した形で運搬される

←

・この性質を利用して、有害ミネラルの吸着性（キレート力）が強い含硫アミノ酸（硫黄を含んだアミノ酸）を多く含んだ物質を体内で合成する

←

・メタロチオネイン

特に、有害重金属の解毒には、③が大きくかかわっています。

メタロチオネインは、「金属に結合する硫黄を含むタンパク質」という意味で、その中にはシステインというアミノ酸が30％も含まれます。

カドミウム、水銀などの毒性の強い重金属が体内に入り込むと、腸管内でシステインと亜鉛、銅を原材料にメタロチオネインが合成され、有害重金属を無毒化します。

システインは非必須アミノ酸で、炭素と窒素が非必須アミノ酸のセリンから供給され、硫黄はメチオニンから供給されて、体内で合成されます。

システインの原料になるメチオニンは動物性食品に豊富ですが、納豆や高野豆腐、ゴマ、全粒穀物などにも比較的多く含まれ、キャベツの場合、芯の部分など色の白いところにシステインが多く含まれています。

また硫黄の化合物である硫化アリルは、ニンニク、ニラ、ネギ、玉ねぎなどに多く含まれています。

みなさんも、「においの強いアミノ酸」を積極的にとっていただき、解毒に役立ててください。■

解毒のポイント

- 抗酸化栄養素
- ファスティング
- 乳酸菌
- 酵素
- メタロチオネイン

プロフィール

杏林予防医学研究所所長
医学（分子栄養学）博士

1949年生まれ。ガンの治療法として米国ではよく知られるゲルソン療法など、野菜ジュースを使った体質改善に早くから着目。その効果について研究を重ね、予防医学理論に基づいた独自のジュース断食法「ファスティング」を確立。単なるダイエットとは一線を画した美容や健康管理の手段として、多くの著名人やスポーツ選手から絶大なる信頼を得ている。わかりやすく明快な指導が人気で、読売ジャイアンツの宮崎キャンプでの講演や『おもいッきりテレビ』への出演など、各方面で活躍。また、アントニオ猪木氏、長嶋茂雄氏、メジャーの新庄剛志選手や読売巨人軍の原辰徳監督、工藤公康投手、広島東洋カープの前田智徳選手など、数多くのプロスポーツ選手の栄養指導も積極的におこなっている。

イラストレーション＝松本晴夫

ザッツ・ムチャリブレ ㉜

山本隆司

独創的とは非模範なことなのだ

この夏、一冊の本を読んだ。山田宏一著『友よ映画よ、わがヌーヴェルヴァーグ誌』である。私にとって映画はかつて青春そのものだった。大学時代は完全な映画青年だった。

私が大学に入学したのは昭和40年（1965年）の春。フランスで〝新しい波〟として若手の優秀な映画作家たちが出現したのがちょうど1950年代の終わり頃から60年代の中頃のこと。

ジャン・リュック・ゴダールにフランソワ・トリュフォー、クロード・シャブロール、ルイ・マルなどをすぐに思い出すことができる。まあ、その中でも『勝手にしやがれ』を撮ったゴダールが、なんといってもヌーヴェルヴァーグの旗手といってもいいだろう。

ゴダールの凄いところは次の言葉を見れば、すぐに分かる。

「われわれが映画を撮ろうと思った時、すでに全てのことが試みられてしまっていた。もはや私には何も語るべきことが残されていなかった……」

どんなジャンルにおいてもクリエイティブな仕事にかかわるものは、すべからくこのゴダールの言葉を肝に銘じてやるべきだ。

本当にあらゆることは、みんな過去にやり尽くされている。この世の中に新しいことなんて、何ひとつあるはずがない。この認識を持てない人間は、物を作る仕事に向いていないと言っていいだろう。

これはプロレスにもあてはまることである。そうなると新間さん（新間寿氏）ではないが、温故知新こそ最後の生きる道なのだ。

ゴダールは自分なりの方法論として、モンタージュというかフィルムのつなぎを、ぶち壊した。それを〝ジャンプカット〟と言う。

カットとカットのつなぎをわざと、でたらめにしたのだ。それが映画のあらたな可能性への道を切り開くことになる。

まあ、そのことは別にして山田宏一さんは、ヌーヴェルヴァーグを定義して「彼らは映画の財産を古典を歴史を〝発見〟した。それをまったく無視して映画を撮ることはできなかった。すでに存在していた偉大な映画に対する批評的、歴史的自己形成をへなければ映画を撮るという行為に突入することはできなかったのだ」と。

この〝映画〟というところを私は〝プロレス〟という言葉に置き換えて読んでいた。

まったくそのとおりである。もうひとつゴダールについてジャック・リベットという人は「彼は最も独創的な、すなわち最も非模範的な映画作家」と言った。

ジャイアント馬場やアントニオ猪木は、存在が独創的であるがゆえに、それは人々にとって逆に模範には決してならないのだ。

突出した人間、別格的存在、際立った個性はそれ自体が、極限にまでいっていることであり、大衆は到達可能な限界点を見たり、感じたりすることを一つの喜びにしているところがあるのだ。

でも、それは普通の人々にとっては、従うべき範例にはとてもならない。それはM・G・ル・クレジオの言葉である。

私はこの本を全部、プロレスにあてはめて読んだ。自信を持って読者にすすめたい一冊である。■

はみ出し ターザン情報 ターザン山本の「一揆塾」塾生募集中――大好評の「一揆塾」は、現在、毎週木曜日の19:30～21:00、場所は水道橋の闘道館で開講中。お問い合わせは☎03-3512-2080

スリー、ツー、ワン、ゼ〜ロワン！

あぶもぐ 名古屋場所 7日目

ABNORMAL★MOGUTAN

親方◎小松モグタン

おまえは男だ！ シンペイ・タナカ！

今号の金星

今号の金星

（シンペイ・タナカ・東京都世田谷区・？歳）
◆版画でお馴染みのシンペイ・タナカ氏の作品です。
夏と言えば、版画じゃぁ！

8月は金的撲滅月間！　格闘家の皆さん、試合中の金的攻撃には十分注意してください！　安武乃丸さんからのご提案でした。

感想文金星！

『格闘技心中』を読んで

文◎千葉県で生活している者

過ぎた日の夏の日って何なの……
ある人は闘魂三銃士時代のG1クライマックス
ある人は21世紀最大のイベントとされる国立での『Dynamite!』
再生と死を繰り返しながら、毎年、夏を転がり続けてきた
誰が言ったか、「もうプロレスは終わりである」と
ならば、終わりに向かってひたすら辿り着こうとしているのか
いつか見た夏の日のイリュージョン
夏の色がパステルカラーからモノクロームへと
モノクロームサマーを楽しむしかないの
破滅への道しるべ
21世紀、道しるべのないマット界
プロレス者と言われた人たちにとっては、そこに戦いがあれば
それが人生の道しるべとなり、心をも救済していた
模範解答を必要としないプロレス探しの観戦旅行
観たもの、感じたものが体の中を通り過ぎていくが
汝持っているフィルターを掃除すればまだまだ刺激してくれるものが引っ掛かる
しぶとさや　時代と旅する　夏の日

孤独な心に導火線によって火を着けてくれた1冊だと思いました。

◆ムチャクチャ自分に酔いしれています！　詩なのかなんか分かりませんが、気持ちよく書いていそうなので、この方に金星あげます！

工作部門の金星！

（安武乃丸・石川県金沢市・？歳）

◆ターザン缶バッジに対抗しての作品か？　濃すぎるぞ！

相撲部門の金星！

（小川徹・埼玉県八尾市・17歳）

◆いまや幕内で一番人気のある高見盛と旭天鵬の一番。高見盛の腰が浮いている！

イラスト部門の金星！

（本橋秀直・東京都羽村市・15歳）

◆謎のトルコ人と魔裟斗。トルコ人のインパクトは絶大でしたなぁ。

イグナショフはいつ見ても男前だなぁ♥♥　髪が少ない？　いいのいいの放っといてちょうだい!!　「胸毛フェチ」の私にとっては頭なんかハゲてても全然OKです!!　それにあのナルシストなところも好きですよ。もう強くて奇麗な男は何をしても許す♥
（米光ゆかり・東京都練馬区・33歳）
◆毎度馴染み変態お姉さんの米光さんです！

ホーストとイグナショフのインタビューは面白かった。特にイグナショフの「ベラルーシの人は毛量が少ない」という発言には驚かされた。
（嘉本眞輝・大阪府大阪市・18歳）
◆名古屋出身の某プロデューサーも髪の毛の量の少なさには悩んでいるようなんですが……。

フィリォVSベルナルドはカタブツ君の記事で溜飲が下がりました。私も最初からなんでこんな「昔の名前で出ています」みたいなカードを組むんだろう!?　と疑問に思っていたので。それをズバリ指摘してくれたカタブツ君に感謝です。ただ、ここまでハッキリ書いたカタブツ君の身が心配ですが……。カタブツ君、おまえも男だ！
（荒幡一夫・東京都武蔵村山市・39歳）
◆カタブツさんの身まで気遣ってくれて、アリガトー！

テリー&ターザンの表紙に非難続出！

な、なんだ、この表紙は!!!　行きつけの書店に本誌の発売日。視線はムサい男2人の表紙を素通りして戻った。どうやら、ターザンはSRS・DXを私物化し始めたらしい。テリーを引っ張り込み、自分の本の宣伝も兼ねて、次号（100号）まで雑談を続けるとはいい根性しているぜ。週刊ファイトでは、それを発想の転換と語っているし……。だが、俺はターザンが嫌いじゃない。総評では同感と思えることを書いているし（今号のフィリォのこと等）、生観戦は後部席で見るという姿勢もよいと思う（SRS、VIP席が入るのに身銭を切ってそうするのは凄い）。まあ、持ち上げるならはこのくらいにして、ジョシカク載せるなら、WWEのトーリー・ウィルソンを載せてくれ。俺はプロレスは嫌いだが、彼女は別だ。来年のドーム進出の際は、彼女を中心に頼む。
（ランペイジ・クロコップ・望・東京都新宿区・42歳）

表紙がテリー&ターザンというのはどうかと思いました。異様です。やめてください。
（滝浩臣・東京都板橋区・20歳）

99号のテリー伊藤氏&ターザン山本氏の表紙はインパクトがありすぎました。まるで危険物ですよぉぉ。思わず手に取るのをためらったほどです。
（春名義行・兵庫県明石市・36歳）

『プライドGP』前の号で、この表紙はないだろう。天才対談は隠し味的記事。それを前面に押し出すとは……。返本率上げたいのか!?
（荒幡一夫・東京都武蔵村山市・39歳）

テリーさんとターザンの2ショットはもう奇跡だ。明らかにヤケクソな表紙。これからも大いに狂ってくださぁぁぁい。
（三宅徳仁・大阪府大阪市・28歳）

テリー伊藤とターザン山本の対談は他に類を見ない独特の雰囲気を醸し出していました。それが嫌でしょうがなかった。
（嘉本眞輝・大阪府大阪市・18歳）
◆シュポー！　あの表紙を見て怒る人が大多数の中、なぜかいいという変わった人もおりました。とにかく、皆さん、悪夢だと思った方は忘れてください。

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　質問もOK！　強烈なぶちかましをお待ちしております。

あて先

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

シーザー武志の

侍の掟!!

チンケな悩みを打ち、蹴り、投げる!

こんにちは。『侍の掟』いつも楽しみにしています。質問です→男に甘えられません!! ついつい「アタシに付いてきな!!」的な態度をとってしまいます。甘え上手なオンナを見ると「ケッ」と思う反面、うらやましくもあります。これでは"かわいげ"がないのでダメですか?

(東京都 ねこや)

いや、いいんだよ、そういうのが。俺も甘えたい(笑)。

でも、基本的には俺は亭主関白だからね。思いどおりにならないとさ、え? アバラを折る? いや、それは昔の話でさ(笑)=前号を参照。でも、いいんじゃない、可愛げないの。この彼女は甘え上手な女がうらやましいって書いてるけどさ、そういうことするとストレス溜まるんじゃないの?

だから、彼女は僕らと一緒だね。S系だよ。サドのSでもあるしさ、シバくのSでもあるし、シュートボクシングのSでもあるんだよ。つまり、S・オブ・ザ・ワールドの住人だよ(笑)。だから、いいんじゃないのSの道。ふふふ。

お前の人生一刀両断!

男・シーザーの容赦なき壮絶人生相談!

上司の横暴に参ってます。自分勝手な企画を立てて、それを強引に押し進めていろんな人からヒンシュクを買っているのですが、本人は私物化してやったと開き直っています。もともとデタラメが売りの人なんでしょうがないんですけど、部下としてはどうしたらいいですか?

(東京都 はこぶ)

しょうがないんじゃない? 上司と喧嘩してみれば。ドンドンやったほうがいいよ。言いたいことは言ってその結果、どうかなるんだったらしょうがない。言わないでそのまま引くのもシャクに触るでしょ? 辞めるの覚悟で話すべきなんだよ。

俺自身の上司? 一回ありましたよ。横浜の廃棄物処理場で苦情処理係してたからね。読売新聞に苦情応対のキックボクサーってことで載ったことがあったけどね(笑)。その上司はちょっとパクられちゃったんだけど、このままここに居たら俺の夢は叶わないなってことで出所したところで話をして辞めさせてくれって言ったよね(笑)。だから、4年半ぐらいは勤め人をやってたよ。

仕事の内容? ヤクザが苦情を言ってくることが多かったんで身体を張った。その頃パンチパーマだったんだよ。これ(右の写真)でスーツを着てやってたんだよ(笑)。

この後だよ、シュートボクシングを始

第5回

rule of the S

聞き手◎中村カタブツ君

RULE OF THE S
侍の掟
男
シーザー武志

めたのは。だから、そういうちょっと怖い上司だったとしてもちゃんとサシで話すことが大事だね。サシ。これもSでしょ？ 大事だよ（笑）。今日は全部Sにこじつけるから。ワハハハ！

上司が仕事よりも女に狂ってどうしようもありません。昔は優秀な人だったんですが、いまや人妻のケツを追っかけることしか考えないでまったく仕事に身が入ってません。放っといたらいいんでしょうか？

（愛媛　鷹栖アキラ）

いや、俺も人妻好きだからね（笑）。アサ芸とか読んでるとさ、そういう好きものの人妻いっぱいいるからね。

アサ芸の奥さんがヌードになってるやつ、あれ、面白いよね。それ見ながら「バカじゃないの？ 旦那が見たらどうするんだよ。こんな女、最低だな」って思いながら、アサ芸を買ったら必ず見てる（笑）。

だから、人妻のケツを追っかけるのは良いことだよ。たぶん、この上司はセックスの楽しみを求めてるんじゃないの。人妻って割り切れるじゃん。口固いし。で、人妻も欲求不満が晴れていいんじゃないの？ だから、相乗効果でみんなが良くなるよ。でも、仕事に身が入らないっていうのはやり過ぎだろうな。そう思わない？（笑）。

でもね、人間っていうのは人の持ってるものを欲しがるよね。なんか、神秘的なんだよね。だって夫婦として仲良くしてるのを肉体で奪ってしまうんだよ。イヤらしいと思うよ。だから、これは女が悪いよな。結構好きものだよね。ホント、そう思わない？ 好きものってことでこれもSだよ（笑）。

男だってさ、正直でストレートでスケベでいいんだよ。全部Sですよ（笑）。

パンチパーマ時代は、苦情に来たヤクザを全部シバいていたね（笑）

僕はシーザー会長の大ファンです。シーザー会長は山口県生まれですけど、山口生まれの人ってターザン山本さんもそうだし、長州力さん、佐山サトルさんと凄い方々ばかりのような気がします。何かあるんでしょうか？ 変な質問で、すいませんがどうも気になってしまって。

（鳥取　スコット）

プロレスラーの大谷晋二郎もそうだよ。だから、〝凄い方々〟っていうより、おかしいと思うよ（笑）。

でも、俺はターザンさんとは話が合うんだよ。佐山とも合うよ。長州さんとも何回か会ったことあるけど、彼は偏屈だね。ちょっと挨拶した程度だけどなんか難しいね。大谷とは何回かメシを食ったりしてるけど、彼は普通。でも、リング上ではエライよな。

俺？ 俺は普通だよね。俺ぐらいさ、格闘技界で常識人はいないよ。いやぁ、過去についてはしょうがないよ（笑）。

それで、〝何かあるのか〟って言われても分からないよね。でもね、山口っていうのは元毛利藩で毛利は徳川に干されていたんだよ。そのアダを返そうとして時代を変えたんだよね。

だから、何かあるとすれば反骨気質なんだよ。長州さんも新日本を辞めて団体を始めたよね。佐山も自分でやってる。俺なんかもキックを辞めてシュートボクシングをやってる。山本さんも週プロ辞めたでしょ。大谷だって新日辞めたよ。みんな脱藩なんだよ。

部下を昇進させようとしたら断られてしまいました。責任を負わされるよりも好きなことをやっていたいそうです。昇進すればもっと好きなことができると思うんですが、なぜせっかくのチャンスを掴もうとしないのでしょうか。会長はこういう経験をしたことがありますか？ もしあったらどうしましたか？

（秋田県　カゴメ）

俺はこいつだったらプロになれるなって思って声をかけたら、「アマチュアでいいです」って言われたことはあるよ。寂しいけどしょうがないよね。

でも、俺は今思うんだけど、人生ってそんなに慌ててやる必要はないよね。その時は必死だけど、まっとうなことをコツコツやっていけば自然にチャンスは流れてくるような気がするんだよ。努力はしなきゃダメだよ。でも、夢があって自分が何かする時に必要なのは、自分の信念と意地と運があれば大丈夫だよ。

特に運に関しては自分の努力で引き寄せることはできるよ、生まれもってのものだけじゃなくて。運こそ努力だね。汚いね、ウンコそ努力って（笑）。だけど、これまで最後の最後で誰かに助けてもらってこれた俺の人生を考えれば運は努力で掴めるよ。そう思わない？ ■

どうだ、この壮絶な人生！ 善と悪とが渾然一体だからこそ、会長の言葉には真実があり、コクがある。こんなシーザー会長に君たちの悩みをぶつけてみたくないか？ 恋の悩みからイジメ問題、嫁舅問題に親にも言えない性癖まであらゆる苦悩をシュートしてくれるはず！

〈あて先〉

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F (株)ローデス SRS・DX編集部「シャイな悩みにそれシュート」係

衝撃ニュース!

訃報、ジャイアント落合、死去……

8月8日、16時30分、永眠……

7月31日、「ジャイアント落合、重体!」という衝撃的なニュースが流れた。怪獣王国のジャイアント落合は、7月28日午前11時頃、長州力率いるプロレス団体WJの道場で練習中、突如として倒れ込み、意識不明の重体に陥ってしまったのだ。症状は急性硬膜下血腫で、開頭手術を受けた後も、意識不明の状態が続き、多くのファンや関係者に心配されていた。しかし、このページの締め切り日である8月8日の夜、もっとも恐れていた悲報が怪獣王国より編集部にファックスされてきてしまった。「8月8日16時半、入院中の昭和大学病院にて永眠いたしました。享年30」。——ユニークな風貌とアグレッシブなファイトで、多くのファンを楽しませたジャイアント落合(本名:岡田貴幸)選手。本誌の取材の際にも、自ら奇抜なポーズを取ったりして、カメラマンやライターを笑わせていた姿を思い出す。編集部一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

▲ジャイ落が意識不明の重体という報道が流れた7月31日、佐竹は急きょ都内で会見を開き状況説明をしたが、佐竹自身もまだ事故が起こった時の状況が掴めていなかった

独特のキャラで人気を集めたジャイアント落合。所属する怪獣王国が活動休止状態になる中で、ジャイ落としてはプロレスラーへの転向を考えていたようだが……

須藤元気、通り魔にわき腹刺される!

8月6日、容疑者逮捕

7月24日夜、衝撃的なニュースが飛び込んできた。須藤元気が東京・渋谷の路上で通り魔に襲われたというのだ。幸いキズは浅く、翌日には須藤本人が会見を行い、元気な姿を報道陣の前に見せたが、本当に、今の世の中何が起こるか分からないと実感させられる事件だった。事件の概要を簡単に説明すると、24日午後11時前、ミニバイクに乗った男が、カッターナイフのような刃物で、5人の男性5人のわき腹や背中などを次々に切り付けて逃走。その襲われた男性5人の男性のうちの1人が須藤で、須藤はバイクに乗って帰宅中のところを、いきなり後ろから襲われたとのこと。神原雅行容疑者は「ムシャクシャしてやった」と供述しているそうだが、刺されたほうはたまらない。容疑者逮捕後、会見した須藤は「キズはもうふさがってます。恐怖心もとくにありません。被害者が増える前に逮捕されてよかった」と語った。夏休みは犯罪多発シーズン。皆さんもくれぐれもお気を付けて! ■

渋谷の「ヒト刺し」で悪名
通り魔逮捕
「むしゃくしゃした」神原
別々の時期に転落
5人に接点なし
派手な暴力行為
「何をするか分からない」と仲間

▲犯人は8月6日に逮捕された。このニュースはワイドショーなどでも大きく取り上げられた

渋谷を震撼させた通り魔事件。まさか、被害者の中に須藤元気がいるとは……

SRS DX
2003年8・28 臨時増刊号 No.100

発行・発売 株式会社扶桑社
〒105-8070
東京都港区海岸1-15-1
販売部 ☎03-5403-8859

協力 フジテレビジョン
フジテレビ出版

編集 株式会社ローデス
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
編集部 ☎03-3295-4445

発行人 渇賀主水

編集人 谷川貞治

DESIGNER 梅村あゆみ
岩村唯是
水町由美子
su・plex
溝口真穂
小林善夫
2in1
ナール企画
NORTON
野尻雅友

編集後記

▼猫の秘密基地を発見、有明フェリー埠頭にて。真夜中、原付でジリジリと走行中、1匹の猫をひき殺しそうになり停車。お詫びに菓子を与えたところ、茂みからゾロゾロと仲間が、計11匹。辺りは人気のない場所にもかかわらず何故。しばらく観察していると1匹がやたら擦り寄って来た。撫でてやるも、ふと『俺に発情しているのでは？』という思いにかられ不安になり、その場を去った。（野尻）

▼この間、取材で初めて六本木ヒルズに行った。実際に行ってみると「こんなもんかぁ」といった感じ。すっかりテレビ等の情報媒体に踊らされていた自分を恥ずかしく思う次第だ。それにしても、一番頭に来たのは複雑な構造のビルが多いことだ。デザイン重視で何も考えないで設計したのだろう。あれはハッキリ言って迷路だ。もちろん方向音痴の僕が迷子になったのは言うまでもない。（佐藤）

▼@ブブカという雑誌にある『本番の虎』という企画。審査員である虎たちのお眼鏡にかなうイチモツを持った人間は、虎の用意した女性と〝本番〟ができるのだ。その虎の1人としてターザン山本さんが登場。山本さんの暴れっぷりは付属のCDロムで確認できる。「俺はチ●ポのでかさにしか興味がないんだよ！」と叫んだり、SM好きの男をムチで折檻。まさしくクレイジーサマー……。（小松）

▼今さらだけど、CS多チャンネルってホント凄い。ウチはケーブルなんだが、こないだ戯れに〝見たい番組リスト〟を作ってみたら1日合計24時間を軽く超えてしまった。『タケちゃんの思わず笑ってしまいました一挙放送』とかやるんだもんなぁ……。まさかケーブルテレビの番組表が〝目の毒〟になるとは思わなかった。人間あきらめが肝心。そんなこと学んでどうするって話だが。（橋本）

▼東京に本格的な夏が来る10日ほど前、和歌山の南紀白浜に家族旅行に行ってきた。心配していた天気はバッチリ良好。やっぱりこれも普段の〝行いの良さ〟かな。たまにはこういうこともなくっちゃ！　白浜では釣りと海水浴とゴロ寝。こんなにゆっくりしたのは10年ぶり（新婚旅行以来）だろうか？　10年分の家族サービスで逆に疲れちゃったなんて言ったら、みんなに怒られちゃうよなぁ。（林）

▼夏のスタミナ料理としてキラー・カーンの店『カンちゃん』に行くべし。夏用のあっさりちゃんこは最高。1人前2千8百円でほかの店の3人分の量だ。モンゴリアンサラダなど一品料理もうまい。4人で行って飲んで食って1万6千円也。高くないぞ。歌舞伎町の2—27—12、新宿リービルⅡ5F。電話は3207—3217。行ったら必ず「ターザン山本の紹介です」と絶対に言うべし！（山本）

近藤VS
バーネットは
無差別級
タイトル戦！

全敗覚悟！
8・31パンクラス両国
危険すぎる全カード決定！

Ⓒ新日本プロレス

グラバカ、
最強軍団への試練！
菊田はUFC
常連と対戦

新日本の
秘密兵器、矢野通
ついに総合に
乗り出す！

有利と言えるカードは皆無！

10周年のパンクラスは祭りよりもバクチを選んだ

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR

全対戦カード

8.31（日）両国国技館

★ライトヘビー級（5分3R）

郷野聡寛〈パンクラスGRABAKA〉 VS ニルソン・デ・カストロ〈シュート・ボクセ・アカデミー〉

★第10代無差別級王者決定戦（5分3R）

近藤有己〈パンクラスism〉 VS ジョシュ・バーネット〈新日本プロレス〉

★ライトヘビー級（5分3R）

佐々木有生〈パンクラスGRABAKA〉 VS エバンゲリスタ・サイボーグ〈アカデミーア・ブドーカン〉

★ライトヘビー級（5分3R）

菊田早苗〈パンクラスGRABAKA〉 VS エルヴィス・シノシック〈マチャド・ブラジリアン柔術〉

★ミドル級（5分3R）

三崎和雄〈パンクラスGRABAKA〉 VS ヒカルド・アルメイダ〈ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー〉

★ミドル級（5分3R）

國奥麒樹真〈パンクラスism〉 VS クラウスレイ・グレイシー〈ハウフ・グレイシー柔術アカデミー〉

©Booker K

★無差別級（5分3R）

渋谷修身〈パンクラスism〉 VS 矢野通〈新日本プロレス〉

©新日本プロレス

★キャッチレスリング（5分2R）

鈴木みのる〈パンクラスMISSION〉 VS 飯塚高史〈新日本プロレス〉

全敗覚悟の8.31大バクチ! パンクラス最新情報

はみだしパンクラス　パンクラスismの謙吾の長期海外修行が発表された。スーパーヘビー級の謙吾には、これまで同体格の練習相手が不足していたこともあり、さらなる成長のためラスベガスにあるジョン・ルイスのジムに住み込みで練習、日本での試合の際はアメリカから参戦することになる。「1年間は向こうでやりたい。できればアメリカを拠点に」と謙吾。尾崎社長も「パンクラスUSAを作るくらいの気持ちで行ってほしい」と全面バックアップする

菊田　今回は一本勝ちしないと

「必ず一本取れるように頑張ります。シノシック選手は日本ではそんなに名が知れてないと思うんですけど、UFCの常連ですし、ジェレミー・ホーンという実力者から一本で勝ってるのが脅威ですね。フランク・シャムロックともいい勝負してますし。そろそろ一本勝ちしたいなというのはあるんですけど、ブラジリアンに近い寝技の実力を持ってる選手だと思うんで、かなり厳しい試合になると思ってます。長身なんで、同じ体重でもやりづらいってのがありますね。下からも得意ですし、しんどいですね。パスガードや一本取るのは簡単ではない。でもバンバン仕掛けていきます。UFCってことを考えると向こうのほうが有名ですし、これで自分の実力が分かると思います。一本で終えて、また次にタイトルマッチで強豪と当たれるように頑張りたいです。今回（グラバカの）4人とも厳しいですけど、これを乗り越えて、勝ってグラバカの存在をアピールしていきたいです」

ジョシュ　北斗神拳はムテキダ!

「総合格闘技を始めた時からパンクラスには注目してたよ。旗揚げ当初からビデオは見てる。近藤との試合は日本だけじゃなく、アメリカのファンにも満足してもらえる試合になると思う。近藤の試合はデビュー戦からほとんど見てるし、研究済み。凄い試合になると思うし、決してイージーな相手じゃない。デモ、ホクトシンケンハムテキダ。近藤はトップレベルのコンプリート・ファイターで、武器も多いけど、彼にはプロレスの経験がない。僕との試合では、彼にとってまったく予期しない技が出てくると思う。ボクが近藤を警戒するというより、彼がボクの技を警戒するように警告しておくよ。近藤が飛びヒザできたら“キャプチュード・バスター”で勝ちたいね。（体格差は意識する?）彼はセーム・シュルトにも勝っているし、関係ないと思うよ。ボクはシュルトほどデカくないから。近藤との試合が終わったら髙橋や渋谷、山宮ともやってみたいね」

近藤　新日本にベルトは渡せない

「（体格差は）今、体重別が主流ですけども、自分の理想とする闘いはそういうところではないと思っているんで。自分なりに、体重とは関係ない世界の闘いができるってのを。自分の中でちょっと自信があるんで、それを証明したいです。（バーネットの試合は）UFCのやつは全部見てます。新日の試合はまだちょっと、研究不足で見てないですけど。自分に似てるというか、場面場面で「自分だったらこうするな」というのが同じような攻撃で。話があった時はちょっと考えましたね、半日くらい（笑）。パンクラスを背負うという気持ちはあります、やる以上は。無差別級がパンクラスのリングでの最高峰だと思うんで、そのベルトを新日本のバーネット選手に持ってかれるとあまりいい気はしないんで、ぜひ自分が取って、巻きたいです。絶対、新日本のリングには持って帰らせないように。無差別のベルトには愛着もあるんで。前回、出してない新技があるんで、それで勝てれば」

まさか、ここまで危険なカードになろうとは誰も予想しなかったに違いない。全8カード、一つたりとも「パンクラス勢が有利」と言い切れる対戦はない。パンクラスは10周年の記念大会で、とんでもない大バクチをやらかそうとしている。

まず驚かされたのが近藤有己VSジョシュ・バーネット戦。身長差11センチ、体重差はなんと30キロである（近藤87キロ、バーネット117キロ）。これが近藤の希望だというからさらに驚愕だ。尾崎社長によれば、何人か対戦相手の候補を上げたところ、近藤が真っ先に選んだのがバーネットだったという。

「体重差は以前からクリアしたい課題だったんで。自分なりに、体重とは関係ない世界の闘いができるってのを証明したいです。ちょっと自信あるんで」と近藤。

しかもこの試合は、パンクラス無差別級の王座決定戦として行われることになった。今回よりパンクラスの階級は再編成。スーパーヘビー級（100キロ以上）が追加され、新・無差別級はパンクラスでの戦績にこだわらず、初参戦選手でも世界中で行われている総合格闘技の試合での実績によってランキング入りが可能。つまりパンクラスが認可する限り他団体でのタイトルマッチも可能なのだ。「無差別級のベルトには思い入れがある」という近藤は、タイトルの他団体流出を阻止できるか!?

“VS新日本”では、渋谷修身VS矢野通戦も危険なカードだ。まだヤングライオンに属する矢野だが、アマチュアレスリングでの実績はピカイチ。

高校時代はインターハイ、国体などで優勝、日本大学でも全日本学生選手権でフリー・グレコ両部門制覇など輝かしい実績を誇っている。加えて獣神サンダー・ライガー、中西学の総合格闘技特訓ではスパーリング・パートナーを務め、新日ロス道場でも練習するなど総合格闘技対策は充分と言えるだろう。

そしてグラバカ勢からは4人が出場し、いずれも世界の強豪とぶつかることになった。総帥・菊田早苗はオーストラリアのエルヴィス・シノシックとの対戦が決定。シノシックはUFCの常連選手でジェレミー・ホーンに一本勝ちしたことがあり、ティト・オーティズのタイトルにも挑戦。日本ではかつてK—1のリングでフランク・シャムロックと総合ルールの試合を行い、好勝負を繰り広げてもいる。一昨年12月以来一本勝ちがない菊田。今回もかなりリスキーな闘いとなるが、この辺で“寝技世界一”の証明を改めてしておかねばならないだろう。

また郷野聡寛はニルソン・デ・カストロ、佐々木有生はエバンゲリスタ・サイボーグ、三崎和雄はヒカルド・アルメイダと、それぞれパンクラスを破竹の勢いで席巻するブラジリアン軍団と対戦。世界水準のグラップラー集団を標榜するグラバカだけに、ここで是が非でも勝ち越しを狙いたい。

尾崎社長曰く「全敗覚悟」という今回のマッチメイク。この大会の結果次第で、11年目のパンクラスの戦力図、いや在り方そのものが大きく変わることになる。■

恒例の昼夜興行に見た

7/27Day&Night ダイジェスト

新鋭・中堅・ベテラン それぞれの存在感

撮影◎中島ミノル

見たか、尾崎！ 髙橋、怒りの拳で健在アピール！

▼昼の部メインは髙橋義生（ism）VS小澤強（禅道会）のヘビー級タイトル戦。昨年12月の対戦ではよもやの判定負けを喫した髙橋だが、今回は気力、コンディションともに最高潮。グラウンドで小澤をタコ殴りにし、1R終了後のインターバル中にドクターが試合続行不可能を宣告、TKOで王座防衛となった

▶試合後の記念撮影……ではなく、これは小澤のドクターチェック時のもの。「試合時間いっぱいまで殴り続けたかった」から「向こうの意欲を沸き立たせるため」にやったとか。ベテラン健在をアピールした髙橋は「どんどん年寄り扱いされて、引退に追い込まれるんじゃねえかって感じなんで。社長に僕で勝負してくださいって言いたいです。もっとオレに期待しろよって」。「見たか、尾崎と思ったかも」とは尾崎社長のコメント

▲開始と同時に小澤が速攻、水車落とし気味に投げられた髙橋だが、これは「受け身とか失敗してケガするのが嫌だったんで自分から投げられにいった」と余裕の構え。直後にパンチで倒してグラウンドへ。後はただただ圧倒

ネオブラッド、今年は3階級で開催 ism勢は全員1回戦敗退……

▶今年のネオブラッド・トーナメントは3階級で行われ、フェザー級では前田吉朗（写真向かって左）、ウェルター級では関直喜（右）、ミドル級ではプロ修斗参戦経験もある中西裕一（フリー）がそれぞれ優勝。ism勢は今年こそ優勝が責務だったが、ウェルター級のアライケンジ、ミドル級の中台宣、金井一朗と全員1回戦で姿を消した

◀3人の優勝者の中からMVPに選ばれたのは前田。大胆な打撃、守勢からのリカバリー能力、攻めに転じた時の爆発力など、それをとっても見応え十分のイキの良さだった。師匠・稲垣克臣が6月に引退したことは「意識しすぎないようにした」という前田だが、見事に花を添える形となった

《フェザー級》

- 志田幹〈P's LAB東京〉
- REIJI〈HYBRID WRESTLING武限〉
- 前田吉朗〈P'S LAB大阪 稲垣組〉
- 実原隆浩〈チーム品川〉

《ウェルター級》

- アライケンジ〈パンクラスism〉
- 飯田崇人〈A-3〉
- 関直喜〈フリー〉
- 花澤大介13〈総合格闘技道場コブラ会〉

《ミドル級》

- 中台宣〈パンクラスism〉
- 奥田正勝〈真武館〉
- 金井一朗〈パンクラスism〉
- 中西裕一〈フリー〉

▶ネオブラッド決勝と注目のワンマッチが並んだ夜の部。石川英司（グラバカ）VS門馬秀貴（A-3）のホープ対決は石川が3-0で判定勝利。長い手足を活かした門馬のガードポジションからの攻めをかいくぐり、石川が的確にパンチをヒットさせ続けた。結果的には判定となったが、常にパンチでフィニッシュを狙い続けた姿勢は称えたい

▲渋谷修身（ism）は本戦初出場の秋元駿一（慧舟會岩手支部）に判定3-0で勝利。体格負けしない日本人相手で渋谷が本来の能力を見せた形で、目まぐるしく動くポジションの攻防を常に制してパンチを打ち込んでいった

◀ミドル級王者ネイサン・マーコート（コロラド・スターズ）がライトヘビーに階級を上げてKEI山宮（ism）と対戦。下からプレッシャーを与え続けたマーコートだが山宮は動じず、パンチでの出血もあって山宮が3-0の判定勝ち

掣圏道と機関銃

初代タイガーマスク復活記念!!
掣圏道師弟座談会

祝! 初代タイガーマスク復活記念!!

9月21日、大田区体育館において初代タイガーマスクこと佐山サトルがザ・マスク・オブ・タイガーとして復活する。そして、その大会では佐山の全格闘技人生の集大成と言える武道・掣圏道が初披露されるのだ。倒れることなくパンチ、キックで相手を仕留めていくのが掣圏道の技術。まるでミルコ・クロコップのような闘いぶりが連想される、その武道とは何か。精神的支柱となる武士道精神とは何かに迫る。

撮影◎乾晋也　　聞き手◎中村カタブツ君(ブチ)

掣圏武芸大会トーナメント
侍募集

A B C D E F G H I J K L

礼儀・礼節
信・忠・節・義・勇・智・仁
武士道精神を誓誠できる者
<トーナメント出場に際し>
ルール説明、武士道理論、精神理論
佐山サトル総師範による講義5時間受講あり

▶7月28日に行われた会見で配られた衝撃のリリース！　なんと、9・21掣圏武芸トーナメントに参加するには、佐山サトルの講義を5時間も受講しなければならないのだ！

―先ほどの写真撮影は面白かったですね（笑）。

佐山 危ないよぉ。瓜田に刀を持たせてさ、僕にそんきょの姿勢を取らそうとしたからね。あれ土俵入りでしょ（笑）。

―やってほしかったですね（笑）。

佐山 カタブツ君がさ、犬の格好してしゃがんでくれたら着物着て横に立っても良かったよ。

―西郷隆盛（笑）。

佐山 そう、体型似てるからねぇ。うふうふふ。

―ということで相変わらずの佐山さんですが、今回タイガーマスクとして復活するんですよね。そして、そこでは掣圏道初のトーナメントも開催されると。

佐山 あのね、今度の大会は切腹の儀式も行われるから、それで話題持ちきりだもんね。試合どころじゃない。カタブツ君って人がね、切腹したいって志願してくれたからね（笑）。

―掣圏道のHPで勝手なことを書いてますよね、今。そろそろシャレにならなくなってきたんでやめませんか？

佐山 いい年して半ズボン履いてるような人は日本人として恥ずかしいから抹殺。うふふ。

―おっしゃるとおりですけどね（笑）。ともかく復活したタイガーマスクと、現岩手県議員のサスケさんの試合があって、しかも日本の武道精神が甦るという摩訶不思議な空間が楽しみですね。

佐山 今僕凄いよ、腕立てなんて昨日は240何回、足の運動も456回だからね。だんだんだんだん戻ってますよぉ。

―微妙な数字ですね（笑）。上半身脱ぐんですよね。そこに意気込みを感じますね。

4回じゃなくて月に5回、試合したこともあります（笑）――瓜田

佐山 逆に心配なのはね、「あれはタイガーじゃないよな、ヘラクレスだよな」って言われること。それが怖い。

―ワハハハ！ ヘラクレスタイガーは見たいですね（笑）。

佐山 まだ脂肪は付いてるけど取ったら凄い腹筋だから、今。

―空中戦を見せるってことですよね。

佐山 そうそう、空中戦ですよ。スペースフライングタイガードロップ！

―あれが出ますか！

佐山 分かんないけどぉ、もっと凄いこと考えてますから（笑）。

―新技？

佐山 もう名前も決まってるから。なんだっけ？ BOMA。

―BOMA。なんですか？

佐山 2万3千ポンド爆弾ですよ。原爆よりも強いやつ。その爆弾をボ～ンッて落としたら上空で爆発して辺りのものが全部なくなるって奴。

―ペンペン草も生えないような爆弾技。それをサスケさんに炸裂させる（笑）。

佐山 うん。BOMA弾が炸裂したら凄いだろうねぇ。うふふ。

―すいません、お弟子さんの桜木さんが笑ってますよ（笑）。

佐山 なにィ！

桜木 会場がなくなってしまいます（笑）。

佐山 そうだなぁ。ただ、不発もありえるからね。

―不発って（笑）。

佐山 だから、サスケ戦に関しては楽しいですよ、空中戦だから。昔の技も全部やりますよ。

―簡単に言いますね。ロープのスキ間をクルって回るやつもですか。

佐山 うん。でも、ロープの間にハマっちゃったらどうしよう。抜ける時にポンって音が出ちゃったらねぇ（笑）。

―ホントに相変わらずだなぁ。

佐山 プロレスのほうはファンのために楽しくやりますよ。でも、掣圏道のほうはキチンとした武道を見せますから。

―ということで今日は掣圏道の桜木さんと瓜田さんにも話をお聞きしたいと思ってます。

佐山 というか、2人に聞いて。もう最近しゃべりすぎて疲れちゃった。

―では、そもそも掣圏道とはどういった武道なんですか。

桜木 総合格闘技の闘いの中でいかにしっかりとした足腰で立っていられるかっていうバランスが大事なんです。今はタックルを食らったらそのままガードポジションに行くっていうのは定番じゃないですか。掣圏道は市街地の実戦を想定してるんで倒れちゃダメなんですよ。そのためにタックルを受けても投げられない強い足腰があり、そして打撃の部分に持ち込んで制すると。

―ミルコ的な格闘技だと思うと僕らは分かりやすいですね。

桜木 ただ、僕らはそれをキチンとした理論に基づいてやってますから。

―そこが違うと。瓜田さんはトーナメント出場が決定してますね。

瓜田 絶対に引きません、僕は。

―引きませんか。

瓜田 今回95キロくらいの選手が絞って出て来るわけじゃないですか。先生には「体重差あるけど大丈夫か？」って言われたんですけど、僕は全然問題にしてないんで。これまでも全然大きい選手ともやってますし。

―そうなんですよね、お二人共アルテ

だっていうのがありますよ。好きでやっ

来たんで。そういうことが当たり前って

イメットボクシングでは格闘技の常識をくつがえすメチャクチャな試合をやってるんですよね。だって、1ヵ月に4回ガチンコの試合してますよね、ロシア人相手に。

桜木&瓜田 いや、5回（笑）。

―ワハハハ！　5回！

瓜田 多い時で4日間で3試合でした。

―それで勝ってるんですよね。今そんなムチャクチャな人達っていないと思うんですけどね。

瓜田 でもやらされてると思ったらできないと思うんですよ。僕たちが望んでやってることなんで。

桜木 見てもらうためだけのプロとしたら1ヵ月に1回とか2ヵ月に1回の試合は物凄く大事ですけど、やっぱり先生の元にやって来て真の強さのみを追求していくと結果そういう形になりますね。

佐山 技術だけじゃなくてキチンとした精神論を構築してるからね。

―佐山さんが「やれ」って言ってるわけじゃないんですね。

桜木 いや、全然。

佐山 あのぉ、精神論を誤解してほしくないのは究極は自分に勝つということだけど、我々の場合は根底から自分に克つ精神を構築するということね。だから俺もね、この子たちが試合中に引いた時はことごとく怒ってたよ。

―佐山さんは修斗時代は竹刀でバンバン殴っていましたよね。

佐山 今、木刀だもん。6針とか7針とか縫ってるよぉ。

―ホント？

桜木 僕は縫わないで試合しました。

瓜田 僕は抜糸しないでそのまま試合しました。

―あなたたち大丈夫ですか？

桜木 丁度試合前だったんで、縫うとハゲができちゃうじゃないですか。それが嫌だったんで。

―気を使うところが違うよ（笑）。

桜木 プロとして身なりをしっかりと（笑）。

―やめようかなとか思いませんでした？

桜木 今、虐待だなんだってちょっと怒るだけで言われるじゃないですか。でも、それはそれを受けてる人間の感じ方であって。

瓜田 取り方ですね。

桜木 逆にそこまで怒るのは一つの賭けじゃないですか。たいがいの人はそこまでやらないですけど（笑）。

佐山 うふふ。

桜木 でも、そこまで賭けてきてくれてるっていう部分で嬉しいし、逆にそこまでさせてしまってる自分の悔しさって言うか、なんのために格闘技をやってるんだっていうのがありますよ。好きでやってるのに、そこまで情熱持ってやってくれてるのに返せないっていう自分の情けなさってありますよ。だから、そこを乗り越えようと思います。

▶拳銃を持った相手に襲われた時の対処の仕方

先生には木刀で殴られたこともあります２人とも（笑）――桜木

―木刀はしょっちゅうくらってたんですか？

瓜田 いやぁ。……ゴンッてくらったのは1回なんですけど、突つかれることはよく（笑）。

桜木 あとは竹刀ですから。

―たいしたことはないと（笑）。まあ、佐山さんは竹刀うまいですもんね。

佐山 うん！

瓜田 でも自分の甘さを初年度はよく痛感してましたけど。もう怒られてばかりで悔しくてしょうがなかったです。見返してやろうと。

―木刀で殴られた時、2人でどんな話をしたんですか？　キツいよとかなかったんですか？

桜木 いや、逆にそういう世界に憧れて来たんで。そういうことが当たり前っていうか……格好いい（笑）。

▶日本刀を持った相手に襲われた時の対処の仕方

―格好いい!?

桜木 やってること自体は自分の情けなさがあって、これでまたもう一皮むけるなって。精神的にどんどん追い込まれればそれを克服することでまた強くなれる。

―技術に関しては修斗の創始者である佐山さんですから最高のものがあると思うんですよ。だから、掣圏道の大事な部分というと精神論なんですね。相当叩き込まれたんですか。

桜木 叩き込まれるっていうよりも先生と一緒に話し合いをするんです。思想って無理矢理に押し込まれてできるものじゃないじゃないですか。

―普段どんな会話してるんですか？　例えばここに来るまでの間とかは？

桜木 日露戦争の話です（笑）。

佐山 危ないねぇ（笑）。

―ワハハハ！　興味のある方は掣圏道のHP（http://www.seiken-do.com/）を見ていただきたいんですけど、最近右翼っぽいですよね。

佐山 好きなように言って（笑）。でも、今の日本の現状を見て、礼儀礼節のない若者とか町人拝金主義の人間たちを見ておかしいなって思わなかったらバカだよね。昔の日本には武士道精神っていう崇高なものがあったのにアメリカの占領政策のスリーエス（スクリーン、スポーツ、セックス）で骨抜きにされたでしょ。見てみなよ、いま街を歩いてるヤツらのあのバカヅラ！

―そこで武士道精神を新たに構築したと。

佐山 どうやったら脳細胞が活性化されるかといったことまで医学的に研究して構築したものだからね。医者とかが見れ

初代タイガーマスク復活記念!!

掣圏道師弟座談会

ばなんでここまでやったのって分かると思うよ。だから、彼らは強いんだよね。

——実際問題、最近の選手は最後の最後で精神力がない感じがしますからね。

佐山　だから精神と言っても玉砕戦法でやっていくと、これは意味がないわけ。勝たなくては。ウチが構築している精神論とまるっきり違いますから。それは誤解しないように。

——桜木さんも瓜田さんもそれは理解してるわけですか。

佐山　だから、彼らは勝てるんでしょ。

瓜田　今まで賭けて来た覚悟っていうのを今度の試合で見せたいです。覚悟が他の選手とは違うと思うんで。

佐山　対拳銃用の試合も今後は考えてますからね（笑）。あのね、掣圏道は総合格闘技のために役に立つ、喧嘩のために役に立つ、そういうのもあるけれども、本当の太い幹は何のためにやってるかって言うと、日本復活のためにやってるわけですから、その精神のために我々は、武士道構築したんですよ。これまでは『葉隠れ』だとか、山岡鉄舟だとか、新渡戸稲造とかいろんな文献で武士道は出てますけれども、じゃあ武士道とは何かは定義されてないわけですよ。

——主君のためにと言われても理解しにくいですね。

佐山　それを現代の常識、世界的な常識に合わせて作ってきた真の武士道を現代の常識に合わせて作って体現して、定義づければどういうものになるかなって作っているのが掣圏道なんですよ。本来ならば、君が代を唱って靖国のほうに向かって、三十秒間の黙祷とかやりたいの。でもさ、そうやったらダメでしょう。だから、切腹でね（笑）。

——また、そこ！　それにしても今の話とタイガーマスクの復活は……。

佐山　そうそうそう。本来なら全然違うもんだよね（笑）。

——タイガーマスクは明らかにスリーエス政策ですからね。

佐山　そうなんだよねぇ。だから、導きってことで考えてるの（笑）。

——ホント、佐山さんだけは本気とおふざけが絶妙にブレンドされてて分からない人ですね。

佐山　わざとやってるからね（笑）。

——ところでプロレスに関してはいわゆるナチュラル・スタイルですか？

佐山　そうそうそう。今は最初から最後までパタパンパタパンだからさ。昔の新日は最低限の決めごとだけあって、それ以外は自由にやってたんだよ。

——だから緊迫感があったんですね。それがナチュラル・スタイルという。

佐山　そう。だから、今回もナチュラルでやるから楽しくなると思うよ。あとね、これお金もうけじゃないから。全然もうからないからね。

——分かりました（笑）。新タイガーマスクと武道が融合するもの凄い空間に楽しみにしてます。■

当日は腹筋割れてるよ。ヘラクレスタイガーだから（笑）——佐山

佐山総師範が拳銃の撃ち方を披露。これを覚えれば、いつ何時、誰に襲われても安心（ただし、拳銃を携帯していればの話だが……）

9月21日大田区体育館『掣圏』大会情報

当日はザ・マスク・オブ・タイガーＶＳザ・グレート・サスケのプロレス試合のほか、掣圏道トーナメントが開催される。また、佐山サトルによる居合い抜きなど日本的な儀式の数々も披露されるので必見だ。ちなみに真ん中にいるのは後援会長のオスマン・サンコンさん。なぜだ？
◆掣圏道武芸大会トーナメント侍募集
現在、掣圏道では武士道精神を誓誠できる選手（侍）たちを募集中。出場に際しては佐山サトル総師範による武士道理論、精神理論の講義５時間受講のこと。

桜木裕司

桜木裕司（さくらぎ・ゆうじ）1977年7月20日宮崎県生まれ　高校時代に極真空手に入門、高校卒業後は自衛隊入隊を経て日本体育大学に入学。その後、キックの目黒ジム（現・藤本ジム）でキックを学び、掣圏道に入門する。アルティメットボクシングでは20戦13勝5敗2分。現在４連続１ＲＫＯ勝ちと快進撃中。Ｋ－１、『プライド』などの他流試合に向けての準備も完了だ

瓜田幸造

瓜田幸造（うりた・こうぞう）1974年10月30日神奈川県生まれ　15歳より柔道を始め、25歳でキングダム・エルガイツに入門。全日本コンバットレスリング優勝の実績を持つ。掣圏道入門後は１カ月間で４連戦４連勝の記録を打ち立て、今年５月には５連戦という驚異の闘いを展開中。９月21日の掣圏道トーナメントにも出場決定

膠着の果てに、やっとやっとの勝ち星★

暴走ランペイジにも、こんな日はある

グランプリ準決勝進出を決めたランペイジだが、「これまでで一番タフな試合だった」と笑顔はない

ブスタマンチのこのチョーク さしもの暴れん坊も失神寸前!?

ブスタマンチのフロントチョークに、危うしランペイジ。強靱な精神力で耐えきったが、これですっかりスタミナを使い果たした

最初の5分間、そりゃ、とても面白かった。ムリーロ・ブスタマンチ、このもう37歳になる手練の柔術家は、渾身のテクニックを見せつけ、一方のクイントン〝ランペイジ〟ジャクソンは、ケタ外れのタフネスとパワーで、これを跳ね返していったのだ。ただし、とても残念なことに、両者ともども、ここまでの白熱の攻防で、ほぼ体力全部を使い果たすことになる。

そのことで2人をとやかく言うことはできない。ことにブスタマンチである。試合が決まったのは、たった5日前なのだ。当初出場予定だったヒカルド・アローナが練習中に足を痛めてしまい、この誇り高きチームの先輩格が代役を買って出た。当然、実戦を前提にした練習はしていない。しかも年齢はもう40に近い。この試合でも、その勇気だけを評価したい。

ブスタマンチはいきなり仕掛ける。コンディションを考えると、とにかく行けるところまで行け。そういう心づもりだったろう。両足を胴体に絡みつけて引き込みに取りかかる。『プライド』きってのタフガイ、ランペイジは決して倒れなかったし、逆に抱っこちゃんよろしく、ブスタマンチの体をぶら下げたままリングを半周する芸当まで見せたが、着実にその体力は奪われた。

さらにブスタマンチの攻めは続く。グラウンド戦に誘い込むと関節に狙いを絞った。アームロックからアームバーと極まりかかった。柔軟さも併せ持つランペイジは自分から体を一回転させて危機を脱出するが、ブスタマンチは腕を放さない。ランペイジは強引にブラ

怪力の本領だけはしっかり見せた柔術界の重鎮を軽々と担ぎ上げたぞ！

▶抱っこちゃんスタイルで引き込みにかかるブスタマンチを抱えたまま、ランペイジはリングを半周。さすがに力は凄い

After the fight

ランペイジのコメント　勝

「とてもタフな試合だった。これまでで一番だよ。自分のパフォーマンスに対してまったく満足していない。ずっとアローナと対戦するつもりで準備してきたからね。ブスタマンチという非常にいい選手と対戦するためには、あまりに準備時間が短すぎた。判定？　たしかに1Rは取られたと思うが、残り2Rは自分が優勢だったよ」

ブスタマンチのコメント　負

「とてもハードな試合だった。いい試合ができたことだけが嬉しい。ただ、ベストを尽くすことが目的だった。結果は重要じゃない。ブラジリアン・トップチームを牽引する立場として責任がある。アローナが出場できなくなったからには、自分がそれを補うしかない。自分への挑戦だし、神様が与えてくれた試練だとも思っていた」

★第3試合/ミドル級GP1回戦（1R10分、2・3R5分）
○Q・“ランペイジ”・ジャクソン〈アメリカ/チーム・オオヤマ〉×M・ブスタマンチ●〈ブラジル/ブラジリアン・トップチーム〉
（3R判定2-1）

疑問・難問の判定勝負に辛勝 ランペイジにVは見えるか？

▲動きに切れのないランペイジに、しつこく食いつくだけのブスタマンチ。後半戦はまったくヤマ場がなかった

▼シャープな右ロー。2R以降はスタンドでの打撃でわずかにランペイジが上回った

◀勝利をコールされたランペイジは、敗者の涙についこんな表情を見せる。この男、ホントは人がいいんじゃないか

さない。ランペイジは強引にブラジル人の体を担ぎ上げて、それからマットに叩き付け、やっとのことでここを切り抜ける。

だが、まだ終わらない。今度はフロントチョークだ。ランペイジはまたしても倒れなかったが、1分近く絞められてガックリと崩れる。それからなお1分以上、ブスタマンチの腕は、ランペイジの首根っこに食い込んだままだった。ランペイジがそれでも耐え抜いたのは驚異だが、体力もほとんど底をついてしまったのは仕方ない。

全てをかけたブスタマンチ、そしてその鍛え抜かれた技の洗礼をしこたま浴び続けたランペイジ。あとの15分間は、この両雄の闘いにスリルがないままだった。ランペイジはスタンドの展開を選び、左ジャブから右ストレート。一方のブスタマンチもワンツーで応戦したが、この攻防はやはりランペイジの得意とする分野だ。2Rには左ヒザ2発で、ブスタマンチが自らマットに崩れてエスケープする。さらには「とっておきの武器として、秘かに練習していたんだ」というランペイジの右ローも凄くシャープだ。太ももにこれを打ち込まれるたびに、ブスタマンチの体が頼りなく揺れた。

判定は2―1と割れた末にランペイジ。個人的にはブスタマンチの序盤の猛攻をもっと評価してほしかったが、まあ、仕方ない。ランペイジにとっては拙戦と言えるのだろうが、それも展開の生んだあや。この男の持つ凶暴な攻撃力、タフネスがミドル級グランプリ最大級の脅威である現実は、いまだに変わりはない。（宮崎）

見たか、若造！

アリスター

UFCオヤジ大爆発

リデル、修羅場の底力で大逆転KO！

◀▶パンチの打ち合いの中、リデルの右パンチがヒットして一瞬棒立ちになったアリスター。そこへリデルが全力で右スイングを叩き込む。グラッときたところへトドメの連打を加えられ、アリスターはマットに沈んだ

▲◀UFCからの刺客チャック・リデルがアリスター・オーフレイムに逆転KO勝利。試合後はUFCを主催するズッファ社のダナ・ホワイト社長も祝福した

After the fight

リデルのコメント 勝

「これは戦争になるぞと思って臨んだが、そのとおりになり、そして勝つことができた。どんなパンチでもラッキーパンチになるし、常にこれは起こりうること。（次は）シウバとはここ何年も闘ってないので彼とやりたいね。ランペイジ？　どんな選手でも怖いと思ったことはない。優勝する自信は持ってるよ」

アリスターのコメント 負

「凄くガッカリして腹が立ってる。自分の攻撃もかなり激しく入れたんだけど、まあ向こうのラッキーな一撃でやられたかなという感じだね。今まで3年間負けなしで、今回負けてしまったけど必ずカムバックする。一生懸命練習するし、まだ23歳だから。『プライド』とオランダのファンに心から感謝しているよ。ありがとう」

▶開始早々に左フックでフラつかせ、さらに左右フックで攻勢をかけるアリスター。勝利は目前と思われたが、なぜか「様子を見ようと思った」という

★第2試合/ミドル級GP1回戦（1R10分、2・3R5分）

○C・リデル×A・オーフレイム●

〈アメリカ/ピット・ファイト・チーム〉　〈オランダ/ゴールデン・グローリー〉

（1R3分09秒、KO勝ち）

※パンチの連打

▲アリスターの武器は、なんといってもこの高角度のヒザ。ボディへ顔面へと見事に決まっていたが……

トーナメント1回戦の中で唯一のストライカー対決であるチャック・リデルVSアリスター・オーフレイムは、期待以上の劇的な打撃戦となった。

先手を取ったのはアリスターだった。左フックでグラつかせる。グラウンドでは4ポイント状態でヒザを連打されたが、これをうまくディフェンスして、またスタンドへ。さらにリデルの身長よりも打点が高そうなヒザ蹴り。戦前、34歳のリデルを「年寄り」と斬って捨てたアリスターが、23歳の勢いで押しまくる。

序盤に出血し、顔もボディも効かされてKO負けの危機に瀕しながら、しかしリデルも決して屈しない。確実にパンチを打ち返していく。そして右スイングがクリーンヒット。一瞬のスキを突いてさらに力の入ったパンチを叩き込んだリデルは、そこから連打して一気に逆転KOまで持ち込んでみせた。フィニッシュにつながったパンチは、テンプルを狙いながらも視線はボディに置くという巧妙なフェイント付きのもの。

リデルはピンチにあっても落ち着きを失っていなかった。そしてここぞというチャンスを逃さない勝負カン。それらはきっと、UFCにおける数々の苦闘の中で磨かれてきたものだろう。手痛い敗北をも含めた修羅場の経験。無敗のままでこの大舞台に上がってきたアリスターには、それがなかった。

たしかにアリスターから見れば年寄りだろう。だが、リデルは年寄りであるがゆえに、若いアリスターをKOできたのだ。（は）

たまアリ史上最多動員記録！観衆40,316人が大熱狂！

榊原信行社長の大会総括

「今日は、いろんな意味で衝撃的な試合が多かったんですけど、選手も、主催者である我々も、そしてファンも1つの結果として受け止めて、次にどういう一歩を踏み出すかですよね。11月9日の東京ドームは、また新たなるドラマを必ずお見せできると思いますので期待してください。ドームの組み合わせに関しては、今日会場でアンケートをとらせていただきましたので、ファンがどんなものを見たいか、吉田選手が誰と闘ってほしいかというファンからの声をまずは一番聞きたいところでもあります。もう4人ですので、スカッと早く発表できることを考えてます。ヘビー級のほうは、ミルコも衝撃的な試合をしましたし、ヒョードルもチャンピオンとして風格のある試合をしたんで、当然この2人がドームで絡むのか、絡まないのか。ちょっとヒョードルが左拳を痛めたみたいなんで、そのあたりの状況を確認して熱のあるうちに試合を組めたらと思います。それとUFCとは今後も対抗戦を進めていければと思っています。今日はありがとうございました。今後ともよろしくお願いします」

▶全試合終了後、予告どおり「プライドの怪人」百瀬博教氏が感謝の辞を述べ挨拶。初めて肉声が聞けるとあって、場内がどよめいた

今年も『猪木祭り』開催決定！

▲藤田和之がヒョードルに敗れて以来、久しぶりに公に姿を現わした。藤田は11.9ドーム大会、12.31「猪木祭り」の主役を狙いにいくことを師匠・猪木の前で宣言

▲今年も大晦日に「猪木祭り」を開催することが、猪木本人の口から正式発表された。「やっぱり一番高い山から放送するのもいいかな」と言う猪木。今年はフジテレビで放送か!?

試合に先立ち、8月8日に不慮の事故で亡くなられた故ジャイアント落合さん（享年30歳）のご冥福をお祈りし、1分間の黙とうが捧げられた

◀髙田延彦統括本部長が「男の中の男」Tシャツを着込んで開会宣言

10.5『PRIDE武士道』

◆日時/10月5日（日） 開場/14：00
試合開始/16：00（予定）
◆会場/さいたまスーパーアリーナ
◆入場料/VIP50,000円（専用入場ゲート・グッズ付） RRS23,000円 スタンドS13,000円 スタンドA6,000円
【チケット特別先行電話予約】
8/31（日）10：00〜19：00
特電：03－5749－9979
チケット一斉発売 9/7（日）

『プライド』の新ブランド『PRIDE武士道』の第1回大会が10月5日（日）、さいたまスーパーアリーナで行われることが正式決定！ 83キロ以下のライト級選手を中心に、異種格闘技戦、チーム対抗戦などを行っていく予定。10.5大会には、今回正式発表した参戦予定選手の中から厳選された選手が出場する。また、今後の予定として来年の第1弾興行は2月に大阪城ホールで、そして3月には、初のアメリカ・ラスベガス興行を開催。ヘビー級GPは4月に開幕戦、夏に決勝大会を行う。秋にはアメリカ興行第2弾を計画とのこと。まずは、10.5『PRIDE武士道』に注目せよ！

参戦予定選手

桜井"マッハ"速人 三島☆ド根性ノ助 小路晃 高瀬大樹 大山峻護 滑川康仁 中村和裕 光岡英二 アングロサクソン大場 岡見勇信 マーク・コールマン マリオ・スペーヒー アスエリオ・シウバ

『プライド』に新ブランド誕生！マッハ、ド根性ノ助らが参戦表明！

10.5『PRIDE武士道』旗揚げダァー！

エースは、この男か!?

◀猪木に不意打ちの闘魂ビンタを食らったマッハは、意識朦朧の中で挨拶

▲恒例・猪木劇場の中で、アントニオ猪木の号令のもと『PRIDE武士道』に参戦表明した選手らがリング上に呼び出された。その選手たちの中にナント！ ピーター・アーツの姿が！

誰が一番記憶に残ったか？私的にはやはり田村だ……

とにかく『プライド』は凄い。

8月10日、さいたまスーパーアリーナに行って思ったことはそのことだ。

まず、観客がケタ違いに多い。それだけで驚きだ。1階のアリーナ席は目一杯に席が伸びていた。スタンドA席とB席も全て解放されていた。

これ以上、入れないぐらいお客が入ったということである。一つはミドル級トーナメントである。この企画は当たった。それともう一つはやっぱり桜庭の人気である。それに尽きた。

私は桜庭VSシウバ戦の試合リポートのところでも書いたが、みんなは桜庭を勝たせてやりたいと思っていた。

対シウバ戦の2連敗がファンをそういう気持ちにさせていたのだ。この日の大入り超満員興行の立役者は、誰が考えても桜庭の力によるものである。

それだけはここで言っておきたい。これは2回も続けてシウバに負けたことが一種の溜めになっていたのだ。

その溜めは桜庭クラスの選手にだけ有効なこと。さて、全7試合の中で注目されたのは、うしろ三つだ。

ミルコVSボブチャンチン、吉田VS田村戦に桜庭VSシウバ戦だ。ミルコはまたしても圧倒的な強さで勝った。問答無用の強さとは、ああいうことを言うのだろう。

強過ぎる。あまりこういう言い方はしたくない。〝強い〟でいいのだ。つまり強いことに過剰性があるので、どうしても強過ぎると言ってしまうのだ。

『K―1』の選手でありながらバーリ・トゥード系のリングでも、無敵ぶりを示しているのが憎い。この男だけは格闘技界では規格外の存在かも。

ハイキック一発でKOされたボブチャンチンが哀れに見えた。彼はマットに倒された時、天井を見て何を思ったのか？ そっと聞いてみたくなった。

もうひとりこの試合をリングサイドで見ていたヒョードルは、ミルコについて何を思ったのかそれも興味深い。

ミルコは手に負えないというのが、我々の正直な感想である。こうなったら早くホーストとやってほしい。『K―1』のリングでは昔のことになるが、ミルコは3回やって一度もホーストに勝っていないからだ。

どんなに強くてもいつか人は、負ける時が必ずくる。大相撲で69連勝した双葉山も70連勝目に土がついた。最強とは逆説的な言い方をすると、負けるまで勝ち続けている者のことを言う。

それがミルコでありヒョードルでありシウバである。吉田も一応その中に入る。特にミルコは同じ勝ち続けていてもまったくスキがない。『プライド』は水を得た魚状態なのだ。

総評

美しい墓穴を掘った男、田村 お前こそプロ中のプロレスラーだ！

文◉ターザン山本

このようにミルコやヒョードルの強さは、ストレートにファンに伝わる。それでこそ格闘技である。強いということはシンプルであるべきなのだ。結果は簡単でなければならない。

グッドリッジと試合をしたヒョードルと、ボブチャンチンと試合をしたミルコがそれを証明してくれた。その場合、敗者にはなんの救いもなかった。

あれでは引き立て役にもならない。それに比べると田村はしぶとい。まず感心したのは空間を自分の色に染めていったことである。試合前の紹介映像。

野球帽をかぶり赤いTシャツを着てずっとうつむき加減にボソ、ボソと話す姿は、もうそれ自体が田村の世界だ。

しかもバックは濃いグリーンの壁みたいだった。あのバックのグリーンと赤のTシャツが、強いコントラストになっていて、目に鮮やかなのだ。そうか田村は赤を自分のキャラにしていたが、本当はあの濃いグリーンが裏側にあったのだ。

赤は田村にとって表の色。裏の色は濃いグリーンなのだ。次に入場シーンでは口ひげを生やしていた。たしかに吉田秀彦と試合をする時は、口ひげがあったほうがいい。吉田はアマの匂いがする選手。

一方の田村は叩きあげタイプのプロのレスラー。その違いをどこかで見せつけようとしたら、口ひげはいいギミックになっている。この男、小道具にもいちいちこだわる男と読んだ。

その証拠にちゃっかりと入場テーマ曲も変えていた。選手の入場テーマ曲はファンにスイッチを入れさせる最も手っ取り早い手段でもある。自分の存在をアピールするには、あれ以上のものはない。

田村はあえてそれを今回、拒否しているのだ。まるでファンの自分に対する応援は必要ない、今回の試合は俺ひとりで闘う、とそんな主張をしているのだ。

そうすることで観客の目は、田村選手に釘付けにされていく。非常に微妙な話

に釘付けにされていく。非常に微妙な話なのだが、それがどうも計算してやっているとしか思えないのだ。

リングに登場すると四方のファンに向かって順番に深く頭を下げておじぎをしていった。いつものことだがそれさえも〝やるな〟という感じなのだ。

マウスピースをちらっと歯で噛んでみせて、それから口の中に入れた。私は試合は吉田の圧勝と予想していた。

ところがゴングが鳴るといきなり田村のパンチが吉田の顔にヒット。そのまま吉田はマットに倒れ込んだのだ。

それ、私の読みとは全然、違う展開ではないか? 私は慌てた。このままだと田村が勝ってしまう。吉田は勝って当然の男。勝ったら勝ったでつまらないなと思ってきたが、だからと言って負けてもらうとそれ以上に困るのだ。

私にとっての悪役としての対立概念がいなくなるのだ。不思議なことにその瞬間から、なんと私は吉田を応援するほうにまわっていた。いい加減なものだ。

プロレス者なら田村が勝つように応援すればいいのに……。その田村が吉田につかまってギブアップした時、ああ、これでよかったと思ったものである。

悔しがる田村。あと一歩で勝つことができたのに、そのチャンスを逃してしまったのだ。競馬で言うとハナ差で負けて馬券をすった時の私とよく似ている。

田村はあれでよかったのだ。負けることに意味を持たせられる男としては「プライド」では貴重な人材である。

ハードでシビアでリアルな〝勝負論〟を売りものにしている「プライド」で田村は、随所において勝負論以外のものを見せられるファイター。それを本当の意味でプロレスラーという。〝勝つ〟ことと〝見せる〟ことを2つ同時に考えられる人間が今「プライド」で一番求められている人材なのだ。■

お勉強はつらい。けれど、

石井宏樹、行くのだ！どこまでも

現役ラジャ５位ノッパガオが用いる間合いに、石井はまったく手立てなし。空疎な闘いのまま、5Rは終わった

撮影◎佐久間立秋

石井宏樹という男には、いまだ無限の可能性が秘められている。だから、1度や2度、こんなつたない試合をやったからと言って、いちいちケチをつけるつもりはない。いいじゃないか、こんな日があったって。

　これまで猛烈な勢いで7つのKO勝利を連ねてきたのだ。陣営の目論見では、うまく試合をこなしていけば、来春にも本場タイのタイトル挑戦を視野に入れているという。そんな大事な時に、これだけの相手を選んだことをより評価したい。ノッパガオは、元王者。いまだラジャダムナン・スタジアムのメインを堂々と張る実力者。それだけではない。戦法は膠着戦。じっくりと間合いを作り、対戦者をいつの間にかスローペースに引きずり込み、そのうちにポイントを拾い取る。つまり、とってもいやらしいタイプなのだ。こんな時期に、そういう相手を選んでくる、石井とその陣営も、実に豪気じゃないか、と私は思う。

　とはいえ、試合はまったく盛り上がらなかった。いや、とんでもなくつまらなかった。まんまとノッパガオの間合いにはまり込んだ石井は、その持ち味をまったく発揮できなかったのだからそれもそうだ。切れ味鋭い右ストレート、左フック、右アッパー、あるいはミドル、ロー、ハイと巧みに散らすキック。多彩な切り口から縦横無尽のコンビネーション・アタックを展開する。石井のそんな魅惑の攻めへの期待は、だんだんと尻すぼみになっていく。

　最初のころは、石井らしさもあった。1Rには左フックから、2

新日本キック
MAGNUM 02
7.26★後楽園ホール

打っても蹴っても、相手は遠い。

ノッパガオの秘術に空転が続く

▲ミドル級の強打者、松本哉朗（藤本ジム）はラムソンクラーム（タイ）を右ヒジ一発、わずか1分5秒でKOに切って落とした

▲フェザー級王者の菊地剛介（伊原道場）は爆発力を見せつける。鈴木敦（尚武会）を左ハイで倒した後、ローキックで猛攻。2度のダウンを追加して初回KO勝ちを収めた（1R2分50秒）

▲石井の必殺右ストレートも、ノッパガオの巧みなボディワークに外される

▶ノッパガオの右ストレート。その攻めは単発だったが、正確だった

▲採点は引き分け。もちろん、石井の表情は冴えない

▲右ミドルを右足でカットするノッパガオ。この巧さ、さすがはバリバリのランカーだけのことはある

After the fight

石井のコメント　分

「すいませんでした。やりにくいということはなかったんですが、自分がダメでした。いつものコンビが全然出なくて。今日はほとんど相手の距離でやっちゃいました。久々にタイ人の距離感を味わいました。終わった瞬間、負けたと思いました。連続KOにこだわったわけではありません。また次からKOしていけばいいんで」

連続KOは『7』でストップ。されど、迷い道にはまることなかれ

★第10試合（3分5R）
△石井宏樹（藤本ジム）×ノッパガオ・ソーワンチャート（タイ）△
（5R判定1-1、ドロー）
※採点…50-50、49-50、50-49

Rにも右ストレートから、いずれもローキックにつなげる。これを呼び水にいつものハイテンポな攻めに持ち込むんじゃないかと、観戦する側も安易に考えたりした。

ところが、ノッパガオは一筋縄にはいかなかった。それまでもうまく距離をとって石井の攻撃を殺していたが、2R終盤、右ストレートのカウンターで石井をよろけさせてからは、試合の流れは決定的になった。

3R以降、石井はもうメタメタだった。ノッパガオの蹴りやパンチは単発だったから、ジャッジはポイントを振り分けなかったが、国際式ボクシングではポイント上の重大な要素になるリング・ジェネラルシップ、つまり戦術ではまったくのワンサイドだったといっていい。折々の攻防でびしりとくさびを打たれ、石井はどうしてもリズムに乗れない。

4Rもノッパガオのミドル、ヒジ、パンチばかりが目立った。5Rもまた右に同じ。石井はまったく何もできないまま、むなしく闘いを終えることになる。

引き分けという裁定は、ラッキーだった。しかし、現役バリバリの本場ランカーを相手に、この結果を善戦でなく、拙戦と呼ばせるところが石井の凄いところだと言えはしまいか。「ムエタイもライト級以下はまったく世界が違う」。よく言われることだ。その層の厚さ、高いレベルの技巧は、想像を絶する。石井はあえてそのライト級で頂上を目指そうという。高い理想に免じて、やっぱりこの『お勉強』にもしばらく付き合ってやろうじゃないか。

（宮崎）

新日本キック
MAGNUM 02
7.26★後楽園ホール

史上4人目の日本人ムエタイ王者誕生はならず
米田克盛にもムエタイの厚い壁
ラジャ王者のヒジに完璧KO負け

After the fight

チャーンヴィットのコメント（勝）

「米田は強かった。技も切れていたし、特に組んだ時の上半身の力が強かった。前半のハイキックは様子見。チャンスになったら早く片付けようと思っていた。相手が守りの体勢になったので、ここで倒そうと決意したんだ。サゲッダーオがK－1で負けたのは知っている。汚名挽回の気持ちはあった。ボクもK－1に出たいね」

米田のコメント（負）

「ミドルキックが強かった。これまでで一番です。ある程度は覚悟していましたが、あそこまで強いとは思わなかった。首相撲からしつこく攻めていたら判定で勝てると思っていたが、一発を食って目の前が真っ白になりました。あれ、ヒジですよね？　こんな負け方するなんて……。今のままじゃ、タイのトップには勝てないですね」

▲3R、チャーンヴィットの左ヒジ。これを3発立て続けに食って、米田の体はドサリとマットに落ちた

▲チャーンヴィットの左ハイ。ガードする米田を吹っ飛ばすほどの破壊力だった

◀米田も懸命に攻める。しかし、ラジャ王者の技巧の前にクリーンヒットはなかった

◀なんとか立ち上がろうともがいた米田だったが、足元はぐらぐらでストップの処置は仕方なかった

本場の意地を見せつけたチャーンヴィット、堂々のK－1挑戦宣言

▲武田幸三を破ってタイにタイトルを持ち帰ったチャーンヴィット。この日も本場の意地を見せた

★第12試合/ラジャダムナン・スタジアム認定ウェルター級タイトルマッチ（3分5R）

○チャーンヴィット・ギャットトーボーウボン（王者/タイ）×米田克盛（挑戦者/トーエルジム）●

（3R2分23秒、KO勝ち）

好機はそうそうあるものじゃない。絶対に勝ちたいと思ったら、後先なんて考えずに一気に仕掛けるべきである。

この一戦、米田に勝機があったとすれば、1Rだけだったろう。中途半端な形で両者の体が交錯した瞬間、米田の右アッパーが2発入る。チャーンヴィットの体はフワリと揺れた。チャンス！　しかし、米田はいかなかった。もし仮にこれが3Rであり、4Rの出来事だったらどうだろう。ここで激しいフォローアップに出ていたのだろうが、試合はまだ始まったばかり。相手の戦力も分からないじゃないか。この先は果てしなく長い。米田にそういう迷いがあったのだろうか。いや、それよりもムエタイ、しかもその頂上という無言のプレッシャーのほうが強かったのかもしれない。とにもかくにもその後の米田に、二度とこんなチャンスがやってこなかったのは確かなことだ。

2R以降はほとんどチャーンヴィットのペースで進行する。米田は接近戦から首相撲を選び、ヒジ、ヒザで粘っこく攻めかかるが、チャーンヴィットの鋼の体に損傷を与えたとは思えない。逆にラジャ王者の左ハイ、ミドルに追い込まれ、このラウンド後半にはほぼ一方的な展開になっていた。

そして3R、チャーンヴィットはヒジを強襲。棒立ちとなったところにさらに2発。米田はバッタリと倒れ込む。なんとか立ち上がったが、足元は定まらずレフェリーはそのままKOを宣した。

この結果には実力の差、それ以外の答えはない。（宮崎）

速報！8・10修斗 横浜文体大会

五味、王座陥落！修斗離脱か……!?

修斗の旗を掲げての闘いも、超微差ながらハンセンに敗北！

撮影◎中島ミノル

これが競技の、ベルトの重みか 3大タイトル戦は全て大接戦！

◀フェザー級タイトル戦は王者・大石が34歳、挑戦者・松根が21歳というベテランVS若手の構図。最初から最後までことごとくテイクダウンした松根が「今日は勝利だけを目指した」という言葉どおり慎重に試合を進めて判定をモノにした

▶自ら“修斗ジャンキー”と名乗るほどの松根。念願のタイトル奪取に、判定が読み上げられた瞬間から大号泣。リングを降りる直前にも、認定証をしみじみと見つめてまた泣いていた

▲▶ライト級不動の王者ノゲイラ、今回の相手は打撃を得意とするパーリング。1、2Rとパーリングのパンチに押されて一度も組み技に持ち込めず窮地を迎えたが、3Rになって必殺フロントチョークで“キャッチ”を奪うなど寝技で圧倒。失点を回復してドロー防衛に持ち込んだ

▲ヨアキム・ハンセンに敗れてベルトを失った五味は、試合後「ドローか勝ってたと思うけど……受け入れます。これからは修斗に依存しない生き方をしたい。判定が下った瞬間、修斗のマークを見て“拒絶されたな”と」と、修斗から距離を置くような発言

▶2Rにはバックに回り込まれ、スリーパーで“キャッチ”を奪われるピンチ。これが決定的なポイントとなって五味はタイトルを失った

▲常にテイクダウンは奪うのだが、ハンセンは下からの攻撃が得意。蹴りで突き放され、いつものような豪快なグラウンドパンチが出せなかった五味

◀ハンセンはここ数年注目を浴びている北欧（ノルウェー）の選手。タクミ、佐藤ルミナ、五味と日本を代表する選手たちを連破して、修斗デビュー4戦目でのスピード戴冠となった

修斗にとって最大のエンターテインメント性は勝負論なのだと感じさせられる大会だった。3大タイトル戦に一本、KO決着はなし。全て判定で、一つがドロー、一つは2−0という僅差での新王者誕生。選手たちのレベルが凄まじく高いから、自然にそうなるのだろう。もちろん、目を見張るテクニックや感動的なドラマもあった。しかし何よりも我々をハラハラさせ、目をリング上にクギ付けにさせたのは「ベルトを守るか奪うか」、「勝つか負けるか」の高密度に凝縮された勝負論だったのだ。1、2Rの失点を挽回すべく、最終3Rに全てを出し尽くすような猛攻を見せたノゲイラ。ただただベルトのことだけを考え、外科手術のごとき慎重さと正確さで試合を運んだ松根。その勝負にかける強い思いこそが見どころだった。そして、五味。モチベーションを高めるためにあえてベルトを賭けた＝勝負論をより強いものにした五味は、さらに入場時に修斗のロゴマーク入りの旗を掲げていた。ベルト、そして修斗という競技そのもの。自ら重荷を背負えるだけ背負って闘いに臨んだのだ。その結果が、僅差の判定負けでの王座陥落と、修斗離脱を示唆するような発言になってしまうとは。どうする五味、どうなる修斗……？

（橋本）

《全試合結果》

★世界ウェルター級チャンピオンシップ（5分3R）
○J・ハンセン（判定2-0）五味隆典●
〈挑戦者/チーム・スカンジナビア〉〈王者/木口道場レスリング教室〉

★世界ライト級チャンピオンシップ（5分3R）
△A・F・ノゲイラ（判定1-1、ドロー）S・パーリング△
〈王者/ワールド・ファイト・センター〉〈挑戦者/ジーザス・イズ・ロード〉
※引き分けにより王者ノゲイラがタイトル防衛

★世界フェザー級チャンピオンシップ（5分3R）
○松根良太（判定3-0）大石真丈●
〈挑戦者/パレストラ松戸〉〈王者/K'z FACTORY〉

★ミドル級（5分3R）
○J・シールズ（判定3-0）菊地昭●
〈シーザー・グレイシー・アカデミー〉〈K'z FACTORY〉

★ウェルター級（5分3R）
○川尻達也（判定3-0）Y・エドワーズ●
〈Team TOPS〉〈サードコラム〉

★バンタム級（5分2R）
○生駒純司（2R3分46秒、スリーパー・ホールド）吉岡広明●
〈直心会格闘技道場〉〈パレストラ東京〉

★バンタム級（5分2R）
○阿部マサトシ（判定3-0）高橋大児●
〈AACC〉〈K'z FACTORY〉

※今大会の詳報は次号で掲載します！

“赤コーナー・サムゴー”の毒と誘惑

もはや全日本キック最大のスターだけど“味方”でいいのか……？

アブドゥライエを左ミドルで沈めると派手なガッツポーズを繰り返したサムゴー
撮影◎丸山剛史

★第7試合／メインイベント（3分5R）

○サムゴー・ギャットモンテープ〈タイ〉
（3R1分24秒、KO勝ち）
●M・アブドゥライエ〈フランス〉

※左ミドルキック

3度目のファイトにして、サムゴー人気は完全に日本のファンに定着したようだ。この日の後楽園ホールは満員御礼。日曜日であることやセミまでのカードが粒揃いだったことも理由だろうが、何より大きいのがサムゴーの出場なのは間違いない。それは観客の反応に如実に表れていた。サムゴーが入場すると、怒濤のような大声援である。

今回の相手はセネガル出身のフランス人、エンバイエ・アブドゥライエ。ＷＰＫＬという団体のヨーロッパ・ライト級王者である。つまり今回はサムゴーの相手を招聘した形。サムゴー自身が主役を張る試合である。

１Ｒからサムゴーの左ミドルが炸裂する。それが最大の武器なのはもちろんだが、この男の場合はそれだけではない。観客が見たがっているものを提供しようという心憎いプロ意識があるのだ。

ただし、蹴りを繰り出すペースはややゆったりとしたものだった。様子見というか、相手の感触を確かめながら、という感じだったのだろう。対するエンバイエも、サムゴーの蹴りをスウェイでかわす柔軟な動きを見せる。サウスポースタイルのサムゴーに対して常に

全日本キック
KICK OUT
7.20★後楽園ホール

ヒジ打ちでまさかの出血! しかしそこから先が凄かった!!

ガオラン再来襲! されど清水とドロー

◀昨年のK－1ワールドMAX準優勝、ルンピニー王者のガオラン・カウイチットが全日本キック初登場。しかし清水貴彦（超越塾）のパンチに手こずり、得意のヒザが思うように出せずにドロー。「相手がどうというより、今日は自分の調子が悪かった」（ガオラン）

▶日本を代表するフェザー級、J－NETの増田博正（ソーチタラダ）はイギリスのリアム・ハリソンと対戦。得意のローで先手を取ったが、ハリソンの強引なパンチに3度ダウンを奪われてKO負け（3R2分55秒）。ハリソンはなんと17歳にしてイギリスのタイトルを保持する強豪

▼ウェルター級王者の山内裕太郎（AJパブリック）はキャリア133戦のWKN世界王者ファビオ・コレーリ（イタリア）に判定負け。序盤からじわじわとペースを握られ、4Rにはダウンを取られてしまった（判定3－0）

▼ライト級トーナメントで活躍した19歳・山本優弥（空修会館）は今回からウェルター級に転向。5位の小松隆也（建武館）と対戦し、多彩かつテンポの速いパンチで圧倒して3－0の判定勝利

◀鮮やかな首相撲で知られるバンタム級の名王者・安川賢（SVG）が「被殻部の陳旧性脳出血の疑い」で引退。今大会で引退式が行われた。8・17後楽園大会では、安川の引退エキシビジョンの相手を務めた藤原あらしが空位となったタイトルの王座決定戦を行う

▲サムゴーの蹴りに臆することなく、うまく距離を取りながら試合を進めたアブドゥライエ。2Rにはヒジでカットしてみせた

▶ハイキックもしばしば見せたサムゴー。これまたとんでもない威力だった

▲相変わらずの凄まじいミドルキック。相手の体が宙に浮くような場面すらあった

▶サムゴーはリングを降りると医務室へ直行。傷の治療を受けた。こういうシーンが日本で見られるとは

▲フィニッシュはやはり左ミドル。出血してからさらに猛威を振るい、ロープに追い詰めての3連打で決めた

左回りにステップ、やや遠めに距離を取ってもいた。

そのエンバイエが一気にインサイドに潜り込んだのが2Rだった。ハイキックをすかしてヒザ蹴り、そしてヒジを叩き込むと、なんとサムゴーが出血してしまった。ドクターチェック。日本での試合では、これまでで最大のピンチだ。

しかし、この出血がサムゴーの左足にターボチャージャーをかけることになった。試合が再開されると鬼の連打。2R終了のゴングが鳴ると、サムゴーは客席に向かって拳を突き上げた。

そして3R、恐怖の蹴りはいよいよ猛威を振るう。ポイントを奪うのではなく、倒すための蹴りだ。足を殺すローキックと、腕やワキ腹を抉るミドルキック。1発目の蹴りをガードしても、体勢を立て直す前に2発目、3発目が襲ってくる。フィニッシュはフラフラになった相手にミドルの3連打。エンバイエになす術はなかった。

またしても戦慄のKO勝利。観客の満足度も高かったことだろうと思う。これほど強い男が、赤コーナー、つまり敵ではなく〝こっち側〟にいるわけだから。サムゴー自身「日本のファンの声援は嬉しい」と言う。

ただ、サムゴーを主役に据えての〝対外国人〟マッチメイクは危険な誘惑でもある。それがどれだけ盛り上がっても、あくまで〝特例〟なのだ。最後はやはり、日本人がサムゴーに挑戦し、いつか勝たなければいけない。この日のサムゴーに対する歓声を、小林聡や大月晴明、花戸忍はどんな気持ちで聞いたのだろうか。（橋本）

DEMOLITION 030721

7.21★横浜赤レンガ倉庫1号館

岡見、予告パウンドで完勝！いよいよメジャー本格進出か!?

▲倒されそうで倒れない。差し合いで見せるバランスの良さには、光るものがある

▲最後は怒濤のマウントパンチでレフェリーストップ。花田は半失神状態でご覧のとおりに

▶花田の必至のディフェンスをあざ笑うかのように、岡見のパンチが的確に相手のアゴを打ち抜く

この快進撃は、まさにホンモノ。この日迎えた、22歳の誕生日&デビュー1周年を見事勝利で飾った

★第7試合（5分2R）
○岡見勇信×花田和弘●
〈和術慧舟會 東京本部〉〈XXX〉
（1R4分47秒、TKO勝ち）
※グラウンドでのパンチ連打でレフェリーストップ

デビューから無傷の7連勝。岡見勇信は、この日出場した選手たちと比べてみても、レベル的に一歩抜け出しているのは間違いない。試合の約3週間前にインタビュー取材をした時、「得意技は？」という質問に対し、悩むことなく「今度の試合は、パウンドでいこうと思ってるんで、パウンドにしておいてください」と答えた岡見。そして、宣言どおりパウンドで相手を叩き潰してしまったのだから、これは素直に誉めるべきであろう。けっして行き当たりばったりなんかではない。試合前からきちんとゲームプランを立てた上で、そのとおり結果を残した。同階級なら自分の手足の長さが大きな武器になることも分かっている。これこそプロの仕事だ。ここで言っておく、岡見はデビューしてこの日でちょうど1周年を迎えた選手であるということを。とにかく今までの日本人選手の中では、あまり見られなかったタイプの選手だけに、今後の闘いぶりに注目していきたい。（佐藤）

8.5 DEMOLITON atomは真夏のJ太郎祭りだ！

▶ごく一部でカルト的人気を誇る滝田J太郎（和術慧舟會 東京本部）がメインに登場。ファンの期待がますます膨らむ"J太郎劇場"は、この日も小爆発。J太郎、やっぱりお前は男の中の男だ！

▶『プレ・プライド』第6代目王者の外山慎平（和術慧舟會 東京本部）がDEMOLITION初参戦。山田護之（POD）を相手に1R2分40秒、チキンウイングアームロックで一本勝ちを収めた

▶で、肝心の試合は本人も「バタバタした」と反省するとおりなかなかペースが掴めない中、ようやく2R中盤からパウンドで攻めるなどポイントを稼ぎ、大場裕司（P's LAB東京）に判定勝ち（2-0）

▲メインの矢野倍達（RJW/central）とザ・グレート・浪花（夢想戦術）の一戦は、グラウンドで圧倒した"闘うサラリーマン"矢野が判定3-0で勝利

▲5月大会で岡見に敗れた長谷川秀彦（SKアブソリュート）だが、パンクラスでミドル級のランカーになるなど実績は十分。この日もサンボ仕込みの寝技で鈴木亮司（XXX）を翻弄し、判定勝ち（3-0）

▶パンクラスから大石幸史が参戦。平山貴一（和術慧舟會 千葉支部）を相手に実力差を見せつけ圧倒するも、一本勝ちを奪えず（判定3-0）。大石にとっては不満の残る結果となった

Series ジョシカク! ⑬

かつて『SMACK GIRL』のインパクトは彼女とともにあった。篠原光。"力道山を刺した男の娘"。話題性とケンカそのもののファイトで名を売ったが、昨年夏にフェイドアウト。あの時、何があったのか、そしてこれからどうなるのか。8.30『Gals』で待望の復活を果たすことになった篠原と後見人の南部虎弾(電撃ネットワーク)に、復活の狼煙を存分に上げまくってもらった。

喧嘩女王ついに復活!

篠原光 with 南部虎弾

撮影◎丸山剛史
文◎橋本宗洋

「スリーパー取れそうな時でも、殴らないともったいない！（笑）」

昨年末のトーナメントあたりから盛り上がりを見せている『SMACK GIRL』だが、本来なら篠原光もその輪の中、というよりメインストリームにいるはずの存在だった。２００１年７月にデビュー、殴って蹴って首絞めて、というストリート仕込みの喧嘩殺法で３連勝。しかも力道山を刺した男の娘、某プロレスラーとの交際、所属が『チーム南部』と話題性も充分すぎるほどだった。ただしその時、すでに心も体も悲鳴を上げていたのだ。

「やっぱり月イチで試合は厳しいですよね。しかも試合が決まるのが１週間前とか３日前とか。プレッシャーも凄かった。お父さんのことがあって南部さんのことがあって。注目されてるから絶対負けるわけにいかないっていう焦りも出るし」

限界がきたのは昨年３月だった。辻結花とのメインイベントという大舞台で、体調不良により試合開始直後にタオル投入という“不祥事”。

「（あの頃は）試合で闘志が見られなかったよね。相手をぶちのめしてやるっていう顔をしてなかった。しょうがなくやってるみたいなね」（南部）

昨年７月の試合を最後に『SMACK』をフェイドアウトした篠原は、ケガもあって表舞台から遠ざかる。

「休んでる間はストレスたまりますよぉ」

今年に入ってからは、女子ボクシングのエキシビジョンに出場したのみ。実はちょっとプロレスに進出していた。でも、向いているのは格闘技だと痛感した。

「格闘技は相手に気を使わなくていいから。好き勝手に殴れるでしょ（笑）。ボクシングのエキシビジョンやった時に、あのグローブで殴る肉の感触がホンットに気持ちよくて。なんか饅頭潰したみたいな」

そして今回『Gals』のたま☆ちゃん戦で復帰が決定。復帰に向け、今はキック、ボクシング、レスリングと精力的に練習。かなり技術も上がっているようだが……。

「レスリングで嫌がらせみたいなテクニックも教わったんだけど、スリーパー取れそうな時でももったいなくて殴ったり蹴ったりしちゃうんですよね（笑）。技覚えても試合になったら分かんない（笑）」

やはり喧嘩女王、根っこは変わってない。以前と変わったのは、やはり気持ちの面だろう。

「今は“よっしゃ、いくぞ”って。自分が“やりたい”って思った試合だから気持ちが全然違う」

急激な勢いで層が厚くなっている女子総合だが、それでも篠原の個性は際立っている。かかる期待も大きい。

「素材はいいと思うんでね。頑張ればまだまだ上に行けると思う」（南部）

それはファン共通の思いでもあるはずだ。■

▲ムエタイ式の打撃フォームはなかなかのもの。「久しぶりに受けたけど、こっちの体が弱くなってるのかと思ったら、威力が増してるんだよね」（南部）

▼体重は９キロも減ったという。そういえば足もかなり細くなった感じ

PROFILE

篠原 光（しのはら・ひかる）

★所属／チーム南部
★出身地／東京都港区
★身長／170センチ
★体重／61キロ
★血液型／O型
★得意技／ヒザ蹴り
★趣味／人を殴ること

秒殺・KO！

キーラ来日延期！イヤなムードを吹き飛ばす豪快KO

渡邊久江にカリスマの予感★

鮮やかなKO勝ちに笑顔がこぼれる。渡邊はメインの重責を果たすどころか、それ以上の存在になったと言えるだろう

撮影◎丸山剛史

キーラ・グレイシー来日延期の正式なリリースが届いたのは、8月2日、つまり大会4日前のことだった。理由は「諸事情（ビザ発券問題に伴い）」だという。10月の参戦を予定しているというが、7月、8月と来日が流れたのは主催者側の不手際以外の何ものでもない。チケット払い戻しの手続きは行われたが……。

そんな、マイナスイメージから始まってしまった今大会。メインが流れ、さらに辻結花、しなしさとこ、WINDY智美、久保田有希といった、これまでメインに出場してきた選手も不在とあって、かなりスケールダウンした印象は否めなかった。

メインに繰り上がったのは渡邊久江VSカロリン・フブレクツ戦。渡邊はこれが初のメイン登場である。が、自分の試合がメインになったことを、渡邊は「ネットで見たって友達から聞いた」という。この辺も主催者側に苦言を呈しておきたいところだ。そんなんでカード表に〝メインイベンターの重責〟なんてキャッチつけちゃいかんだろう。

「ただの勝ちじゃダメだ」というプレッシャーを感じながらの初メイン。そこで渡邊は驚くべき試合をやってのけた。ガチガチに堅くなるわけでなく、といって観客を無視するのでもない。「強い相手と、緊張感を楽しみながら成長していけたら」という渡邊の個性が引き寄せた見事な勝利だった。

序盤から打撃が激しく交錯する展開。左右のミドルとパンチで攻める渡邊に対し、カロリンの攻撃も手数では劣るものの一発で渡邊をのけぞらせる威力がある。

SMACK GIRL
Third Season-VI
8.6★六本木velfarre

劣勢からパンチ一発大逆転！

この瞬間、渡邊は〝選ばれし者〟になった

▲パンチの打ち合いからペースを取り戻すべくミドルを多用していった渡邊。いい判断だったが、それでもカロリンは押し込んできた

▲カロリンのパンチを防ぐため、頭を下げながらパンチを打っていった渡邊。ダウンを奪ったパンチも同じフォームから放たれた

▲ストライカーの相手に、引き込んでスイープや十字を仕掛けていった渡邊。成長をうかがわせたが、2Rに入るとカロリンの抑え込みが上回ってくる。やや手詰まりの感があったが……

▲前回はしなしさとこの寝技にいいところがなかったカロリンだが、今回はキックボクサーの本領を発揮。渡邊が打撃で劣勢になるシーンもしばしばあった

▲パンチで追い立ててくるカロリンに、カウンターの右パンチ一閃。〝脳に効かせた〟ダウンは女子格闘技では珍しい。ここからさらに連打してストップを呼び込んだ

After the fight

渡邊のコメント

勝

「最後のラッシュはほとんど入ってないですね（笑）。最初のダウンでかなり効いてたみたいなんで。でも内心ハラハラですよね、まだ向かってきそうだと思って。相手は強かったしやりづらかったです。〝落ち着いて〟と思っても反撃されちゃうし、厳しかったです。ダウン取ったパンチは相手を見てなかったです。カロリンのパンチが危ないと思って、頭下げて打ったのが入った感じです。5分3R打ち合いするとスタミナが持たないと思って、実際3Rまでいくとキツいなって思ってたんですけど。その前に決められたんで凄い安心してます。メインなんで、ただの勝ちじゃダメって言われてたんで。なんとか、自分もやられながら見せ場はできたかなって」

★第6試合/メインイベント（5分3R）

○渡邊久江 × C・フブレクツ●
〈TEAM LIMIT〉　〈オランダ/メジロジム〉
（2R2分28秒、TKO勝ち）
※パンチ連打でレフェリーストップ。フブレクツは2Rに右フックでダウン

をのけぞらせる威力がある。

組み技では渡邊が成長を感じさせた。無理に打ち合わずに引き込み、スイープや下からの十字を狙う。グラウンド30秒ルールのためにブレイクとなったが、あわや秒殺一本勝ちという場面もあった。

だが、アグレッシブに動いた分、スタミナの消費も激しい。1R終了後のインターバル、渡邊は「このまま3Rやるのはキツい」と感じたという。2Rになると引き込んでもカロリンの抑え込みが上回り、満足に動かせてもらえない。打撃でもカロリンが互角以上。これまでのキャリアの中でおそらく初めて、渡邊が弱気な表情を見せた。明らかなピンチだった。

と、ここでズルズルと引き下がれば並の選手だが、渡邊はそうじゃなかった。勢いづいて前に出たカロリンに、右のカウンター一発でダウンを奪う。立ち上がったもののダメージの残るカロリンに、さらに連打を重ねて瞬く間にTKO勝ちを奪ってしまった。劇的、という言葉では足りないくらいの逆転勝利。全身が総毛立つ興奮を誰もが味わったはずだ。

こんな試合、めったにできるもんじゃない。実力差にものを言わせて圧勝するような選手は他にもいるだろう。惜しい敗北でシンパシーを感じさせる選手も珍しくない。でも、渡邊はそのどちらでもないのだ。

単なる〝いい選手〟や〝強い選手〟にはない特別な何かを、渡邊はこの試合で掴んだのである。その〝何か〟は、そう遠くないうちに〝カリスマ〟と呼ばれることになりそうな予感がする。（橋本）

SMACK GIRL
Third Season-VI
8.6★六本木velfarre

辻、しなし、久保田、WINDYのいないSMACK

だけどこんなに面白い!

今日の15はスク水！そして試合内容で見せまくった！

▲今回の15（イチゴ）はスクール水着風コスチュームで登場。例によって会場を異様な雰囲気にさせたのだが、見せ場はそれだけじゃなかった。中村珠美（禅道会世田谷道場）を相手に常に先手を取ってタックルを仕掛け、試合後にブッ倒れるほどの健闘ぶり。リーチの長い中村のパンチに苦しめられて判定負け（3—0）となったが、間違いなく株を上げた

判定をつけたくない大接戦！"おっさん"大門が吉住を振り切る

▲セミファイナル・吉住絹代（XXX）VS大門まい子（闇愚羅）はジャッジの1人が「これでどっちか勝ちにしなきゃいけないの？」とタメ息をつくほどの大接戦となったが、大門（通称：浪速のおっさん）が2－1のスプリット・デシジョンで判定勝ち。今年に入って初の勝利に、大門は思わず号泣していた

▼相変わらずキレのいいタックル、上からでも下からでも自在に攻められる関節技のコンビネーションと、鮮やかな動きを見せた吉住だったが、大門の粘りに一本は奪えず

▲試合が進むにつれて吉住のタックルを切るようになった大門。3Rにはいい右パンチを当ててグラつかせる場面もあった

◀デビュー戦同士の対戦となった舞（パレストラ松戸）VS羽鳥庸子（bcgizm.com）は1R2分1秒のフィニッシュまでひたすら殴り合い。リーチの差を克服してラッシュした舞が3ノックダウンのTKOで勝利

▶5月の『Gals』でデビューした石山絵里（TEAM LIMIT）が『スマック』初参戦。ボクシングも含めて3戦目とは思えないパワーと精度のパンチで3度ダウンを奪って宇佐美ノリコ（S－KEEP）にTKO勝ち（1R1分59秒）

▲秘密特訓を経て今年初出場の張替美佳改めHARI（GF2）は夆心会の真（まこと）と対戦。豪快な首投げで何度もテイクダウンし、最後は腕十字で一本勝ち（2R3分45秒）

モバッチャオ!
http://www.55315.com

カンタン検索で出会っちゃお!

イチオシ優良人気サイトを検索できるスグレモノサイト。今なら合計３万円分無料ポイントがもらえるよ！コード「６３３７」

Sコード 5006 対応機種

iなび
http://www.pta.be

地域別検索システムだから早い!!

地域別に女性登録数の多いサイトを一発検索！コード「６３５１」を入力すると、各サイトで無料体験できるポイントが付いてくる！

Sコード 5001 対応機種

iモードHEAVEN
http://375375.com

女性に人気のサイトが集合!

熟女からＯＬ・10代の娘まで、女性層に人気のサイトのみを集めたリンク集。各サイト無料ポイント付きだから選べる！出会える！

Sコード 5007 対応機種

恋のお便り
http://koi.to/kso

完・全・無・料　会いたい放題!

♀の携帯番号とアドレスが見れる！無料だから！サクラ無し！ひやかし無し！ポイントを気にすることなく写メ＆アド交換…

Sコード 5002 対応機種

完全無料DEAIサイトFACE
http://i-face.to/a

やったらハマる無料画像付掲示板

一切無料なのに女の子の電話番号＆メアド＆画像＆声付き！わずらわしいＢＯＸ私書箱を使わず即メル友をゲット！！

茉摘ちゃん(19)学生 ntm@ezweb.ne.jp

空メ→a@i-face.to

Sコード 5008 対応機種

エイチ・ドコモ・ビー
http://H.docomo.be

究極の出会いサイトが大集結!

ケータイ発情娘。出没中！　サービスコード２３６０でトータル３万円分無料ポイント進呈中。即レス即アポで好みの子と出会える！

Sコード 5003 対応機種

アンアン♥
http://an-2.jp/?sr8

新規オープンにつきイレグイ!

7月２５日にオープンしたばかりのアンアン♡今なら無料Pt２倍だし、競争相手も少ない！新サイトならではの大チャンス！今スグ！！

Sコード 5009 対応機種

ドルフィン
http://okyan.net/s

10円から遊べる!そそる素人娘

ゆるい素人娘を集中的に集めた10円から遊べる出会い系！恥ずかしい写メ交換！実際に会っていいことも！女の子の多さにオドロキ！

#9705→BOX番号083

Sコード 5004 対応機種

無料タダメール
http://0141.to/?tds

完全無料で♡出会いをサポート!

刺激的なイマドキのギャルから、密かに誘いを待っている淑女まで…まずはお食事から。無料なので、一度試してみる価値アリだぞ!!

Sコード 5010 対応機種

イイコイ
http://1151.to/ag

男女完全無料!写メ・絵文字OK!

７／２４号での掲載でアクセス殺到！ありがとうございます！調子にのってまたやって参りました！さぁ、ガンガン出会ってください！！

お金のかかる出会いなんてもうやめちゃって♥

Sコード 5005 対応機種

サイトにアクセスするのに超便利な! Sコードの使い方

「いちいちサイトのアドレスを入力するのがメンドクサイ!」という方にうってつけ！　あらかじめ携帯に[http://dau.jp]を登録しておけば後は各サイト紹介の左上にあるコード番号を入力すればあっという間に各サイトに接続されます。
詳しくは右図の手順を参照してね♥

① http:/dau.jp — ブックマークから dau.jpを選択

② コード入力 4011 送信 — コード番号を入力 送信を押す

③ www.$$$.com — サイトのアドレスが表示されるので 選択してクリック

④ www.$$$.com のサイト — サイトに接続

QOOP
http://qo-op.to/
女の子だもの、知らなきゃソン!
夏に向けてダイエット!今人気のアイテムは何?話題のコスメは?女の子の知りたい情報発信中〜当然恋バナ占い裏テク何でもアリ!
コード 5017 対応機種

グリードアイランド
http://k-t.to/gi/
無人島で恋人や仲間と生き残れ!
バーチャル無人島を舞台に繰り広げる新たなゲームサイト。携帯で恋人を作ったり、仲間を作ったり戦いながら生き残る通信ゲーム!
コード 5011 対応機種

ちゃんぷ〜
http://k-t.to/cnp/
☆爆笑☆ネタのメールが満載!!
世の中にある爆笑面白メールを毎日ご紹介!時事ネタ、ギャグ、恐怖にちょっぴりHも!画像で!文字で!着声で!待ち時間で一笑い
コード 5018 対応機種

大人の女優名鑑
http://postjam.com/av/
女優のカラダってキレイだな〜
ソフト〜ハードまで。サイト構成は良心的でダマシリンクなど一切無し。安心して歴代のAV女優の○○を高画質で堪能できるぞ!
コード 5012 対応機種

iジャケットパラダイス
http://mtjp.jp/CD/
★大好評★話題の人気待受サイト
このアイドルってこんな曲出してたっけ!?そんなここだけのレアな画像がザックザク!最新機種からちょっと古めの端末まで全対応
コード 5019 対応機種

あんたの子供
http://qo-op.to/baby/
天才?野獣?赤ちゃん大予言HP
彼とワタシで「愛の結晶」を作る子作りシュミレーションゲーム。診断結果は何と5728種類!あんたの赤ちゃんはどうよ
コード 5013 対応機種

パットランド
http://patland.com/
完全無料!写メ全キャリア対応
全キャリア画像対応!完全無料♪今時画像で出会うのは当たり前!チャット、掲示板、プロフィール!出会いのツールを完全装備!!
コード 5020 対応機種

フォレストマーチ
http://id.forest-march.com/
写メで簡単ホームページを作ろう!
かわいい☆ホームページを持ちたい人必見!携帯でもパソコンでも簡単に作れるよ(^_^)写メ・iショットもOK!かなり楽しめます♪
コード 5014 対応機種

Girls♥Safe Labo
http://qo-op.to/gsl/
女の子のカラダ真面目に考えよっ
キモチイのもいいけど避妊は?病気予防は?今まで無かった!本格派♀のえっちバイブル快感も安全も手に入れたい普通の女の子へ♪
コード 5021 対応機種

¥メール
http://yenmail.com/
参加無料!簡単ゲームで現金当る
¥メールは毎日がチャンス!結果がスグに出るスロットは毎日チャレンジ可能で当ると現金1万円!クイズもあってダブルチャンス!
コード 5015 対応機種

知りたい気持ち
http://www.k-t.to/kimochi/
どうしても気になる人の本音!!
なかなか聞けない!!彼や友達の本音…!!でもやっぱり知りたい…そんな人はここへ。相手にメールするだけで本音が分かっちゃう
コード 5022 対応機種

無料着メロ!メロディックス
http://melodix.net/b
超高音質の着メロ♪がなんとタダ
最新ドラマ挿入曲!要チェックアーティストのアルバム全曲特集!発売前の新曲!面倒な操作やメルマガ登録無しで使い放題!!
コード 5016 対応機種

グレートアントニオ
誌上通販

できれば3日間、無理なら1日間、あるいは一食だけでも——。

食べることを休んでみませんか？

大反響!! 7/23 O.A.『ディスカバ！99』で、保坂尚輝さんが『ファスティング・ダイエット』で、6キロ減量に成功したことを告白!!

内臓を休めて代謝をアップ、
無駄な脂肪と有害物質を撤去する。
ファスティングとは、
“カラダのリセット”です。

今、現代人のカラダは、あなたが思っている以上に疲れ、汚れ、
ダメージを受けています。
なぜでしょう？

あなたがこれまで深く考えずに食べてきたもの、
嗜好の赴くままに食べてきたもの、
カラダにいいと誤解して食べてきたもの、
それらすべてが今のあなたのカラダを作っているので、
本来の正常な働きができるカラダとは、
ほど遠い状態になっているからです。
農薬や食品添加物などの有害物質や環境ホルモンも、
あなたのカラダに溜まっています。

まずは、それらをカラダから排除しなくてはいけません。
あなたが生まれたときから休みなく働き続けている、
食道、胃、肝臓、十二指腸、大腸、膵臓、胆嚢、腎臓などを
休息させてあげなくてはいけません。

ファスティングは体重を落とすだけでなく、
「カラダを一度リセット」するための療法です。
ファスティングは、食べ物を消化するために使われていたエネルギーを、
新しい組織を再生するための活動に回すことができる、
現代人に必須のプログラムなのです。

杏林予防医学研究所所長／『ファスティング・ダイエット』開発者
山田豊文

ファスティングのおこないかた

3日間ファスティング（3日で本品3本使用）

1日ファスティングジュース1本（360cc）とミネラル・ウォーターを飲用。これを3日間続けます。4日目の朝食はお粥からはじめ、3日かけて徐々に復食していきます。

1日間ファスティング（本品1日1本使用）

1日ファスティングジュース1本（360cc）とミネラル・ウォーターを飲用。月3回の実行が効果的。翌日の朝食はお粥からはじめ、1日かけて徐々に復食していきます。

半日間ファスティング（27日で本品3本使用）

朝または夜の食事をファスティングジュース40ccに切り替えます。

PRESENT!
ただいま「ファスティング・ダイエット」ご購入の方にアントニオ猪木お守りプレゼント中！

80種類以上の植物を自然発酵させて作りました。

プロスポーツ選手や芸能人の間でブームの断食。これは内臓を休息させて代謝を活性化させることにより、脂肪の燃焼や体内毒素の排出を促す美容健康療法です。その際、飲用されているのが、この『ファスティング・ダイエット』。

『ファスティング・ダイエット』は、大自然の緑の中でたくましい生命力を秘めて育った野草や野生植物を主に、農薬や化学肥料を使わずに栽培された新鮮な野菜・果物・穀類・海藻・貝化石などの原料にハチミツを加え、一年間以上の時間をかけ、天然の栄養分を損なうことなく独特な技術で自然発酵させた理想的な酵素飲料です。

多種類の酵素・ビタミン・ミネラルやアミノ酸などがバランスよく含まれています。減量だけでなく、肌やカラダの調子が良くなりますので、健康を願う人の栄養補助飲料として、また美容飲料として、どなたでも安心してお召し上がりください。

Mineral & Herb Fasting Diet

（360ml×3本入り）
18,000円（税別）

開発検定／杏林予防医学研究所　〒604-8151 京都市中京区烏丸通蛸薬師西入る橋弁慶町227 第12長谷ビル5F
販売元／株式会社ローデス　〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F

栄養素表示

- 品名 清涼飲料水
- 内容量 360ml×3
- 栄養表示／100g（約80ml）あたり

項目	値
水分	49.9g
エネルギー	198kcal
たんぱく質	0.3g
ナトリウム	12.9mg
灰分	0.6g
カルシウム	15.4mg

原材料表示

野草 ヨモギ、ドクダミ、タンポポ、オオバコ、クコ、クマザサ、ツユクサ、松の葉、オトギリソウ、ハトムギ、カンゾウ、アカザ、アマチャヅル、キダチアロエ、ナンテンの葉、カワラケツメイ、エゾウコギ、イチョウ、カキドオシ、アマドコロ、スギナ、ケツメイシ、ツルナ、桂皮、ハブ茶、アカメガシワ、アケビの実、忍冬、杜仲の葉、ハブソウ、ヤマイモ、ウコン、マタタビ　他
野菜 トマト、きゅうり、キャベツ、ホウレンソウ、パセリ、大根、ブロッコリー、れんこん、人参、玉ねぎ、かぶ、もやし、ごぼう、しいたけ、じゃがいも
果物 りんご、パパイヤ、パイナップル、レモン
その他 塩水湖水低塩化ナトリウム液（塩水湖水ミネラル液）、根こんぶ、貝化石、果糖（蔗糖）、黒糖、オリゴ糖

スポーツ界芸能界でもファスティングが大ブーム！

ダイエットが気になる美川憲一さんもファスティングを体験しています。
3日で5kgのダイエットに成功したそうです。
（参考：「ファスティングダイエット」アスキー・コミュニケーションズ刊より）

アントニオ猪木さんはファスティングを定期的に体験しています。
3日間で10kg体重が減ることもあるそうです。ご存じのとおり、いつも元気です。
（参考：「ファスティングダイエット」アスキー・コミュニケーションズ刊より）

お仕事を休めない小池栄子さんは、自宅で手軽に断食できるファスティングを体験しました。
「小顔になり腰回りもすっきり。一気に体重が落ちたけど、胸の大きさは変わらなかった」と、笑顔です。
（参考：デイリースポーツ／2002.1/3号より）

DX PRESENT 読者プレゼント

おかげさまで100号 皆さん、アリガト〜ッ！

【クエスト 提供】
『SMACK GIRL 2003 VOL.1』DVD

スマックの今年の上半期総集編！

※3月3日、4月2日、5月7日、6月4日の4大会全てのカードが収録されているから、見逃した方はもちろん、会場で見た人も必見だぞっ！ 定価5,600円（税別）

1名様

【双葉社 提供】
吉田秀彦オフィシャルブック 道 -DO-

これを読めば吉田のことがよ〜く分かる！

3名様

※柔道時代のこと、プロ決断について、プロでの3試合を振り返ってなど、吉田本人が本音を語っているこのオフィシャルブック。カメラマン山岸伸の初公開写真もタップリ。吉田ファンはもちろん、ファンでなくとも、ぜひ一度見てほしい。定価2,000円（税別）。全国の書店で絶賛発売中！

【長谷川京子 提供】

1名様

みんな喜べ！ はせキョーからの100号祝いだ！

はせキョー厳選アロマセット

※フジテレビの月９ドラマ『僕だけのマドンナ』で大忙しの長谷川京子ちゃんが、100号を祝って読者プレゼント（アロマキャンドル&アロマテラピーセット）を提供してくれたぞっ！ これがもうねぇ、なんとも言えぬいい香りなんだ！ 和むぞ、マジで。これがはせキョーの香りだっ！？ 当たった人、心して使えよ！（オレだったら家宝にするけど……）

【扶桑社 提供】
全日本プロレス代表取締役社長 武藤敬司

武藤敬司×谷川貞治の対談も

※週刊SPA！で好評連載中の『プロレスビジネス近代化計画』の待望の単行本化。単行本化特別企画として、VS蝶野正洋（新日本プロレス）、VS谷川貞治（K-1イベントプロデューサー&本誌編集長）の対談も入っていて、読み応えも十分。プロレスファンも格闘技ファンも一見の価値あり。読むべし！定価1,500円（税別）。全国の書店で好評発売中

3名様

【エレクトロニック・アーツ 提供】
若者に人気のヒップホップとストリートファイトがコラボレート！
プレイステーション２用ソフト
『デフジャムヴェンデッタ』

※ヒップホップの総本山とも言えるレーベル『Def Jam』。その世界最大のレーベルに所属するアーティストたちを、Def Jamサウンドをバックにファイターとしてコラボレートしたゲームがこれ。日本版にはDef jam Japanを象徴するアーティスト、DABOとS-WORDが参戦していて、日本のヒップホップファンにもたまらない内容になっている。ゲームファンも音楽ファンも納得のゲームだぜ！ 8月21日発売予定。定価6,800円（税別）

3名様

【フォーサイド・ドット・コム 提供】

香り付きサイン入りポストカードも入ってるゾ！

3名様

片岡未来DVD『い〜よ。』

※FIGHTING TV SAMURAI!の『キックの星』でMCとして活躍中の片岡未来ちゃん。テコンドー経験者とあって、ボディもムフフッ。「い〜よ。」って言われても、……ホントにいいの？ 定価3,800円（税別）

【バンダイ 提供】

お父さんも子供も楽しめる！

プレイステーション２用ソフト
『機動戦士ガンダムSEED』

3名様

※バンダイから好評発売中のプレイステーション２用ゲームソフト『機動戦士ガンダムSEED』。子供だけにやらせておくにはもったいない面白さ。迫力のシューティングアクションはマジでハマっちゃうぞ！ 定価6,800円（税別）

お待ちかね、姉御登場！

篠原光 サイン入りチェキ

※8月30日、約1年ぶりにリングに帰ってくる篠原光は、本誌モグタンのイチ押しジョシカクファイター。まずは復帰戦に注目だ！

2名様

【BODY PLANT 提供】
BODY PLANT タンクトップ&Tシャツ

トレーニングに最適！

2名様

※シンプルだけどカッコイイ。これでトレーニングしたら抜群のボディが作れそう！ BODY PLANTグッズ&BODY PLANTに関するお問い合わせは、BODY PLANT ☎ 03-5772-2791。http://www.bodyplant.com

【居酒屋ごっち 提供】
バックプリントに『居酒屋ごっち』が！
イエローマンズ キジンTシャツ

2名様

※背中に『居酒屋ごっち』のネームが入っているということで、店長の小竹さんから、プレゼントにいただきました。ありがとう、小竹店長。今度、飲みに行きマ〜ス！

応募券は忘れずに！

官製ハガキに応募券を貼って、
（1）郵便番号・ご住所・電話番号
（2）お名前 （3）年齢・ご職業
（4）希望プレゼント
（5）今号で面白かった記事とその理由
（6）今号で面白くなかった記事とその理由
（7）今までで一番印象に残っているSRS・DXの号数と理由を書いて右記までご応募ください！

あて先
〒101-0051
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『読者プレゼントDX係100』まで
締め切り……2003年8月28日（木）（当日消印有効）

100 応募券 SRSDX 読プレ